

令和5年度版

ひらつか子育て応援プラン
(第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画)

取組状況評価

～基本事業（市の取組）～

留意事項

計画を推進していくために、進行管理を着実にを行います。また、利用者の視点に立って事業を評価し、PDCAサイクル（計画－実施－評価－改善）を通して、計画の実効性を高めることを目指します。

1 事業評価 総括表

(1) 点数

評価がAの事業を5点、評価がBの事業を3点、評価がCの事業を1点とし、施策ごとの平均点を記載しています。

(2) 評価

各事業の検証結果を記載しています。

A：成果があがった、B：おおむね成果があがった、C：十分に成果をあげることができなかった
－：評価なし

(3) 今後の事業展開

①現状の規模で継続、②拡大して継続、③縮小して継続、④廃止、
⑤その他（休止、終了、他事業と統合等）

(4) 評価状況（191事業）

A 145事業、B 45事業、C 0事業、評価なし 1事業

2 事業評価シート

(1) 主な取組等

計画期間の取組状況が分かるようになっています。

(2) 前年度の課題等に対する取組状況

前年度からの課題に対する取組や新しい取組を記載しています。

(3) 評価

各事業をA、B、Cの3段階で評価しました。

A：成果があがった（事業の成果が期待どおり又はそれ以上だった）

B：おおむね成果があがった（事業の成果が期待を若干下回ったものの概ね満足できる）

C：十分に成果をあげることができなかった（事業の成果が期待を下回り、満足できない）

評価なし：事業の廃止等によって、評価ができなかった

(4) 今後の事業展開

前記1（3）のとおりとしています。

(5) 翌年度に向けた課題と取組

該当年度の取組状況を踏まえて、次年度以降の課題を記載しています。

(6) ひらつか子育て応援プランの中間年の見直しについて

計画の中間年（令和4）年度に、見直しを行いました。見直しを行った項目には、〈見直し〉と記載しています。

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	進し番号
1 子どもの豊かなこころをはぐくむ環境づくり	1(1) 子どもの権利の尊重	4.5	1 (1) 1	子どものための相談機能の充実	A	①	青少年課	1
			1 (1) 2	保護を必要とする子どもへの対策	A	①	こども家庭課	2
			1 (1) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	3
			1 (1) 4	養育支援訪問事業	B	①	健康課	4
	1(2) 育ち環境の整備	4.8	1 (2) 1	地域の身近な人との交流	A	①	保育課、教育指導課	5
			1 (2) 2	自然体験等活動	A	①	保育課、教育指導課、青少年課	6
			1 (2) 3	こども環境教室事業	A	①	環境政策課	7
			1 (2) 4	水辺の楽校プロジェクト推進事業	A	①	みどり公園・水辺課	8
			1 (2) 5	児童・生徒地域参加事業の推進	A	①	中央公民館	9
			1 (2) 6	自然観察等事業	A	①	博物館	10
			1 (2) 7	プラネタリウム投影事業	A	①	博物館	11
			1 (2) 8	芸術文化子ども体験事業	B	②	社会教育課	12
	1(3) 家庭や地域の教育力の向上	4.1	1 (3) 1	育児講座	A	①	保育課	13
			1 (3) 2	家庭教育支援の充実	A	①	中央図書館、中央公民館	14
			1 (3) 3	学習の場の充実	A	①	中央公民館	15
			1 (3) 4	子育て支援地域派遣事業	B	①	保育課、健康課	16
			1 (3) 5	地域福祉推進事業	B	②	福祉総務課	17
			1 (3) 6	保育所のボランティアの受入れ	A	①	保育課	18
			1 (3) 7	非行防止活動の推進	A	①	青少年課	19
			1 (3) 8	こころと命のサポート事業	B	①	福祉総務課	20
			1 (3) 9	子ども学習支援委託事業	B	①	生活福祉課	21
2 安心して子育てができる環境づくり	2(1) 様々な子育て支援サービスの提供	4.4	2 (1) 1	一時預かり事業	A	①	保育課	22
			2 (1) 2	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	23
			2 (1) 3	延長保育・休日保育事業	A	①	保育課	24
			2 (1) 4	私立幼稚園の預かり保育の推進	A	①	保育課	25
			2 (1) 5	病児・病後児保育	A	②	保育課	26
			2 (1) 6	放課後児童クラブの充実・推進	A	①	青少年課	27
			2 (1) 7	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	B	①	社会教育課	28
			2 (1) 8	新・放課後子ども総合プランの推進	B	①	青少年課、教育総務課、社会教育課	29
			2 (1) 9	民間保育所施設整備支援事業	A	①	保育課	30
			2 (1) 10	民間保育所保育士確保支援事業	A	①	保育課	31
			2 (1) 11	公立保育所施設整備事業	A	①	保育課	32
			2 (1) 12	私設保育施設への支援	A	①	保育課	33
			2 (1) 13	幼保一元化のモデルケース事業	B	①	保育課、教育総務課	34
			2 (1) 14	公立園の在り方の検討	A	①	保育課、教育総務課	35
	2(2) 親・子の交流の場づくり	4.4	2 (2) 1	子育て支援センター事業	B	①	保育課	36
			2 (2) 2	つどいの広場事業	B	①	保育課	37
			2 (2) 3	開放保育事業	A	①	保育課	38
			2 (2) 4	赤ちゃん広場事業	A	①	保育課	39
			2 (2) 5	親子ふれあい体験事業	A	①	保育課	40
			2 (2) 6	ブックスタート事業	A	①	中央図書館、健康課、保育課	41
	2(3) 情報提供・相談体制の充実	4.8	2 (3) 1	情報提供の推進	A	①	保育課、こども家庭課	43
2 (3) 2			子ども及び子育て家庭に係る総合支援	A	①	こども家庭課	44	
2 (3) 3			保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	A	①	保育課、教育指導課	45	
2 (3) 4			女性のための相談事業	B	①	人権・男女共同参画課	46	
2 (3) 5			生活困窮者自立支援事業	A	①	福祉総務課	47	
2 (3) 6			生活困窮世帯の子ども支援事業	A	①	生活福祉課	48	
2 (3) 7			民生委員運営事業	A	①	福祉総務課	49	
2 (3) 8			民間団体との連携	A	①	こども家庭課	50	
2 (3) 9			児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	51	
2(4) 職場環境の改善	4.3	2 (4) 1	労働セミナー事業	A	①	産業振興課	52	
		2 (4) 2	就労支援制度の普及・啓発	A	①	産業振興課	53	
		2 (4) 3	事業所の実践する働き方改革への支援	B	①	人権・男女共同参画課	54	
2(5) 母子・父子家庭の自立支援	5.0	2 (5) 1	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	55	
		2 (5) 2	母子・父子自立支援事業	A	①	こども家庭課	56	
2(6) 経済的支援の充実	4.8	2 (6) 1	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	57	
		2 (6) 2	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	②	こども家庭課	58	
		2 (6) 3	保育所保育料の軽減	A	①	保育課	59	
		2 (6) 4	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	A	①	保育課	60	
		2 (6) 5	児童生徒就学援助事業	A	①	学務課	61	
		2 (6) 6	特別支援教育就学奨励援助事業	A	①	学務課	62	
		2 (6) 7	高等学校等修学支援事業	B	②	学務課	63	
		2 (6) 8	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	64	
		2 (6) 9	児童扶養手当	A	②	こども家庭課	65	
		2 (6) 10	特別児童扶養手当	A	①	こども家庭課	66	
		2 (6) 11	児童手当	A	②	こども家庭課	67	
		2 (6) 12	養育医療費給付	A	①	こども家庭課	68	

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	通し番号
3 子どもに寄り添った教育環境づくり	3(1)学校(園)教育の充実	5.0	3(1)1	幼児教育指導法の工夫・改善	A	①	教育指導課	69
			3(1)2	幼・保・小・中連携の推進事業	A	①	教育指導課、教育研究所	70
			3(1)3	幼児教育の支援	A	①	教育指導課	71
			3(1)4	生きる力を育む学校づくり推進事業	A	①	教育指導課、学校給食課	72
			3(1)5	外国人英語指導者の学校訪問事業	A	①	教育指導課	73
			3(1)6	人権教育の推進	A	①	教育指導課	74
			3(1)7	日本語指導協力者派遣事業	A	①	教育指導課	75
			3(1)8	サポートチームシステム推進事業	-	⑤	教育指導課	76
			3(1)9	中学校部活動指導者派遣事業	A	①	教育指導課	77
			3(1)10	学校支援ボランティアの活用	A	①	教育指導課	78
			3(1)11	教材・教具等の充実	A	①	教育総務課	79
			3(1)12	研修・研究推進事業	A	①	子ども教育相談センター	80
			3(1)13	放課後自主学習教室事業	A	①	教育指導課	81
3(2)相談活動の推進	5.0	3(2)1	教育相談事業	A	①	子ども教育相談センター	82	
		3(2)2	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	83	
		3(2)3	スクールソーシャルワーカー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	84	
4 子育てしやすい安心・安全なまちづくり	4(1)道路交通安全の向上	4.0	4(1)1	交通安全啓発推進事業	B	①	交通政策課	85
			4(1)2	歩道設置事業	A	①	道路整備課	86
			4(1)3	通学路合同点検事業			教育指導課	87
	4(2)防犯の強化	4.5	4(2)1	地域安全運動の推進	A	①	危機管理課	88
			4(2)2	地域安全施設整備事業	A	①	危機管理課	89
			4(2)3	通学路安全対策事業	A	①	教育指導課	90
			4(2)4	子どもの安全対策の推進	B	①	社会教育課	91
	4(3)遊びの場づくり	4.0	4(3)1	安全対策の推進	A	①	みどり公園・水辺課、総合公園課、青少年課	92
			4(3)2	公園整備事業	B	①	みどり公園・水辺課	93
	4(4)まちのバリアフリー化	4.0	4(4)1	歩道のバリアフリー化事業	A	①	道路整備課	94
			4(4)2	公共交通のバリアフリー化事業	B	①	交通政策課	95
	4(5)有害環境の改善	4.0	4(5)1	環境実態調査	A	①	青少年課	96
			4(5)2	違反屋外広告物除去事業	B	①	まちづくり政策課	97
5 子どもと親の健康づくり(平塚市母子保健計画)	5(1)切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策 基盤課題A	4.1	5(1)①1	妊婦健康診査	A	①	健康課	98
			5(1)①2	妊産婦の相談の充実	A	①	健康課	99
			5(1)①3	妊産婦への教育の充実	B	②	健康課	100
			5(1)①4	産後デイサービス「産後ルームママはぐ」	A	②	健康課	101
			5(1)①5	産前・産後ヘルパー派遣事業	B	①	健康課	102
			5(1)①6	産後メンタルヘルス相談	B	①	健康課	103
			5(1)②1	乳幼児健康診査	B	①	健康課	104
			5(1)②2	乳幼児期の相談の充実	B	①	健康課	105
			5(1)②3	訪問事業	A	①	健康課	106
			5(1)②4	学習の場の提供	B	①	健康課	107
			5(1)②5	感染症対策の推進	A	①	健康課	108
			5(1)②6	5歳児健康診査	A	①	こども家庭課	109
			5(1)②7	保育所における食育の推進	A	①	保育課	110
	5(2)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策 基盤課題B	4.0	5(2)①1	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	B	①	学務課、健康課	111
			5(2)①2	健康に関する教育の実施	B	①	教育指導課	112
			5(2)①3	学校保健の充実	A	①	学務課	113
			5(2)①4	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	114
			5(2)②1	思春期の教育の充実	A	①	健康課	115
	5(2)②2	こころと命のサポート事業	B	①	福祉総務課	116		
	5(3)子どもが健やかに育つための地域づくり 基盤課題C	4.0	5(3)1	一時預かり事業	A	①	保育課	117
			5(3)2	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	118
			5(3)3	子育て支援センター事業	B	①	保育課	119
			5(3)4	つどいの広場事業	B	①	保育課	120
			5(3)5	開放保育事業	A	①	保育課	121
			5(3)6	赤ちゃん広場事業	A	①	保育課	122
	5(4)育てにくさを感じる親への支援 重点課題①	5.0	5(4)①1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	A	①	健康課	123
			5(4)①2	子育て講座	A	①	こども家庭課	124
			5(4)①3	ペアレントトレーニング	A	①	こども家庭課	125
			5(4)②1	こども発達支援室の療育相談	A	①	こども家庭課	126
			5(4)②2	発達支援コーディネーターの育成・配置	A	①	保育課、こども家庭課	127
			5(4)③1	地域療育システム事業	A	①	こども家庭課	128
			5(4)③2	福祉サービス費の支給	A	①	こども家庭課	129
	5(4)③3	障がい児保育	A	②	保育課、こども家庭課、学務課	130		
5(4)③4	就学相談・指導事業	A	①	子ども教育相談センター	131			
5(5)児童虐待の防止対策 重点課題②	5.0	5(5)①1	ハイリスク者への支援の充実	A	①	健康課	132	
		5(5)②1	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	133	

基本目標	施策	点数	番号	事業	評価	今後の事業展開	担当課	進捗番号
6 将来を子ども自ら が選択できる環境 づくり（平塚市 子どもの貧困対策 計画）	6 (1) 教育の支援	4.4	6 (1) 1	子ども学習支援委託事業	B	①	生活福祉課	134
			6 (1) 2	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	B	①	社会教育課	135
			6 (1) 3	新・放課後子ども総合プランの推進	B	①	青少年課、教育総務課、社会教育課	136
			6 (1) 4	生活困窮世帯の子ども支援事業	A	①	生活福祉課	137
			6 (1) 5	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	138
			6 (1) 6	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	139
			6 (1) 7	児童生徒就学援助事業	A	①	学務課	140
			6 (1) 8	特別支援教育就学奨励援助事業	A	①	学務課	141
			6 (1) 9	高等学校等修学支援事業	B	②	学務課	142
			6 (1) 10	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	143
			6 (1) 11	放課後自主学習教室事業	A	①	教育指導課	144
			6 (1) 12	スクールカウンセラー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	145
			6 (1) 13	スクールソーシャルワーカー派遣事業	A	①	子ども教育相談センター	146
	6 (2) 生活の支援	4.5	6 (2) 1	子どものための相談機能の充実	A	①	青少年課	147
			6 (2) 2	保護を必要とする子どもへの対策	A	①	こども家庭課	148
			6 (2) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	A	①	こども家庭課	149
			6 (2) 4	養育支援訪問事業	B	①	健康課	150
			6 (2) 5	育児講座	A	①	保育課	151
			6 (2) 6	子育て支援地域派遣事業	B	①	保育課、健康課	152
			6 (2) 7	地域福祉推進事業	B	②	福祉総務課	153
			6 (2) 8	非行防止活動の推進	A	①	青少年課	154
			6 (2) 9	こころと命のサポート事業	B	①	福祉総務課	155
			6 (2) 10	一時預かり事業	A	①	保育課	156
			6 (2) 11	ファミリー・サポート事業	B	①	保育課	157
			6 (2) 12	延長保育・休日保育事業	A	①	保育課	158
			6 (2) 13	私立幼稚園の預かり保育の推進	A	①	保育課	159
			6 (2) 14	病児・病後児保育	A	②	保育課	160
			6 (2) 15	放課後児童クラブの充実・推進	A	①	青少年課	161
			6 (2) 16	子育て支援センター事業	B	①	保育課	162
			6 (2) 17	つどいの広場事業	B	①	保育課	163
			6 (2) 18	赤ちゃん広場事業	A	①	保育課	164
			6 (2) 19	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	A	①	こども家庭課	165
			6 (2) 20	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	A	①	保育課、教育指導課	166
			6 (2) 21	女性のための相談事業	B	①	人権・男女共同参画課	167
			6 (2) 22	生活困窮者自立支援事業	A	①	福祉総務課	168
			6 (2) 23	民生委員運営事業	A	①	福祉総務課	169
			6 (2) 24	民間団体との連携	A	①	こども家庭課	170
			6 (2) 25	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	171
			6 (2) 26	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	172
			6 (2) 27	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	②	こども家庭課	173
			6 (2) 28	保育所保育料の軽減	A	①	保育課	174
			6 (2) 29	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	A	①	保育課	175
6 (2) 30			妊産婦の相談の充実	A	①	健康課	176	
6 (2) 31			乳幼児期の相談の充実	B	①	健康課	177	
6 (2) 32			訪問事業	A	①	健康課	178	
6 (2) 33			学校保健の充実	A	①	学務課	179	
6 (2) 34			こども発達支援室の療育相談	A	①	こども家庭課	180	
6 (2) 35			ハイリスク者への支援の充実	A	①	健康課	181	
6 (3) 保護者に対する就労の支援	5.0	6 (3) 1	就労支援事業	A	①	産業振興課	182	
		6 (3) 2	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	183	
		6 (3) 3	母子・父子自立支援事業	A	①	こども家庭課	184	
6 (4) 経済的支援	5.0	6 (4) 1	母子・父子相談の充実	A	①	こども家庭課	185	
		6 (4) 2	小児医療費の助成	A	①	こども家庭課	186	
		6 (4) 3	ひとり親家庭等医療費助成事業	A	②	こども家庭課	187	
		6 (4) 4	生業扶助・教育扶助	A	①	生活福祉課	188	
		6 (4) 5	児童扶養手当	A	②	こども家庭課	189	
		6 (4) 6	特別児童扶養手当	A	①	こども家庭課	190	
		6 (4) 7	児童手当	A	②	こども家庭課	191	
		6 (4) 8	養育医療費給付	A	①	こども家庭課	192	

1 (1) 1	子どものための相談機能の充実	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談等、子どものための相談体制を充実します。	子ども自身や保護者の悩みを早期に解決するために相談機能の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 162件、ヤングテレホン相談 (火～土) 124件、ヤングメール相談48件 相談室の啓発チラシを4月、8月、9月、1月の計4回 (各回28,490部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計28,850部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 X (旧ツイッター) により週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、2月)、日本更生保護協会主催不登校についての講演会 (オンライン配信・8月)、児童思春期精神科セミナー (10月)、ひきこもりを考える家族セミナー (11月)、子ども・若者を理解するための講演会 (11月)、ひきこもり講演会 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況 子どもや保護者の抱える悩みが複雑・多様化しており、様々な相談に対応するために相談員の各種研修受講による資質向上を図るなど、相談機能の充実に取り組んだ。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 180件、ヤングテレホン相談 (火～土) 116件、ヤングメール相談4件 相談室の啓発チラシを4月、9月、1月の3回 (各回28,750部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計29,110部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、1月)、ひきこもりを考える家族セミナー (9月)、児童思春期精神科セミナー (10月)、神奈川県社会福祉協議会母子福祉研修会 (1月)、全国青少年相談員研究集会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況 現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 102件、ヤングテレホン相談 (火～土) 124件、ヤングメール相談15件、LINE相談 (試行実施) 33件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計31,200部送付した。 LINE相談の啓発カードを8月に、市内小学校5、6年生児童並びに市内中学校、市内・大磯・二宮の高等学校及び中等教育学校在学の生徒宛てに合計21,120部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、2月)、全国青少年相談員研究集会 (オンライン配信・1月)、青少年行政関係職員等研修 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況 現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するため、LINE相談を試行実施した。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。

備考 (その他)

1 (1) 2	保護を必要とする子どもへの対策	担当課	こども家庭課
---------	-----------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> こども総合相談担当と児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 里親制度の啓発・普及に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所や関係機関と連携し、支援を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 すべての子どもの権利を擁護するために子ども家庭総合支援拠点の設置に取り組みます。 里親制度紹介講座及び里親相談（児童相談所主催）を実施し、制度の啓発・普及に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図りました。 児童虐待防止普及活動の「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が10月に開催され、平塚児童相談所と連携し、市役所を中継点とした。その際に、里親制度啓発のため、のぼり旗の設置及び啓発用物品を配布しました。 SNSにて「車内放置」についての防止啓発を実施しました。 	前年度の課題等に対する取組状況 健康課と連携し、令和6年度にこども家庭センターの開始を予定しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		ネットワークでの共通認識を増やし、連携強化を目指します。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図りました。 児童虐待防止普及活動の「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が10月に開催され、市役所を中継点とした。その際に、里親制度啓発のため、のぼり旗の設置及び啓発用物品を配布しました。 	前年度の課題等に対する取組状況 ネットワーク内での共通認識を増やし、連携強化に取り組みました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保健センター等との連携強化を目指します。（子ども家庭センターの設置）
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 里親制度について、関係機関へのチラシを配布し、里親制度の啓発・普及に努めた。なお、8月に平塚児童相談所主催、本市共催で開催予定であった里親講座は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

1 (1) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしていますが、必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。	平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議86回 	前年度の課題等に対する取組状況 会議の中で事例検討を実施。虐待対応の共通認識を増やした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童虐待防止等ネットワークの理解を高めるための会議内容を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回（うち3回はオンラインを併用）、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回（書面開催）、実務者会議4回（うち書面開催3回）、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

1 (1) 4	養育支援訪問事業	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保護者の疾病等の理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるように訪問による支援を実施します。	適切な時期に支援が導入できるように関係機関と連携を図り、継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	件数：1件 実施内容： ①訪問3回（保健師訪問1回） ②電話相談4回（保健師電話2回） ③家事援助（ヘルパー）：1回 ④所内面接、同行受診等：2回	前年度の課題等に対する取組状況 適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。						
令和4年度	件数：5件 実施内容： ①訪問38回（保健師訪問23回） ②電話相談79回（保健師電話57回） ③家事援助（ヘルパー）：30回 計 30.5時間 ④所内面接、同行受診等：22回（保健師11回）	前年度の課題等に対する取組状況 適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。						
令和3年度	件数：5件 実施内容： ①訪問33回（保健師訪問16回） ②電話相談39回（保健師電話24回） ③家事援助（ヘルパー）：69回 計 72時間 ④所内面接、同行受診等：6回（保健師5回）	前年度の課題等に対する取組状況 適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。						

備考 (その他)

1 (2) 1	地域の身近な人との交流	担当課	保育課 教育指導課
---------	-------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育所、幼稚園、認定こども園の園児と地域の子どもや小学生、高齢者といった地域の身近な人との交流を図り、子どもの社会性を養います。 [対象：就学前子ども、小学生及び高齢者]	園の行事や地域的行事、高齢者施設への訪問を通して、地域の子どもや小学生、高齢者と交流します。また、乳幼児が小学校を訪問したり、園に小学生や高齢者を招待して一緒に活動したりする等地域の身近な人とのふれあい交流を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・小学校との相互訪問。実施園：28園 教育指導課 ・小学校児童と作物の栽培活動等様々な活動を通し交流を図った。実施園：2園 ・保育園児との交流を行った。実施園：1園 ・未就学児体験保育等で未就学児と一緒に遊び交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・地域の施設訪問等：16園 ・障がい者施設との交流：1園 ・福祉村との交流：5園 教育指導課 ・敬老の日に特別養護老人ホームにプレゼントを届ける等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：1園 ・地域の団体の方と竹を使った水鉄砲作りや正月飾り作り等で一緒に活動した。実施園：1園	前年度の課題等に対する取組状況 保育課：新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら可能な時期に交流を行った。またプレゼントの贈呈や公民館まつりなどへの作品の出展等、非接触型の交流を継続して実施した。 教育指導課：5類移行以後、できる限り計画通りの交流ができるよう工夫して実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保育課：安全に配慮した交流を継続して実施していく。 教育指導課：今年度同様、できる限り計画通りの交流ができるよう工夫して実施していく。
令和4年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・小学校との相互訪問。実施園：19園 教育指導課 ・幼稚園児と小学校児童の交流、並びに、作物の収穫活動等様々な活動を通し交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・勤労感謝の日に地域の工場、店舗、小学校、地域の交番、公民館、農家の方、高齢者施設などに行き感謝の気持ちを込めてプレゼントを渡した。実施園：17園 ・平塚中等教育学校の中学3年生がキャリア教育で4.5歳児と交流した。実施園：1園 ・障がい者施設の成人式で年長児が歌を披露した。実施園：1園 ・福祉村との交流。実施園：1園 教育指導課 ・敬老の日に特別養護老人ホームにプレゼントを届ける等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：1園	前年度の課題等に対する取組状況 保育課：新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら可能な時期に交流を行った。またプレゼントの贈呈など非接触型の交流を実施した。 教育指導課：前年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保育課：新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながら、安全に配慮した交流を継続して実施していく。 教育指導課：今年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組が必要になるのではないかと考えます。
令和3年度	異年齢児交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校の間で実施していた相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・幼稚園児と小学校児童の交流、並びに、作物の収穫活動等様々な活動を通し交流を図った。実施園：2園 世代間交流事業： 保育課 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者施設との相互訪問などの交流はできなかった。実施園：0園 教育指導課 ・敬老の日に特別養護老人ホームにプレゼントを届ける等、高齢者との世代間交流を図った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況 教育指導課：新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、適切な距離を取り見学したり、手紙のやり取りをしたりなど工夫して取り組みました。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保育課：新型コロナウイルス感染症の収束の目途がたたなければ、当該事業の再開は難しいと考えます。 教育指導課：今年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、中止や延期の検討とともに、場合によっては、例年通りの活動に捉われない工夫した取組が必要になるのではないかと考えます。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画1(3)1「異年齢児交流事業」、1(3)2「世代間交流事業」を統合し、事業名称を変更した。

1 (2) 2	自然体験等活動	担当課	保育課 教育指導課 青少年課
---------	---------	-----	----------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、幼稚園、認定こども園の園児や地域の子どもの「生きる力」を培い、また社会性の育成を図るため、自然体験や社会体験活動を行います。 〔対象：就学前子ども〕 ・ 自然とふれあう体験活動の機会の充実を図ります。 〔対象：小学生等〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然を活用した自然体験活動や園外保育等において、園では味わえない自然体験や社会体験活動を実施します。 ・ 概ね月1回程度、自然のものを生かしたクラフトや野外炊事、作物の植付収穫等の体験を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和5年度	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通じた自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：35園 <p>教育指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園 <p>青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ びわ青少年の家で、作物の植付や収穫等の農作業や収穫物の調理などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。会員数：32名、開催回数：8回、参加者数：495名（保護者等会員家族、ボランティアスタッフ含む） ・ びわ青少年の家で、市内在住者で構成されるグループを対象に、野外バーベキューを楽しんでもらうイベント「びわでバーベキューしませんか」を企画し開催した。 <p>開催日：7月15日、16日、参加人数：10グループ42名</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保育課：園庭や地域の畑などで安全に配慮した形の活動が実施できた。 青少年課：びわっ子クラブ会員以外の方も参加可能なイベントを実施した。 教育指導課：感染症対策を講じながら、できる限り計画通りの活動ができるよう工夫して実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>保育課：安全に配慮した形の活動を継続して実施する。 青少年課：びわっ子クラブ以外にも、より多くの方が参加できるイベントを企画する。 教育指導課：園の実状に応じた活動を計画的に実施していく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和4年度	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通じた自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：37園 <p>教育指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園 <p>青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ びわ青少年の家で、作物の植付や収穫等の農作業や収穫物の調理などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。会員数：32名、開催回数：9回、参加者数：502名（保護者等会員家族、ボランティアスタッフ含む） ・ びわ青少年の家で、青少年を含む市内在住（同居）の家族を対象に、紅葉を見ながら野外バーベキューを楽しんでもらうイベント「びわでバーベキューしませんか」を企画し開催した。 <p>開催日：11月12日、19日、26日、参加人数：20家族92名</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保育課：新型コロナウイルス感染症の影響により活動できる機会が減少傾向となった。 教育指導課：新型コロナウイルス感染症対策を取ることで、計画通り実施できた。 青少年課：今年度は感染症対策を講じつつ、予定した開催回数を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>保育課：新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながら、安全に配慮した形の活動を継続して実施する。 教育指導課：引き続き、十分な感染症対策を取った上で実施していく。 青少年課：引き続き感染症対策を踏まえた内容で実施をする。また、びわっ子クラブ以外にも、より多くの方が参加できる試験的な企画を検討する。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、限られた保育環境の中、地域の自然を活用した自然体験活動、季節の野菜や花の栽培を通じた自然とのふれあい体験活動等を実施した。実施園：44園 <p>教育指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園各園の地域性を生かした植物・作物の栽培・収穫活動等の自然体験活動を行った。また、園外保育等の社会体験活動を行った。実施園：2園 <p>青少年課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ びわ青少年の家で、作物の植付から収穫までの一連の農作業や収穫物の加工などの自然体験・創作活動等を行う「びわっ子クラブ」を開催した。会員数：32名、開催回数：11回（番外編活動含む）、参加者数：延べ419人（ボランティアスタッフ含む） ※6月「森の深緑祭」、12月「森の歳末祭」を含む。この2回に関しては会員家族も募集した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小又は中止した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>青少年課：十分な感染症対策を講じた上で可能な限り開催した。また、一部活動の中止等があったが、任意参加の「番外編活動」を開催する等して、活動機会の確保に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>青少年課：感染症対策を踏まえた開催方法やプログラムの検討を要する。引き続き、十分な感染症対策を講じながら実施していく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

1 (2) 3	こども環境教室事業	担当課	環境政策課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
環境の保全や創造の重要性に気づき、考え、それぞれの立場に応じて自発的、積極的に行動できる人材の育成を目指すため、里山で自然にふれる体験をしたり、海岸で海浜植物や漂着物を観察したりします。	昆虫探しや自然を生かした遊具体験等を通じて里山の自然とふれあう体験学習と、浜辺の漂着物や海浜植物の観察等、浜辺の環境を考える体験学習を年間にそれぞれ1回ずつ実施することで、次世代を担う子どもたちの環境への関心を高めるように促します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>こども環境教室【里山編】及び【海岸編】を実施した。</p> <p>【里山編】 実施日時：令和5年7月29日（土）午前9時00分～12時00分 実施場所：平塚市土屋里山体験フィールド 参加人数：47人（小学生23人、未就学児4人、保護者20人） 実施内容：里山内の散策、昆虫探し、里山の素材を活用した工作、フィールド内の遊具等を使った里山体験</p> <p>【海岸編】 実施日時：令和5年11月25日（土）午前10時00分～11時30分 実施場所：虹ヶ浜海岸 参加人数：16人（小学生9人、未就学児2人、保護者5人） 実施内容：漂着物の採取・観察の体験（ビーチコーミング）</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		子どもたちの体験型学習の機会を確保できることやイベントを安全に実施するため、熱中症対策等を講じた開催時間やプログラムの検討をし、開催することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 地球温暖化対策や生物多様性など、次世代を担う子どもたちへ環境保全全体の関心を高めるための体験型学習を提供するプログラムの検討が課題である。
令和4年度	<p>こども環境教室【里山編】及び【海岸編】を実施した。</p> <p>【里山編】 実施日時：令和4年7月30日（土）午前9時00分～11時00分 実施場所：平塚市土屋里山体験フィールド 参加人数：27人（小学生10人、未就学児3人、保護者14人） 実施内容：里山内の散策及び昆虫探し</p> <p>【海岸編】 実施日時：令和4年11月20日（日）午前9時30分～11時50分 実施場所：なでしこ公民館 参加人数：49人（小学生23人、未就学児5人、保護者21人） 実施内容：「マイクロプラスチックを学ぼう」をテーマに、採取体験や蜜蝋ラップの実演を交えて海岸ごみについて学んだ。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		今年度は両教室ともに新型コロナウイルス感染症対策のため、開催時間の短縮や密集を避けるようなプログラム構成とし、開催することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子どもたちの体験型学習の機会を確保できるよう、引き続き、感染症対策に配慮した開催方法やプログラムの検討が課題となる。
令和3年度	<p>夏休みこども環境教室【里山編】【海岸編】は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		今年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもたちへの感染拡大が広がっていたことから、中止にせざるを得なかった。開催時期や実施方法については、社会情勢を考慮し、今後も柔軟に対応していきたい。
		検証結果 C：十分に成果をあげることができなかった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 感染症対策を配慮した開催の在り方を検討する必要がある。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画1(3)4「夏休み環境教室事業」から事業名称を変更した。

1 (2) 4	水辺の楽校プロジェクト推進事業	担当課	みどり公園・水辺課
---------	-----------------	-----	-----------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもたちが、積極的に自然にふれあいながら「遊び」、「学び」、「冒険心」、「創造性」を育み、自然と接する「作法」や「感性」を養う場として活用します。	市民や子どもたちの遊びや自然体験の場として積極的に活用できるようにするために、水辺の楽校の維持管理を行うとともに、活動団体がイベント等を実施する際に、広報活動等の支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草等の維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 広報ひらつかにイベントの告知をしたことで、より多くの人にイベント周知をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 散策路周辺の除草等の維持管理を行う。 一人でも多くの人に活動を知っていただくために、引き続き、広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行うとともに、他の周知方法を検討していく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草等の維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 広報ひらつかにイベントの告知をしたことで、より多くの人にイベント周知をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 散策路周辺の除草等の維持管理を行う。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行う。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 散策路周辺の除草等の維持管理を行った。 広報ひらつかにイベントの告知をし、広報活動の支援を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況 広報ひらつかにイベントの告知をしたことで、より多くの人にイベント周知をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

1 (2) 5	児童・生徒地域参加事業の推進	担当課	中央公民館
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地区公民館の児童・生徒地域参加事業において、異年齢の交流活動や文化活動、野外活動を推進します。	地域資源や地域人材を活用して新たな事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として「卓球教室」や「囲碁教室」などを実施した。 ・学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換を行い、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施した。 ・集まらない事業を展開し、「カブトムシを育てよう」などを通して各家庭における体験学習を推進した。 <p>計105事業 延べ9,034人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として卓球教室や陶芸教室、華道教室等を実施した。 ・学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換を行い、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「集まらない事業」を実施し、各家庭における体験学習を推進した。具体的には、公民館利用団体等と連携し、「カブトムシを育てよう」や「おうちでかんたん★夏休みこどもクッキング教室」等を実施した。 <p>計96事業 延べ7,467人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館では、児童・生徒地域参加事業として卓球教室や陶芸教室、華道教室等を実施した。 ・学校の年間予定表の入手及び地域団体との情報交換を行い、他行事の日程等を考慮して事業を企画・実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「集まらない事業」を実施し、各家庭における体験学習を推進した。具体的には、公民館利用団体等と連携し、「おうちでチャレンジ★夏休みクッキング教室」や「おたのしみ展示会「みんなが作った創作貯金箱展示会」」、「公民館で夏の課題図書を読もう！」等を実施した。 <p>計59事業 延べ2,508人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。

備考（その他）

1 (2) 6	自然観察等事業	担当課	博物館
---------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒が身近な自然に親しみ理解する機会となるように、生物分野では「自然教室」、地質分野では「自然観察入門講座」、天文分野では「星を見る会」をそれぞれ実施します。	アンケート等を活用して参加者の意見や保護者の意見を取り入れ、子どもの興味関心を惹きつけられるような事業展開を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価	
令和5年度	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法5類への移行を受け、行事の一部を当日整理券制とし、定員についてもコロナ禍以前の水準に戻して実施した。生物分野で「自然教室」「生き物ズームプロジェクト」、市民調査行事「みんなで調べよう 平塚のカマキリ」野外ガイダンス、地質分野で「ナウマンゾウのペーパークラフトを作ろう」、「サメの歯化石のレプリカを作ろう」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」等を実施した。また春期特別展関連行事として「親子で行こう湘南ジオツアー」を2回開催した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然教室」 5回のうち4回実施37人 (うち子ども9人) ・「とりの手羽先骨格標本を作ろう」2回実施43人 (うち子ども26人) ・「生き物ズームプロジェクト」12回のうち12回実施43人 (うち子ども3人) ・「みんなで調べよう 平塚のカマキリ」野外ガイダンス2回実施57人 (うち子ども32人) ・「星を見る会」10回予定のうち6回実施 (曇天中止4回) 363人 (うち子ども176人) ・「不思議な板で万華鏡を作ろう」4回実施59人 (うち子ども35人) ・「サメの歯化石のレプリカを作ろう」2回実施38人 (うち子ども27人) ・「ナウマンゾウのペーパークラフトを作ろう」1回実施31人 (うち子ども18人) ・「親子で行こう湘南ジオツアー」2回実施35人 (うち子ども15人) 	前年度の課題等に対する取組状況	
		<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法5類への移行を受け、当日整理券制や自由に参加できる行事を増やし、人数や回数も増やすなどして、募集倍率が高い行事での参加できない状況の緩和を図った。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組	<p>行事の回数はほぼ飽和状態に近いが、さらに魅力のある行事の企画開発を推進する。</p>
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策で行事は全て事前申込み、または当日の整理券制とし、定員についても縮小して実施した。生物分野で「自然教室」「生き物ズームプロジェクト」、地質分野で「自然観察入門講座 相模川流域ジオツアー」、「サメの歯化石のレプリカを作ろう」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「星座早見盤を作ろう」、「不思議な板で万華鏡を作ろう」、「流星投影機を作ろう」考古分野で、「昔の方法で火を起こそう」等を実施した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然教室」 5回のうち4回実施54人 (うち子ども14人) ・「とり手羽先骨格標本を作ろう」2回実施28人 (うち子ども18人) ・「生き物ズームプロジェクト」12回のうち12回実施63人 (うち子ども10人) ・「星を見る会」10回予定のうち5回実施 (曇天中止5回) 223人 (うち子ども109人) ・「自然観察入門講座 相模川流域ジオツアー」3回実施53人 (うち子ども1人) ・「サメの歯化石のレプリカを作ろう」3回実施76人 (うち子ども31人) ・「不思議な板で万華鏡を作ろう」4回実施64人 (うち子ども40人) ・「星座早見盤を作ろう」3回実施80人 (うち子ども46人) ・「望遠鏡工作」2回実施 14人 (うち子ども8人) ・「昔の方法で火を起こそう」1回実施69人 (うち子ども38人) 	前年度の課題等に対する取組状況	
		<p>新型コロナ対策では昨年度と同様、事前申込制で人数の制限等感染症対策の基本的な対策を講じつつ、コロナ禍前は自由参加としてきた行事は当日整理券制として一部再開。募集倍率が高い行事では参加できない状況に変わらない。</p>	<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組	<p>新型コロナへの対応方針に応じて人数や回数を増やすなどの対応を検討する。</p>
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策で行事は全て事前申込み、または当日の整理券制とし、「密」を減らすため定員についても削減して実施した。生物分野で「自然教室」「生き物ズームプロジェクト」、地質分野で「サメの歯化石のレプリカづくり」、天文分野で「星を見る会」、体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」「体験！宇宙飛行士選抜試験」、「ISSで働くロボットをプログラミングしよう」を定員数を減らして実施した。</p> <p>【実施した行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然教室 5回のうち5回実施 69人 (うち子ども39人) ・体験学習 「とり手羽先骨格標本を作ろう」2回実施 33人 (うち子ども21人) ・「生き物ズームプロジェクト」12回のうち10回実施 31人 (うち子ども9人) ・星を見る会 10回予定のうち6回実施 (雨天・緊急事態中止4回) 226人 (うち子ども112人) ・体験学習「サメの歯化石のレプリカを作ろう」2回 (緊急事態のため、館での開催は中止) 実施 子ども23人 ・体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」4回実施48人 (うち子ども30人) ・「体験！宇宙飛行士選抜試験」1回実施16人 (うち子ども8人) ・「望遠鏡工作」4回実施 37人 (うち子ども23人) ・「ISSで働くロボットをプログラミングしよう」1回実施10人 (うち子ども8人) 	前年度の課題等に対する取組状況	
		<p>今年度も感染症対策を講じながらの実施となり、自由参加行事の実施は見合わせた。募集定員を削減しているとはいえ、応募倍率が非常に高く、企画によっては9倍超となる行事もあり、コロナ禍でも博物館の教育普及行事に対する高い期待を感じた。</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組	<p>新型コロナ対策の基本的な部分では今年度と同様感染症対策を講じつつ、自由参加行事の実施は状況を見極めて判断する。高い募集倍率となった行事などでは、回数を増やすなどの対応を検討するが、事前申込制、参加人数の制限等は継続していく。</p>

備考 (その他)

1 (2) 7	プラネタリウム投影事業	担当課	博物館
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒が宇宙や天文への関心と理解を深める機会となるように、投影を実施します。投影においては一般投影のほか、幼稚園及び小・中学校向けの投影プログラムを準備し団体見学を受け入れます。	幼稚園及び小・中学校向け投影については、各教員の意見を取り入れ、一般向け投影についてはアンケート結果を参考にしながら、プログラムを作成し、投影を行います。また、乳幼児向けの観覧環境を提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児団体投影及び小学校の学習投影は人数の定員を一般投影と同様70人に戻した。停止していた市外の園校の募集も再開した。 ・一般投影は1日2回の投影を実施し、幼児向け一般投影も毎土曜日の午前投影を継続したほか、特別投影やシアトリカルプラネタリウムなども再開した。春、夏、冬の学校の長期休み期間には水・木曜日にも投影を行い観覧需要に対応した。 ・幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 3,357人 (うち子ども2,730人) 投影回数 84回 ・一般団体向け投影。 観覧者数 7,309人 (うち子ども2,466人) 投影回数 248回 	前年度の課題等に対する取組状況								
		新型コロナ以前の定員と投影回数へと戻し、観覧者の利便を図った。幼児・学校向け団体投影は休止していた市外の団体の受入れを再開した。幼児向けプログラムには、教育効果のある番組を導入し、一般投影では時機をとらえたプログラムを制作、いずれも好評だった。								
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般投影の観覧者数はコロナ禍以前の水準にほぼ戻ったが、投影回数は飽和に近く、投影1回の充足率の向上に取り組みたい。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		一般投影の観覧者数はコロナ禍以前の水準にほぼ戻ったが、投影回数は飽和に近く、投影1回の充足率の向上に取り組みたい。	
		検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
一般投影の観覧者数はコロナ禍以前の水準にほぼ戻ったが、投影回数は飽和に近く、投影1回の充足率の向上に取り組みたい。										
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児団体投影及び小学校の学習投影は引き続き市内の学校に限定して実施した。 ・一般投影は1日2回投影を維持した。幼児向け一般投影も毎土曜日の午前投影を継続した。 ・幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 2,205人 (うち子ども1,968人) 投影回数 76回 ・一般・一般団体向け投影。 観覧者数 5,888人 (うち子ども2,080人) 投影回数 236回 	前年度の課題等に対する取組状況								
		幼児団体投影、小学校学習投影は対象を市内の園校のみ、1日の投影は1園校に限定し、投影日数を拡大し対応した。一般投影は定員縮小、整理券配布などの措置を継続したが投影回数を日に2回、定員も3月からはコロナ禍以前の70人に戻した。特別投影も一部再開した。夏休み等学校の休業時期には、平日にも投影日を追加した。								
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナ以前の定員と投影回数へと戻し、観覧者数の増加を図る。幼児・学校向け団体投影は休止していた市外の団体の受入れを再開する。引き続き魅力あるプログラムの提供と広範なPRを行う。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナ以前の定員と投影回数へと戻し、観覧者数の増加を図る。幼児・学校向け団体投影は休止していた市外の団体の受入れを再開する。引き続き魅力あるプログラムの提供と広範なPRを行う。	
		検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナ以前の定員と投影回数へと戻し、観覧者数の増加を図る。幼児・学校向け団体投影は休止していた市外の団体の受入れを再開する。引き続き魅力あるプログラムの提供と広範なPRを行う。										
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児団体投影及び小学校の学習投影は引き続き市内の学校に限定して実施した。 ・引き続き一般投影は12月まで1日1回の投影としたが、ドーム内の二酸化炭素濃度測定を検証した結果、1月からは1日2回投影へと変更した。昨年投影中止した幼児向け一般投影は8月の夏休みに期間限定で投影し、年明けからは毎土曜日の午前投影を再開した。 ・幼児・学校団体向け投影。 観覧者数 2,314人 (うち子ども2,086人) 投影回数 85回 ・一般・一般団体向け投影。 観覧者数 3,262人 (うち子ども1,174人) 投影回数 147回 	前年度の課題等に対する取組状況								
		感染症対策を講じながらの投影となり、幼児団体投影小学校学習投影は対象を市内の園校に限定し実施した。一般投影は投影回数減、人数制限、整理券配布などの措置を継続した。調査研究は継続的に進めたが、その成果を新番組で投影する機会は減った。								
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今年度と同様、各種感染対策を継続するが、幼児・学校団体向けの投影日数の拡大、夏休み等学校の休業時期にも、投影日数の追加を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		今年度と同様、各種感染対策を継続するが、幼児・学校団体向けの投影日数の拡大、夏休み等学校の休業時期にも、投影日数の追加を検討する。	
		検証結果	B：おおむね成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
今年度と同様、各種感染対策を継続するが、幼児・学校団体向けの投影日数の拡大、夏休み等学校の休業時期にも、投影日数の追加を検討する。										

備考 (その他)			

1 (2) 8	芸術文化子ども体験事業	担当課	社会教育課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史、伝統、芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	小・中学校、平塚市文化連盟、地域教育力ネットワーク協議会及び公民館等と連携し、体験事業の実施を充実します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	【各地区事業（通年開催）】 ・横内地区「琴」 ・中原地区「生け花」「茶道」「相模人形芝居」 ・金目地区「生け花」「茶道」 【公民館事業（通年開催）】 ・大原公民館「生け花」 ・花水公民館「生け花」 ・大神公民館「生け花」「書道」 ・中原公民館「生け花」 ・神田公民館「生け花」「茶道」「書道」 ・中原公民館「奇術」 【学校への講師派遣（通年開催）】 ・山下小学校「琴」 ・横内小学校「琴」 ・神田小学校「相模人形芝居」 ・みずほ小学校「相模人形芝居」	前年度の課題等に対する取組状況
		未実施地区や学校での実施箇所を増やすため、公民館主事会議や小学校へのメール等で事業活用を周知した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	【各地区事業（通年開催）】 ・神田地区（神田公民館、大神公民館と共催）「生け花」 ・横内地区「琴」 ・金目地区「生け花」 【公民館事業（通年開催）】 ・旭北公民館「奇術」 ・花水公民館「生け花」 ・崇善公民館「生け花」 ・大原公民館「生け花」 ・中原公民館「生け花」 ・岡崎公民館「生け花」 【学校への講師派遣（通年開催）】 ・なでしこ小学校「琴」 ・金田小学校「琴」 ・横内小学校「琴」 ・神田小学校「相模人形芝居」 ・大野小学校「相模人形芝居」 ・みずほ小学校「相模人形芝居」 ・港小学校「相模人形芝居」	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の影響から事業の実施箇所が減少していたため、公民館主事会議や小学校へのメール等で事業活用を周知した結果、大幅に増加した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	【各地区事業（通年開催）】 ・神田地区（神田公民館、大神公民館と共催）「生け花」 【公民館事業（通年開催）】 ・花水公民館「生け花」 【学校への講師派遣（通年開催）】 ・なでしこ小学校「琴」 ・金田小学校「琴」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った箇所があった。	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の実施及び周知の推進を課題としていたため、公民館主事会議等で事業周知を行った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
		コロナ禍の中で、安心して参加できる事業とするため、実施方法や周知方法を検討し、実施箇所を拡大する。

備考（その他）

1 (3) 1	育児講座	担当課	保育課
---------	------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て家庭の不安感、負担感を軽減できるように、乳幼児の健全な心身の発達、親・家庭の果たす役割及び親と子の関係等について学び、親の育児力の向上を図るため、育児講座を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座の開催や保護者との懇談会を実施します。 主任児童委員等の意見を伺い、地域のニーズに合う講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	各園で育児講座を開催 開催数 15 参加人数 80人	前年度の課題等に対する取組状況				
		開催方法を検討し、子育て家庭の不安感、負担感を軽減することを目的に育児講座を開催した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
多くの方に参加してもらうため、周知方法を検討する必要がある。						
令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		コロナ禍でも育児講座を開催できるように検討を行ったが、保育園を運営しながら育児講座を実施するスペースを確保することができなかった。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。						
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

1 (3) 2	家庭教育支援の充実	担当課	中央図書館 中央公民館
---------	-----------	-----	----------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中央公民館の家庭教育講演会、地区公民館の家庭教育学級において、子育て世代に交流の場を提供し、家庭教育の重要性を発信します。 中央図書館で子どもの読書活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代のニーズを把握して事業を実施します。 平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)に基づいて、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	中央図書館 「図書館でポスター・標語の宿題に挑戦しよう」 令和5年8月16日実施。参加者数：4人 「外国の子どもたちに届けよう！～翻訳絵本づくり～」 令和5年12月23日実施。参加組数：6組(12名) 「おむすびひろば 絵本&パントマイム」 令和6年3月28日実施。参加者数：20組(52名) ・平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」等の企画・実施を行い、啓発に務めた。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「木久蔵流！がんばらない子育て「これがわたしの二刀流」」を実施した。講師として、林家木久蔵氏を迎えた。(参加者252人) ・各地区公民館では、家庭教育学級として「親子deビーチスポーツ体験教室」や「親子で星空観察会」など子育て世代のニーズに合わせた事業を実施した。 計102事業 延べ2,095人	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館：平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「実践型」「家庭向け」「体験型」の事業を企画、実施した。中央公民館：前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館：引き続き、アンケート等からニーズを把握し、事業内容や実施時期、対象者等を検討し、読書活動の普及に繋がる事業を企画・実施する。 中央公民館：引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。
令和4年度	中央図書館 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら開催した。 「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう(2連続講座)」 令和4年8月2日・8月9日実施。参加者数：16人 「オリジナル絵本を作ってみよう！」 令和5年2月25日実施。参加組数：9組(21名) 「星空の中のおはなし会」(平塚市博物館共催) 令和5年3月25日実施。参加者数：18組(55名) ・平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」等の企画・実施を行い、啓発に務めた。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「子育てで深めよう！家族の絆～苦境に負けない"my sweet home"～」を実施した。講師として、木山裕策氏を迎えた。(参加者449人) ・各地区公民館では、家庭教育学級として「親子でかけっこ～オリンピックと一緒に走ろう～」や「冬の天体観測 家族で色んな惑星を見てみよう」等子育て世代のニーズに合わせた事業を実施した。 計101事業 延べ2,084人	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館：平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「実践型」「家庭向け」「体験型」と内容や対象者を変えての事業を企画、実施した。中央公民館：前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館：引き続き、アンケート等からニーズを把握し、事業内容や実施時期、対象者等を検討し、読書活動の普及に繋がる事業を企画・実施する。 中央公民館：引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。
令和3年度	中央図書館 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら開催した。 「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう(2連続講座)」 令和3年8月11日・8月12日実施。参加者数：19人 「オリジナル絵本を作ってみよう！」 令和4年3月12日実施。参加組数：7組(19名) ・平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」の企画・実施を行い、啓発に務めた。 中央公民館 ・平塚市PTA連絡協議会との共催で、家庭教育講演会「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方～明るく、楽しく、あきらめない～」を実施した。講師として、辻井いつこ氏を迎えた。(参加者283人) ・各地区公民館では、公民館だよりに自宅で作る和風スイーツなどのレシピを掲載した。また家庭教育学級として、「海辺の宝さがし」や「手作り望遠鏡で秋の星空観察」、「おうちdeトライ★サイエンスTube」など新型コロナウイルス感染症対策に考慮し、子育て世代のニーズに合わせた事業を実施した。 計67事業 延べ1,438人	前年度の課題等に対する取組状況 中央図書館：平塚市子ども読書活動推進計画(第4次)の目標達成に向け、「家庭向け講演会の実施」及び「実践型イベントの実施」について企画及び実施の検討を行った。 中央公民館：前年度のアンケートから子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 中央図書館：新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上で、事業内容や実施時期等を検討し、読書活動の普及に繋がる事業を企画・実施する。 中央公民館：引き続き、子育て世代のニーズを把握して事業を企画・実施する。

備考(その他)

1 (3) 3	学習の場の充実	担当課	中央公民館
---------	---------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
中央公民館の市民大学講座や市民アカデミー、地区公民館の自主事業等において、男性の子育て参加を推進します。	男性の料理教室や父の日事業のほか、家族のふれあいが生まれるよう親子や夫婦を対象とした事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、家庭教育学級として「竹を使った!?親子バウムクーヘンづくり」や「RUN♪RUN♪RUN♪家族deランニング♪」などを実施した。また「初めてのキャンプ講座」や「工作教室」など、男性が参加しやすい内容の事業を実施し、実施日は土日祝に設定した。 土日祝に開催した親子対象の事業 計79事業 延べ2,597人 男性が参加しやすい内容の教室 計48事業 延べ1,408人 	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期や実施方法を検討しつつ、家庭教育学級として「君ももっと速くなる！家族走り方講座」等を実施した。また「親子消防庁舎見学」や「模型飛行機づくり教室」等、男性が参加しやすい内容の事業を実施し、実施日は土日祝に設定した。 土日祝に開催した親子対象の事業 計61事業 延べ1,197人 男性が参加しやすい内容の教室 計45事業 延べ1,436人 	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から時期や実施方法を検討しつつ、家庭教育学級として「父親を20倍楽しむ～いい父親でなく、笑っている父親になろう～」や「親子でハンモックづくり」等を実施した。また、「親子で凧作り教室」や「模型飛行機づくり教室」等の男性が参加しやすい内容の事業を実施した。なお、事業の実施日を土日祝に設定した。 土日祝に開催した親子対象の事業 計39事業 延べ1487人 男性が参加しやすい内容の教室 計17事業 延べ468人 	前年度の課題等に対する取組状況 男性保護者の参加を想定し、日時や内容を考慮して事業を企画・実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、感染症防止の観点からも、地域行事の日程や内容を考慮して事業を企画・実施する。

備考 (その他)

1 (3) 4	子育て支援地域派遣事業	担当課	保育課 健康課
---------	-------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域の子育て支援活動等に保育士や保健師等を派遣し、育児に関する相談・支援を行います。	子育てサークルなどでの育児情報の提供や育児相談、遊びの紹介等、子育て支援に継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所において、地域の子育てサークルや主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル（コミュニティ）：5回 子育て支援活動（子育て広場）：133回 <ul style="list-style-type: none"> ・R5から地域医療福祉拠点整備モデル事業として、旭南地区町内福祉村が実施している「きずなっこ」に月2回民間保育園から保育士を派遣している。 派遣回数：20回	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> 保育課：派遣依頼・実施数はコロナ前と同水準に回復。地域医療福祉拠点整備モデル事業を開始。 健康課：前年度と同様の規模で実施できた。
		<p>検証結果</p> B：おおむね成果があがった
		<p>今後の事業展開</p> ①現状の規模で継続
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> 翌年度も現状の規模で継続していく。
令和4年度	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所において、地域の子育てサークルや主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル（コミュニティ）：5回 子育て支援活動（子育て広場）：100回 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。 <p>健康課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科1回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師14回、栄養5回、歯科4回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師1回、栄養1回、歯科2回 <ul style="list-style-type: none"> ・地区の要望に沿って対応している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> 保育課：派遣依頼・実施数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和元年の75%程度に回復してきている。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増え、感染拡大の防止に努めながら実施した。
		<p>検証結果</p> B：おおむね成果があがった
		<p>今後の事業展開</p> ①現状の規模で継続
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> 保育課：翌年度も現状の規模で継続していく。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増えた。今後も、現状の規模で継続していく。
令和3年度	<p>保育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所において、地域の子育てサークルや、主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル：0回 子育て支援活動：35回 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。 <p>健康課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師0回（2件中止）、栄養2回、歯科1回（1件中止） 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回、栄養0回（中止1回）、歯科0回（中止1回） <ul style="list-style-type: none"> ・地区の要望に沿って対応している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> 健康課：R3.10月より事業を再開したため、派遣依頼・実施数はコロナ前と比べると減少したが、感染拡大の防止に努めながら実施した。
		<p>検証結果</p> B：おおむね成果があがった
		<p>今後の事業展開</p> ①現状の規模で継続
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> 健康課：R3.10月より事業を再開したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる依頼もあった。コロナ感染拡大の防止に努めながら、翌年度も①現状の規模で継続していく。

備考 (その他)			

1 (3) 5	地域福祉推進事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地域福祉を推進するため、市民と行政との協働により、地域の子どもから高齢者までがお互いに助け合い、支え合う仕組みとしての町内福祉村の新設及び既設福祉村等の環境整備を支援します。	既存福祉村について活動の支援を行うほか、福祉村未設置地区に出向き、本事業の説明やワークショップを実施することで、町内福祉村の意義や必要性を伝え、新設を促進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>令和5年度は、町内福祉村の活動が更に活性化するように、福祉村会長会議で他の福祉村の好事例等について意見交換等を行うとともに、コーディネーターの研修会や各部会を実施しました。</p> <p>さらに、多くの方に福祉村の活動について知っていただくために、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したほか、3月には中央図書館での展示も実施しました。</p> <p>福祉村未開設地区に対しては、地域向けの説明会を実施し、地域での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていきます。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>多くの方に福祉村を知っていただけるよう、ららぽーと湘南ひらつかでの周知を充実させたほか、3月には中央図書館での展示を実施しました。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p>
		<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>未設置地区への働きかけは地域の会議に出席するなど、回数を増やしていく必要があります。</p>
令和4年度	<p>令和4年度は、福祉村の活動が活性化するように、新たな補助制度を創設し、活動の後押しをすることで、地域の輪が途切れることの無いよう促しました。また、福祉村会長会議で他の福祉村の好事例等について紹介等を行うとともに、コーディネーターの研修会を実施しました。</p> <p>さらに、多くの方に福祉村の活動について知っていただくために、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したほか、平塚市公式LINEで各福祉村の活動を紹介しました。</p> <p>福祉村未開設地区に対しては、地域向けの説明会を複数回実施し、地域での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていきます。</p> <p>・ふれあい交流活動 7,847回開催、75,256人参加</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>活性化補助金の活用により、デジタル技術の活用など、新たな取組が広く展開されました。また、新たに、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したことで福祉村活動の認知度向上を図りました。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>既存の福祉村の活動活性化に取り組むとともに、多くの方に福祉村を知っていただけるよう、引き続き、広く周知していく必要があります。また、未設置地区には丁寧な説明に伺い、地域の機運を高める必要があります。</p>
令和3年度	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により福祉村活動を一部縮小し実施しました。感染症対策に配慮しながら、実施可能なサロン等については、開催人数や回数、会場等の変更を行いながら各地区で工夫し実施することができました。市からも、既設18地区の町内福祉村に対し、住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、感染症の状況を考慮しながら福祉村会長会議を书面で開催するなどの手段も活用し、他の福祉村の好事例等について紹介等を行うことで、今後の各福祉村活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、書面等での地区へ情報提供を行うと共に、少人数で検討する機会を設けました。地区での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>感染症対策に配慮した実施可能な範囲でのサロン等を行っていますが、参加ボランティアの拡大には繋がりませんでした。しかし、ボランティア間の繋がりが途切れないよう連絡を密にし、今後の活動に備えています。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染症の影響を見つつ、引き続きサロン等の充実やボランティアの拡大に努めます。</p>

備考（その他）

1 (3) 6	保育所のボランティアの受入れ	担当課	保育課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
園児とのふれあいを通して、保育の基礎的な知識や技術を習得してもらい、地域への社会奉仕活動への参加を図るため、保育所での保育実習及び地域の保育ボランティアの受入れを行います。	小・中・高校生の社会（職業）体験学習や保育実習の場の提供、地域のボランティアや絵本の読み聞かせボランティア等の受入れをします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに高校生の保育実習を受け入れた。33人 34園で実施。学生の減少もあり参加者は減っているが、実習後実施のアンケートには「将来に役立つ経験ができた」「保育士になりたいという気持ちが高まった」など、この実習が有意義であったとの回答が多数寄せられた。 ボランティア受け入れや体験学習の受け入れが再開し、小中学生の体験学習や高校生のボランティア、インターンシップの学生を受け入れることができた。 絵本の読み聞かせボランティアの受け入れを再開した園が増え、絵本の読み聞かせを多くの園で実施することができた。 	前年度の課題等に対する取組状況 夏休み高校生保育実習事業以外のボランティアの受け入れを再開し、参加者増となる。その他にも体験学習やインターンシップなどの受け入れも再開した園が増え、受け入れることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 夏休み高校生保育実習事業はPRをし参加者を募っていききたい。ボランティアや体験保育等の受け入れは再開をさらに進め、小中高校、地域のボランティア等受け入れの輪を広げていき充実を図る。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに高校生の保育実習を受け入れた。63人 39園で実施。実習後にアンケートを実施し、「保育士の仕事を間近で見る、体験することができていい経験になった」「実習に参加し、改めて保育士になろうと思った」など、保育実習に参加して良かったとの回答が多数寄せられた。 	前年度の課題等に対する取組状況 各園、参加学生ともに新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて実施した。また、申込方法に電子申請を加え、事前説明会を動画配信に変更し、学生がより参加しやすい形式を取り入れた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の動向を確認し、園、学生の安全に配慮しながら実施していく。学生がより参加しやすいように、Webを利用した申し込みや説明会等継続していく。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに高校生の保育実習を受け入れた。68人 36園で実施。 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の防止対策をしながら実施した。昨年度の中止を受けてか参加者は、コロナ前より増加する。コロナの影響で取りやめや途中中止となる学生もいたが、90%以上が修了できた。感染症対策の一環として修了式を動画配信で行った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の防止対策の徹底をはかり実施していく。修了式の動画配信での実施を受け、来年度は説明会や申し込み等もwebを利用した実施を検討していく。

備考 (その他)			

1 (3) 7	非行防止活動の推進	担当課	青少年課
---------	-----------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>心豊かで、規範意識・遵法精神・社会性が向上した青少年を一人でも多く育成するため、社会を明るくする運動を通して、講演会や街頭啓発キャンペーン等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛護指導活動、相談活動を行います。 ・ 青少年指導員による環境浄化活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動の活動を支援します。 ・ 青少年の非行を防止するため、学校及び地域と協力し、パトロールを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会及び年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区で合計17回実施（指導件数846件） ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催（21地区で実施、延べ3,462人参加） ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場や平塚駅前にて約2,100枚のチラシを配布、湘南ベルマーレ試合ハーフタイムには横断幕やのぼりを持ってグラウンドの行進を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と青少年の問題行動等について情報共有を図り、七夕まつりでは関係団体と合同パトロールを実施するなど、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会及び年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で合計8回実施（指導件数817件） ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催（16地区で合計16回実施、延べ4,518人参加） ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場でのチラシ配布及び横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,125部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と青少年の問題行動等について情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち1校区で2回、4校区で1回実施（指導件数363件） ・ 社会を明るくする運動を各地区において開催（9地区で実施、延べ1,959人参加） ・ 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,147部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。愛護指導活動については、新型コロナウイルス感染症の影響等により愛護指導実施回数が減少した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										

備考（その他）

1 (3) 8	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。	地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>次の地域活動団体等に対し、こころと命のサポート事業（読書活動を通じた自殺対策の推進）の説明、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用について働きかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校司書教諭（司書教諭打ち合わせ会）年1回 各小中学校学校司書（学校司書説明会）年1回 各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議 年2回 <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 6地区 読み聞かせ回数 延べ 441回 読み聞かせ人数 延べ 1,734人</p>	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度同様、各団体へ働きかけ、読み聞かせ等の実施を促した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく。
令和4年度	<p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 12地区 読み聞かせ回数 延べ 221回 読み聞かせ人数 延べ 5,343人</p>	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度実施地区が少なかったことから、昨年度より呼びかけを強化し、実施を促すことで実施地区の向上に繋がった。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。</p> <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 8地区 読み聞かせ回数 延べ 157回 読み聞かせ人数 延べ 4,850人</p>	前年度の課題等に対する取組状況 公立・私立保育園、小・中学校の司書教諭及び学校司書に「いのちの尊さをつたえる本」ブックリストの活用と読み聞かせの実績報告を依頼した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。

備考 (その他)

1 (3) 9	子ども学習支援委託事業	担当課	生活福祉課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
将来の自立に向けた高等学校進学のため、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に学習の支援をします。	<見直し> 対象を生活保護世帯及び生活困窮世帯の高校生まで拡大し、学習の支援をします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	参加実績 中学1年生 9名 中学2年生 6名 中学3年生 11名 高校1年生 4名 高校2年生 5名 高校3年生 2名 実施場所 2か所 開催日数 189日	前年度の課題等に対する取組状況 PRを行ったにもかかわらず、思ったほどの参加者人員が確保できなかった。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 参加者人員の確保
令和4年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 16名 中学3年生 12名 高校1年生 3名 高校2年生 1名 高校3年生 1名 実施場所 2か所 開催日数 166日	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 学習支援の範囲を本格的に高校生までに拡大するにあたって、参加者人員の確保。
令和3年度	参加実績 中学1年生 13名 中学2年生 12名 中学3年生 20名 実施場所 1か所 開催日数 83日	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。

備考 (その他)

2 (1) 1	一時預かり事業	担当課	保育課
---------	---------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 〔対象：就学前子ども〕	民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育21園で実施（延べ利用児童数11,023人） 民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園13園で実施（延べ利用児童数38,048人） 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,769人） 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況 施設改修の影響により実施できなかった1園を除き、すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,281人） 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）
実績値（暫定版）はR5.12月末までの人数

2 (1) 2	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（支援会員）を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。 〔依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者〕	支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員257人、依頼会員671人、両方会員29人 活動件数：3,475件	前年度の課題等に対する取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員講習会のPR方法やカリキュラムについて見直し、ネットからの申し込みやオンライン受講を導入した。 ・HPの掲載内容を見直し、活動内容等を分かりやすく表記した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		依頼会員のニーズに対応できるように、PR活動の強化や支援会員講習会の開催回数を増やすなど、支援会員増加に向けた取組を行う。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を1回開催。 ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員276人、依頼会員933人、内両方会員31人 活動件数：2,280件 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施 ※依頼会員の中に資格を喪失している会員（子どもが中学生以上の保護者）が含まれていたため整理して正しい会員数に修正	前年度の課題等に対する取組状況
		支援会員講習会について、広報ひらつかや市公式LINEでの周知に加え、市民課及び障がい福祉課前に設置している広告放映ディスプレイへの掲載やスーパー等へのポスターの掲示を行った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		依頼会員のニーズに対応できるように、PRや支援会員講習会のカリキュラム見直しなど、支援会員増加に向けた取組を行う。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員入会説明会を2回開催。 ・支援会員の講習会を2回開催。 ・支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 ・支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 ・支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員300人、依頼会員1,544人、内両方会員29人 活動件数：1,734件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援会員の入会説明会及び講習会について、市公式LINEを使うなど、PRを強化した。 ・支援会員講習会のカリキュラムを見直し、講習内容の充実を図った。（救命講習：救命入門コース(90分)から普通救命講習(3時間)に変更等）
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。

備考（その他）

2 (1) 3	延長保育・休日保育事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保育所や認定こども園において、延長保育や休日保育を行います。〔対象：就学前子ども〕	引き続き、保護者の就労形態などに対応した延長保育や休日保育を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育（全園で実施） 休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		延長保育は保育園の在園児が規定の利用時間を超えて保育園を利用するもの。休日保育についても同様であり、ニーズに応じて実施する必要があるため、現状の規模で継続して取組む。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育（全園で実施） 休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		延長保育は保育園の在園児が規定の利用時間を超えて保育園を利用するもの。休日保育についても同様であり、ニーズに応じて実施する必要があるため、現状の規模で継続して取組む。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育（全園で実施） 休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）4「特別保育拡充事業」から内容を整理した。

2 (1) 4	私立幼稚園の預かり保育の推進	担当課	保育課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。 〔対象：3歳から就学前子ども〕	引き続き、県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 	前年度の課題等に対する取組状況 令和6年4月からつくし幼稚園が認定こども園へ移行。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が継続してニーズが高い傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度は健康課が実施。 	前年度の課題等に対する取組状況 令和5年4月から神田幼稚園が認定こども園へ移行。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が継続してニーズが高い傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況 各幼稚園に対して、利用者のニーズにあった事業展開を推進した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		幼児教育・保育の無償化が実施されて以降、幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が増加傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。

備考 (その他)
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

2 (1) 5	病児・病後児保育	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもが病中、又は病気の回復期にあるときに、保護者が仕事や病気等により、自宅で看病できない場合に対応するため、病児・病後児保育を行います。	<見直し> 市内2か所の施設について、医療機関と利用対象者に更なる周知を図ります。また、利用者数の動向に注視しながら、事業の拡充に向けて検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 133人 ・麦・もんもん病児保育室 延べ利用児童数 947人	前年度の課題等に対する取組状況 令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備の支援を行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
		令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備やICT導入の支援を行う。
令和4年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 101人 ・麦・もんもん病児保育室(令和3年4月開設) 延べ利用児童数 750人	前年度の課題等に対する取組状況 令和4年2月から予約システムを導入し、職員の業務負担が軽減し、利用者の利便性も向上した。令和4年度から健康だよりによる情報発信を開始し、また、各施設の紹介動画をYouTubeにアップするなどして、病児・病後児保育の周知を図った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
		令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備の支援を行う。
令和3年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 95人 ・麦・もんもん病児保育室(令和3年4月開設) 延べ利用児童数 536人	前年度の課題等に対する取組状況 ・令和3年4月から本市初の病児保育を開始し、広報や市HPなどの媒体で広報を行った。 ・令和4年2月から職員の業務負担の軽減、利用者の利便性向上のため、インターネットで事前登録、空き情報の確認、利用の予約・キャンセルが可能なシステムの導入を支援した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		コロナ禍においても、実施施設と連携し、子育てと仕事の両立支援の充実を図る。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）6「病後児保育」から事業名称を変更した。

2 (1) 6	放課後児童クラブの充実・推進	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
放課後児童支援員等としての資質の向上を図るため、放課後児童支援員等を対象とした市主催の研修を推進します。また、近年、県等主催の研修が充実してきたため、より多くの研修機会が持てるように、情報提供し、参加を促進します。	県等主催の研修について情報提供するとともに、市主催の研修については、県等主催の研修内容を踏まえ、放課後児童支援員等として、必要な知識及び技術の習得のための研修を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。 6月 普通救命講習 3回 参加者56人 12月 発達障がい理解 ASDタイプの子どもたち 2回 参加者105人 1月 学童保育中における安全教育について 1回 参加者96人	前年度の課題等に対する取組状況
		市主催研修では、分散開催で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じるなど、予定通り開催した。また、県等の他研修ではオンライン研修を実施し、多くの方が参加した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、よりよい研修内容について検討していく。
令和4年度	放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。 6月 普通救命講習 4回 参加者56人 12月、1月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者110人 1月 保護者との連携 1回 参加者71人	前年度の課題等に対する取組状況
		市主催研修では、昨年度末のオンライン研修後のアンケートを踏まえ、分散開催で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、予定通り開催した。また、県等の他研修ではオンライン研修を実施し、多くの方が参加した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、よりよい研修内容について検討していく。
令和3年度	放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。 6月～7月 普通救命講習 4回 参加者45人 7月 災害時対応講習 1回 参加者35人 12月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者109人 1月～2月 コンプライアンス研修 2回 参加者81人	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの影響はあったが、分散開催やオンラインを活用することで、概ね例年規模での研修を開催することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルスの影響により会場開催ができない場合でも、持続的に放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、オンライン研修の効果的な開催方法について検討していく。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）7「学童保育の充実・推進」から事業名称を変更した。

2 (1) 7	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	担当課	社会教育課
---------	--------------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
放課後や土曜日等に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、子どもたちが学習や文化活動、地域住民との交流活動などを継続的に体験できる取組を推進します。	放課後や土曜日等に、子どもたちが文化・スポーツ、自然体験など様々な活動をする機会を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 〈実施内容〉 絵手紙、コカリナ、南京玉すだれ ※夏休み期間(8/20)には夕暮れコンサートを開催 港地区「港放課後子ども教室」 〈実施内容〉 自主学習、バドミントン、ストラックアウト、輪投げ、体育遊び（跳び箱、肋木、フラフープ、ボール投げ等）ニュースポーツ体験（ポッチャ、ラダーゲッター等） ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 〈実施内容〉 茶の湯、ジュニアバンド、和太鼓、陸上、卓球、剣道、野菜作り、フラワーアレンジメント、お琴、浴衣着付け教室、ドッジボール、横内ふるさとカルタ大会、バナナの木 <p>※各地区ともコロナ禍以前の活動にほぼ戻っている</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		市内の子どもの居場所について、把握している官民の施設や取組みの一覧を作成し、関係部署や関係団体と情報を共有している。また、他地域への拡大に向けて子どもの居場所づくりに取り組む団体の調査、視察を行った。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また「子どもの居場所づくり」という総合的な視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。								
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 〈実施内容〉 絵手紙、コカリナ、南京玉すだれ ※夏休み期間(8/21)には3年ぶりに夕暮れコンサートを開催 港地区「港放課後子ども教室」 〈実施内容〉 自主学習、バドミントン、ストラックアウト、輪投げ、体育遊び（跳び箱、肋木、フラフープ、ボール投げ等）ニュースポーツ体験（ポッチャ、ラダーゲッター等） ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 〈実施内容〉 茶の湯、ジュニアバンド、和太鼓、陸上、卓球、剣道、野菜作り、フラワーアレンジメント、お琴、浴衣着付け教室、ドッジボール、横内ふるさとカルタ大会、バナナの木 <p>※各地区ともコロナ禍以前の活動に近づいている</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		手指消毒やマスクの着用など、基本的な感染防止対策の励行が定着し、コロナ禍以前の活動に戻していく試みが増えている。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また「子どもの居場所づくり」という総合的な視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模（期間）を縮小して実施 	前年度の課題等に対する取組状況						
		新型コロナウイルス感染症リスクの中で、安全な事業の実施に重点を置き、事業の継続を最優先とした。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また、コロナ禍での安全な事業実施に向け、関係団体と協議する必要がある。								

備考（その他）

2 (1) 8	新・放課後子ども総合プランの推進	担当課	青少年課 教育総務課 社会教育課
---------	------------------	-----	------------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
「新・放課後子ども総合プラン」の趣旨に基づき、子どもたちが放課後等を安全、安心に過ごし、多様な体験、活動を行うことができるように、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的又は連携した取組を推進します。	<p><見直し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の拡充に向けて、実施を希望する地域や学校の把握に努めるとともに、希望等に応じ相談や調整を進めます。 ・小学校の余裕教室等の利用状況を定期的に調査し、放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室への活用の可能性について、庁内で連携して検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。</p> <p>また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和6年3月26日に開催した。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>既存地区の活動活性化を図るとともに、実施地区の拡大に向けて子どもの居場所づくりに取り組む団体の調査、視察を行った。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>令和6年度は「新・放課後子ども総合プラン」に代わる「放課後児童対策パッケージ」に基づき、引き続き「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組推進や学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</p>
令和4年度	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。</p> <p>また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和5年3月23日に開催した。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を優先しながら、既存の2地区における活動の継続及び活性化を図った。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。また「子どもの居場所づくり」という視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。</p>
令和3年度	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。</p> <p>また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和4年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催とした。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</p>

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (1) 9「放課後子ども総合プランの推進」から事業名称を変更した。

2 (1) 9	民間保育所施設整備支援事業	担当課	保育課
---------	---------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保育所待機児童の解消や保育サービスの充実を図るため、民間保育所に対して助成を行います。	入所児童の安全性や生活環境の改善を図るために、民間保育所の施設整備に対して必要な助成をします。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 ・株式会社立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 ・学校法人立幼稚園1園の認定こども園化に伴う改築工事に対して助成 ・認可保育所1園の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 ・特定非営利活動法人立保育所1園のテラス改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同様に、民間保育所の修繕、環境改善のための工事及び新規開設や定員増に伴う工事に対しての助成を行い、待機児童解消のために施設を整備した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		引き続き、待機児童の解消や保育サービスの充実を図るため、地域における保育ニーズを検証し、民間保育所の施設整備に対しての助成を検討していく。				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 ・株式会社立保育所1園の施設の増改築工事に対して助成 ・学校法人立幼稚園1園の認定こども園化に伴う改築工事に対して助成 ・小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同様に、民間保育所の修繕及び新規開設や定員増に伴う工事に対しての助成を行い、待機児童解消のために施設を整備した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		引き続き、待機児童の解消や保育サービスの充実を図るため、地域における保育ニーズを検証し、民間保育所の施設整備に対しての助成を検討していく。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人立保育所5園の施設の小規模な修繕に対して助成 ・社会福祉法人立保育所2園の施設の増改築工事に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の防犯対策工事に対して助成 ・社会福祉法人立保育所1園の防音壁工事に対して助成 ・学校法人立認定こども園1園の防犯対策工事に対して助成 ・小規模保育事業所1か所の新規開設に伴う施設改修工事に対して助成 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (1) 10	民間保育所保育士確保支援事業	担当課	保育課
----------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
高まる保育ニーズに対応するため、保育環境の充実に向け、民間保育所の保育士の確保や就労を支援します。	保育士養成校や民間保育所との情報交換や連携を密にすることで、市内民間保育所での就労を促進するとともに、他の自治体による保育士確保策を注視し、魅力的で実効性のある保育士確保支援事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R 5 新規支払者数：10人 継続利用者数：20人 (R1継続1人、R2継続6人、R3継続8人、R4継続5人) ○就労支援交付金 R 5 新規支払者数：48人 継続利用者数：54人 (R3継続26人、R4継続28人) ○奨学金返済支援補助金 R 5 新規支払者数：0人 継続利用者数：7人 (R3継続2人、R4継続5人) <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 33人 ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金) 8人 ○保育士就職応援フェア 3回開催 (5月、7月、9月) ※9月は茅ヶ崎市・二宮町との合同開催。 ○保育士確保特設サイト「ひらつか保育士ナビ」 保育園情報を随時更新 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎市・二宮町と合同で保育士就職応援フェアを実施。 ・保育士確保特設サイト「ひらつか保育士ナビ」を運営し、平塚で働く魅力をPRした。 				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士就職応援フェアの対象の拡大など、広く保育士確保に努める。 ・保育士確保特設サイト「ひらつか保育士ナビ」を運営し、平塚で働く魅力をPRする。 						
令和4年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R 4 新規支払者数：5人 継続利用者数：16人 (R1継続1人、R2継続7人、R3継続8人) ○就労支援交付金 R 4 新規支払者数：33人 継続利用者数：64人 (R2継続31人、R3継続33人) ○奨学金返済支援補助金 R 4 新規支払者数：5人 継続利用者数：2人 (R3継続2人) ※R4から補助率1/2→2/3 <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 31人 ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金) 8人 ○保育士就職応援フェア 4回開催 (5月、8月、9月、10月) ○保育士確保特設サイト「ひらつか保育士ナビ」 特設サイト、貸付金PR動画等を作成した。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士確保特設サイトを開設し、貸付金PR動画を作成した。令和5年度からPRに活用していく。 				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	②拡大して継続			
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町と保育士就職応援フェアを共同開催し、広く保育士確保に努める。また、東海大学とも協力し、学生に対して保育士として働く魅力をPRする。 ・保育士確保特設サイト「ひらつか保育士ナビ」を運営し、平塚で働く魅力をPRする。 						
令和3年度	<p>【民間保育所保育士確保支援の「3つの柱」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職促進貸付金 R 3 新規申込者数：9人 継続利用者数：14人 ○就労支援交付金 R 3 新規申込者数：41人 継続利用者数：77人 (うち3年満了者:39人) ○奨学金返済支援補助金 R 3 新規申込者数：2人 <p>【その他の保育士確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間保育所インターンシップ事業実施支援補助金 32人 (うち重複利用者:1人 (実人数:31人)) ○民間保育士メンタルヘルスケア実施支援事業補助金) 利用人数11人、利用回数13回) ○民間保育所ガイドブック作製 750部作製 ○保育士就職セミナー 4回開催 (6月、8月、9月、11月) ○保育士養成校訪問 12校 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士確保支援の「3つの柱」を中心に、事業の充実度を上げることができた (特に貸付金)。 ・保育士確保とこの事業のPRを積極的に行うため、民間保育所の団体と連携し、保育士養成校への訪問回数を増やした他、保育士就職セミナーの開催増などを実施した。 				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3つの柱」を中心とした本市の保育士確保策を、さらにアピールするために、次年度は「特設サイト」を制作し、情報発信力の強化を図っていく。 ・「奨学金返済支援事業補助金」については、次年度から、補助額を年間返済額の1/2から2/3に、3年間を5年間に制度変更し、平塚で働く保育士を支援していきたい。 						

備考 (その他)			

2 (1) 11	公立保育所施設整備事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
安心・安全・快適な保育環境の向上や地域への子育て支援の充実に資するため、老朽化した公立保育所の施設整備を行います。	公立保育所において計画的な修繕等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の必要な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況 前年度に引き続き、施設・設備等の必要な修繕を実施する。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 公立保育所及び認定こども園の施設の老朽化が進む中で、突発的な故障や破損による修繕が事業予算の多くを占めている。園児、職員等施設利用者の安全と安心を守るため必要な修繕を実施していく。
令和4年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況 前年度に引き続き、施設・設備等の小規模な修繕を実施する。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 公立保育所及び認定こども園の施設の老朽化が進む中で、突発的な故障や破損による修繕が事業予算の多くを占めている。園児、職員等施設利用者の安全と安心を守るため必要な修繕を実施していく。
令和3年度	公立保育所7園及び認定こども園1園について、施設・設備等の小規模な修繕を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (1) 12	私設保育施設への支援	担当課	保育課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童の健康診断、職員の保菌検査、施設賠償責任保険の諸経費に対して助成を行います。	子ども・子育て支援新制度の動向を見極めながら、補助等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	私設保育施設6施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況 既存施設からの補助金申請を受け、各施設への支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き子ども・子育て支援新制度の動向に合わせて再開施設や新規施設等該当園の漏れが無いよう見極めて支援を実施していく。
令和4年度	私設保育施設7施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況 新規施設からの補助金申請を受け、既存園と合わせて施設への支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子ども・子育て支援新制度の動向に合わせて該当園の漏れが無いよう見極めて支援を実施していく。
令和3年度	私設保育施設5施設に助成した。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (1) 13	幼保一元化のモデルケース事業	担当課	保育課 教育総務課
----------	----------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
認定こども園の整備及び開園後の運営に係る課題について、継続して検討します。	港こども園を運営していく中で出てくる課題について検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	令和9年4月1日開園予定の(仮称)土沢認定こども園の開園に向け、モデルケースである港こども園の施設の使用状況や運営に関する知見の蓄積を図り、問題点等の洗い出しを行った。	前年度の課題等に対する取組状況				
		整備及び運営については、課題の研究や検討を進め、公立園の在り方の観点も考慮し、公設公営での整備運営をしていくことを決定した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		(仮称)土沢認定こども園の実施設計に向け、引き続き情報収集を図り、それらを踏まえた整備を実施していく。				
令和4年度	平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について整理し、吉沢保育園と土屋幼稚園を統合し、民営化する(仮称)土沢認定こども園の事業者募集において、課題を反映した公募を実施した。 また、こうした課題に対し、引き続き検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。	前年度の課題等に対する取組状況				
		「港こども園」において、運営していく中で出てくる課題について整理し、民営化する(仮称)土沢認定こども園の事業者募集において、課題を反映した公募を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		公募に対する応募が無かったことから、引き続き整備及び開園後の運営に係る課題の研究に取り組む。				
令和3年度	平成29年4月1日に幼保連携型認定こども園として供用開始した「港こども園」において、実際にこども園を運営していく中で出てくる課題について整理した。 ・実践を通して構築すべき教育・保育内容(指導計画、カリキュラム等)について、職員同士の情報共有する時間の確保が困難であることから満足なカリキュラムが作成できていない。 ・保護者の行事や保護者会等への園との関わりなどについて、1号入園児と2号及び3号入園児に相違がある。 こうした課題に対し、検討・対処し、モデルケースとしての知見の蓄積を図った。	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

2 (1) 14	公立園の在り方の検討	担当課	保育課 教育総務課
----------	------------	-----	--------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
公立の幼稚園及び保育所については、「平塚市幼保一元化に関する検討会」で取りまとめた在り方を踏まえ、協議を進めています。	幼稚園や保育所等の利用状況を見極めながら、多様な保育ニーズに対応する公立園の在り方を検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	就学前人口が減少する一方で、共働きが増加することにより、待機児童等が発生している背景を踏まえ、今後の公立園運営に係る課題や見直しの視点を洗い出し、公立としての位置付けや機能を勘案しながら、在り方を検討し、各園の方向性を示した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		取組状況に記載のとおり、取組みを継続し、各園の方向性を示した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">示された各園の方向性に基づき整備を進めるとともに、保育需要等の動向を見極め、必要な検討を加える。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		示された各園の方向性に基づき整備を進めるとともに、保育需要等の動向を見極め、必要な検討を加える。			
翌年度に向けた課題と取組						
示された各園の方向性に基づき整備を進めるとともに、保育需要等の動向を見極め、必要な検討を加える。						
令和4年度	幼保一元化のモデルケース事業の取組みを背景とした、幼保一元化に関する課題の発見、検討を行い、令和2年度に示されたひばり幼稚園の方向性に基づき、各所管課で運営状況や社会状況の変化等を踏まえた今後の在り方を検討した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		継続的な就学前人口の減少及び待機児童等を背景とした保育需要の予測から、今後の公立園運営に係る課題や見直しの視点を洗い出し、方向性を検討した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">取組みを継続し、今後の方向性を決定する。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		取組みを継続し、今後の方向性を決定する。			
翌年度に向けた課題と取組						
取組みを継続し、今後の方向性を決定する。						
令和3年度	幼保一元化のモデルケース事業の取組みを背景とした、幼保一元化に関する課題の発見、検討を行い、令和2年度に示されたひばり幼稚園の方向性に基づき、各所管課で運営状況や社会状況の変化等を踏まえた今後の在り方を検討した。	前年度の課題等に対する取組状況				
		保育課：インクルーシブ教育に関する取組状況などの周知、共有を図った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">社会状況を踏まえ課題等を整理し、今後の方向性を検討する。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		社会状況を踏まえ課題等を整理し、今後の方向性を検討する。			
翌年度に向けた課題と取組						
社会状況を踏まえ課題等を整理し、今後の方向性を検討する。						

備考（その他）

2 (2) 1	子育て支援センター事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 〔対象：就学前子ども及び保護者〕	事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 4,884人、子ども 5,964人、合計 10,848人 相談件数：面接 1,835件、電話 42件、その他 270件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>・施設の利用状況から利用定員を緩和した。また、1日の利用回数制限を撤廃した。（令和6年3月～）</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。</p>
令和4年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,487人、子ども 4,389人、合計 7,876人 相談件数：面接 2,182件、電話 45件、その他 202件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながらイベントや育児講座を開催した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>
令和3年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,379人、子ども 4,021人、合計 7,400人 相談件数：面接 2,246件、電話 15件、その他 188件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながら人形劇やコンサートなど一部のイベントを開催した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>

備考（その他）

2 (2) 2	つどいの広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 〔対象：おおむね0～3歳児及び保護者〕	事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・5か所を実施。読み聞かせなどのイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,829人、子ども 1,947人、合計 3,776人、相談件数：387件 「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 5,061人、子ども 5,363人、合計 10,424人、相談件数：375件 「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,910人、子ども 2,474人、合計 4,384人、相談件数：199件 「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,595人、子ども 1,801人、合計 3,396人、相談件数：32件 「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 1,069人、子ども 1,185人、合計 2,254人、相談件数：30件 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況から利用定員を緩和した。また、1日の利用回数制限を撤廃した。(令和5年12月～) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。	
	検証結果	B：おおむね成果があがった								
	今後の事業展開	①現状の規模で継続								
	翌年度に向けた課題と取組									
	相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。									
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・5か所を実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,494人、子ども1,643人、合計 3,137人、相談件数：242件 「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 4,743人、子ども 5,123人、合計 9,866人、相談件数：406件 「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,808人、子ども 2,248人、合計 4,056人、相談件数：178件 「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,518人、子ども 1,702人、合計 3,220人、相談件数：31件 「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 810人、子ども 873人、合計 1,683人、相談件数：21件 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。	
	検証結果	B：おおむね成果があがった								
	今後の事業展開	①現状の規模で継続								
	翌年度に向けた課題と取組									
	利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。									
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・5か所を実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,671人、子ども1,756人、合計 3,427人、相談件数：292件 「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 3,899人、子ども 4,169人、合計 8,068人、相談件数：426件 「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,391人、子ども 1,654人、合計 3,045人、相談件数：183件 「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,321人、子ども 1,457人、合計 2,778人、相談件数：40件 「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 802人、子ども 933人、合計 1,735人、相談件数：38件 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。	
	検証結果	B：おおむね成果があがった								
	今後の事業展開	①現状の規模で継続								
	翌年度に向けた課題と取組									
	コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。									

備考 (その他)

2 (2) 3	開放保育事業	担当課	保育課
---------	--------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
地域の未就園児とその保護者に、保育所や認定こども園の園庭や施設を開放し、園児との交流や保護者同士の交流を図り、保育士による育児相談や情報提供を行います。 〔対象：就学前子ども及び保護者〕	保育所や認定こども園で概ね週1回程度、施設を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所29園、認定こども園5園、小規模保育事業所1園、計35園で実施。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所29園、認定こども園4園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所28園、認定こども園5園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (2) 4	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。	事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。各回の参加上限を設けて開催した。4月から10月までは15組、11月から3月までは20組を上限。	前年度の課題等に対する取組状況 年間を通じて参加上限を15組としたことで、多くの方に参加していただいた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。						
令和4年度	毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。各回の参加上限を設けて開催した。4月から12月までは10組、1月から3月は15組を上限。	前年度の課題等に対する取組状況 赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組 今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。						
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

2 (2) 5	親子ふれあい体験事業	担当課	保育課
---------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て中の親子が楽しく遊び、共通の体験活動を通しながら親子のふれあいが実感できる場を提供します。	子育て中の親子が参加できるミニミニ運動会を市内公民館等で実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>人数制限を緩和し内容を一部変更して実施した。 5, 6, 10, 11月の4回実施。73組の親子計77名が参加。 公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」の動画を継続配信している。 手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		人数制限を緩和して受け入れ組数を増やし内容を工夫して実施。毎回好評で参加者増となる。動画配信は、猛暑で外に行かれない親子にも好評であった。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		参加希望の親子が増えていることから受け入れる親子の組数を増やしていき、合わせて内容を検討する。家庭でも楽しめる「おうちでミニミニ運動会」の動画配信は、猛暑等でも楽しめることと好評を得ていることから継続する。
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限し内容を一部変更して実施した。 6, 10, 11月の3回実施。28組の親子計58名が参加。 公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」の動画を継続配信している。 手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症防止対策をしながら、人数制限をし、内容も密にならない等工夫して実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、人数制限を緩和し受け入れる親子の組数を増やしていく。合わせて内容を検討する。家庭でも楽しめる「おうちでミニミニ運動会」の動画配信は継続する。
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。 なお、昨年度作成した公立保育園及び認定こども園の保育士、保育教諭による「おうちでミニミニ運動会」の動画を継続配信している。 手あそび、エプロンシアター、ふれあい遊び、制作あそびなど、親子で体を動かし楽しめる動画を3本配信している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (2) 6	ブックスタート事業	担当課	中央図書館 健康課 保育課
---------	-----------	-----	---------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
全ての乳児とその保護者が絵本を通して楽しい時間を過ごすとともに、豊かな子どもの心を育て、親子の絆を養ってもらえるように子育てを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフが丁寧に事業の趣旨を伝えることで、参加者の高い満足度を維持するとともに、対象者への周知や参加しやすい機会づくり等、関係機関と連携しながら参加率向上を図ります。 ・ 公立保育所において、地域のボランティアによる読み聞かせを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 会場開催43回 (つどいの広場「きりんのおうち」1回)、個別対応154組 ・ 施設数 5か所 ・ 参加者数 1,682人 (参加組数668組、乳児626人、保護者910人、兄弟姉妹146人) ・ 市民ボランティア 34人 (登録者数) ・ 配布絵本 668冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)91冊、『びよーん』(ポプラ社)104冊、『もこもこもこ』(文研出版)128冊、『まねっこおやこ』(ブロンズ新社)342冊、『おつきさまこんばんは』(福音館書店)1冊、『くだもの』(福音館書店)2冊、『いないいないばあ』(童心社)0冊 <p>公立保育所で地域ボランティアによる読み聞かせを再開した園が増え、各保育所で実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症のため外出を控えている方にもブックスタートを受けてもらえるよう、個別対応の体制を整えた。今後も対象者が参加しやすいよう関係各課との連携方法について協議していく。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
翌年度、新しいブックスタートボランティアの参加と配布絵本の変更を予定しており、事業の高い満足度を維持したい。						
令和4年度	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を一部変更して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 会場開催42回 (つどいの広場「きりんのおうち」0回)、個別対応69組 ・ 施設数 4か所 ・ 参加者数 1,541人 (参加組数601組、乳児587人、保護者813人、兄弟姉妹141人) ・ 市民ボランティア 34人 (登録者数) ・ 配布絵本 601冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)104冊、『びよーん』(ポプラ社)95冊、『もこもこもこ』(文研出版)107冊、『まねっこおやこ』(ブロンズ新社)290冊、『おつきさまこんばんは』(福音館書店)2冊、『くだもの』(福音館書店)2冊、『いないいないばあ』(童心社)1冊 <p>公立保育所で感染症防止対策に配慮しながら地域ボランティアによる読み聞かせを実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法の見直しや感染防止対策を行いながら実施した。予約不要で参加できる個別ブックスタートを中央図書館で令和4年12月から開始した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A: 成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。対象年齢時にブックスタートに参加できなかった方へのフォロー体制を構築するとともに、対象者が参加しやすいよう関係各課との連携方法について協議していく。						
令和3年度	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を一部変更して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 会場開催44回 (健康課「7か月児相談」に合わせた実施6回、つどいの広場「きりんのおうち」0回)、個別対応6組 ・ 施設数 7か所 ・ 参加者数 1,495人 (参加組数616組、乳児590人、保護者787人、兄弟姉妹118人) ・ 市民ボランティア43人 (登録者数) ・ 配布絵本 616冊 内訳『じゃあじゃあびりびり』(偕成社)199冊、『びよーん』(ポプラ社)224冊、『もこもこもこ』(文研出版)148冊、『おつきさまこんばんは』(福音館書店)18冊、『くだもの』(福音館書店)22冊、『いないいないばあ』(童心社)1冊、『がたんごとんがたんごとんがたんごとん』(福音館書店)0冊、『だっだー』(主婦の友社)4冊 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法の見直しや感染防止対策を行いながら実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B: おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B: おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B: おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
引き続き参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上をはかる。令和4年度に予定している地区図書館の指定管理者制度への移行に伴い、事業の実施方法等について検討する。						

備考 (その他)

2 (2) 7	活動場所の確保	担当課	青少年課 中央公民館
---------	---------	-----	---------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子育て団体の活動場所として、子どもの家や青少年会館、公民館の利用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年団体、青少年育成団体が活動場所の確保が容易になるように、上記団体への優先的な施設予約を継続します。 ・ 仲間づくりの場、地域交流の場として公民館が活用されるように努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況 青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：前年度と同様の取組みを行った。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き周知を行い、子育て団体の公民館利用を促進していく。
令和4年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況 青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：案内表示等を活用して、みんなのトイレや保育室等の利用を促進した。 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組 青少年課：青少年会館では、引き続き子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を維持していく。 中央公民館：引き続き、利用可能場所の周知を行い、子育て団体の活動場所としての公民館利用を促進する。
令和3年度	青少年課 ・ 青少年会館では、子育てサークル等の青少年（育成）団体が優先的に予約できる環境を継続している。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部利用制限等を行った。 中央公民館 ・ 授乳やおむつ替えの場所としてみんなのトイレや保育室を案内した。	前年度の課題等に対する取組状況 検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (3) 1	情報提供の推進	担当課	保育課 こども家庭課
---------	---------	-----	---------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て家庭向け、情報誌・市ウェブ等により子育てに関する情報を分かりやすく発信します。	広報紙やチラシ類でのPR、ひらつかわくわくマップ(子育てマップ)を始めとした市ウェブ等、様々な方法で子育てに関する情報をより広く、提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行(6,020部)し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナバサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。(毎月1回(6月・7月除く):計10回) ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。(発信回数16件)	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課:より多くの人に最新の情報が届くように、子育てガイド「くすくす」の発行部数を増加し、配布先に地域の子育て広場(サークル・サロン)を追加した。こども家庭課:市公式LINEでは、他課の配信時間を考慮して調整を行い、発信回数や発信内容を改めて幅広い情報発信に努めた。
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行(5,500部)し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナバサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。(毎月1回(6月・7月除く):計10回) ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。(発信回数12件)	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課:より多くの人に最新の情報が届くように、子育てガイド「くすくす」の発行部数を増加し、子育て支援ブログの更新頻度を増やした。こども家庭課:子育て応援メールに加えて市公式LINEで周知を行うことで、より幅広い層の方に周知を行った。
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	保育課・こども家庭課 ・ホームページを利用して、各種手当、保育所・認定こども園、子育て支援事業、旬の情報等を発信。 保育課 ・子育てガイド「くすくす」を発行(5,200部)し、市内保育施設や子育て支援施設に配布。ホームページにも掲載し、電子媒体でも提供。 ・FM湘南ナバサでの保育所入所、公立保育所での園児の様子や行事、子どもとの関わり方や絵本の与え方等子育てに関する情報を提供。(毎月1回(6月除く):計11回) ・民間の子育て情報誌に子育て支援センターやつどいの広場、ファミリー・サポート・センター等の情報を掲載。 こども家庭課 ・子育て応援メールで乳幼児情報を発信。(発信回数14件)	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考(その他)

2 (3) 2	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	担当課	こども家庭課
---------	-------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
既存の社会資源を有効に活用するため、児童相談所や関係機関等と連携し、地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握して、ネットワーク化を図ります。	<見直し> 利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用援助等の支援を行うとともに、子育て家庭や保育所からの相談に対応します。また、ヤングケアラー等の支援ニーズが高い子どもに対し、関係機関と連携して支援に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,268件 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等を対象とした「支援対象児童等見守り強化事業(訪問型)」を実施(延べ100世帯396食)。 「支援対象児童等見守り強化事業(居場所型)」を実施(利用人数146名) 「子育て世帯訪問支援事業」を実施(利用2世帯) 	前年度の課題等に対する取組状況 3つの事業について支援の必要な方の理解を得ながら利用を増やした。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		3つの事業について利用促進に努める。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,704件 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等を対象とした「支援対象児童等見守り強化事業(訪問型)」を実施(延べ61世帯293食)。 「支援対象児童等見守り強化事業(居場所型)」を実施(利用人数22名) 「子育て世帯訪問支援事業」を実施(利用者なし) 	前年度の課題等に対する取組状況 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等に対する支援の充実を図りました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		3つの事業の利用者拡大に向け、支援が必要な世帯への理解を促していきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 2,045件 ヤングケアラーの早期発見に向けたネットワークづくりに取り組み、発見後の円滑な支援を推進するため、ヤングケアラー支援推進会議を設置。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組

備考(その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2(3)2「子育て支援総合コーディネート事業」から事業名称を変更した。

2 (3) 3	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	担当課	保育課 教育指導課
---------	---------------------	-----	--------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保育所や認定こども園、幼稚園を利用している保護者や地域の子育て家庭を対象に、電話や面接により、子育てについての不安や悩みの相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園で実施し、相談の内容によっては関係機関と連携を図ります。 ・ 幼稚園の在園児の保護者や入園を希望する保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課：保育所や保育課窓口で随時相談を受け付け関係機関との連携を図った。 教育指導課：各園で未就園児の体験保育に参加されていた保護者から相談を受け入園につながることや就学相談を継続的に行い、進学する小学校へ円滑につながる事ができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課：保育所や保育課窓口で随時相談を受け付け関係機関との連携を図った。 教育指導課：各園で未就園児の体験保育に参加されていた保護者から相談を受け入園につながることや就学相談を継続的に行い、進学する小学校へ円滑につながる事ができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（3）3「保育所・幼稚園の育児相談」から事業名称を変更した。

2 (3) 4	女性のための相談事業	担当課	人権・男女共同参画課
---------	------------	-----	------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
女性が日常生活の中で直面する様々な悩みの解消や配偶者等の暴力から女性とその子どもを守るため、女性のための相談窓口を設けます。	女性やその子どものための支援等について、相談体制や関係機関との連携を強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数813件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整49件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数664件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整32件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数780件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整38件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。				

備考（その他）

2 (3) 5	生活困窮者自立支援事業	担当課	福祉総務課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給その他包括的な支援を実施します。	自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より家計に課題があり生活困窮している方に対して改善指導することで課題解決の支援をする「家計改善支援事業」及び一般就労に向けた準備が整っていない方に対して基礎能力形成の支援をする「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		自立相談支援事業を行う「くらしサポート相談」とその他の事業を行う委託先等の関係機関が連携して生活困窮者の支援を行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」について制度を活用できるようにする。		
令和4年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、関係機関との連携に苦慮することが多かったが、連携機関連絡会を3年ぶりに対面で開催するなど、比較的影響前に近いかたちで連携し、生活困窮者の支援を行うことができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」について制度を活用できるようにする。		
令和3年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」について制度を活用できるようにする。		

備考 (その他)

2 (3) 6	生活困窮世帯の子ども支援事業	担当課	生活福祉課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行います。	関係機関と連携し保護者と生徒自身の両者に対して継続した支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価																								
令和5年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 85%;">日常生活支援</td><td style="width: 10%; text-align: right;">47件</td></tr> <tr><td>2</td><td>養育支援</td><td style="text-align: right;">7件</td></tr> <tr><td>3</td><td>教育支援</td><td style="text-align: right;">809件</td></tr> <tr><td>4</td><td>就業支援</td><td style="text-align: right;">25件</td></tr> <tr><td>5</td><td>その他支援</td><td style="text-align: right;">94件</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報提供、収集、状況把握</td><td style="text-align: right;">582件</td></tr> <tr><td>7</td><td>その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）</td><td style="text-align: right;">13件</td></tr> <tr><td>8</td><td>その他（関連業務）</td><td style="text-align: right;">11件</td></tr> </table>	1	日常生活支援	47件	2	養育支援	7件	3	教育支援	809件	4	就業支援	25件	5	その他支援	94件	6	情報提供、収集、状況把握	582件	7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	13件	8	その他（関連業務）	11件	前年度の課題等に対する取組状況
		1	日常生活支援	47件																						
		2	養育支援	7件																						
		3	教育支援	809件																						
		4	就業支援	25件																						
		5	その他支援	94件																						
6	情報提供、収集、状況把握	582件																								
7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	13件																								
8	その他（関連業務）	11件																								
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。																										
検証結果	A：成果があがった																									
今後の事業展開	①現状の規模で継続																									
翌年度に向けた課題と取組	翌年度に向けた課題と取組																									
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																										
令和4年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 85%;">日常生活支援</td><td style="width: 10%; text-align: right;">11件</td></tr> <tr><td>2</td><td>養育支援</td><td style="text-align: right;">6件</td></tr> <tr><td>3</td><td>教育支援</td><td style="text-align: right;">725件</td></tr> <tr><td>4</td><td>就業支援</td><td style="text-align: right;">45件</td></tr> <tr><td>5</td><td>その他支援</td><td style="text-align: right;">136件</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報提供、収集、状況把握</td><td style="text-align: right;">501件</td></tr> <tr><td>7</td><td>その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）</td><td style="text-align: right;">19件</td></tr> <tr><td>8</td><td>その他（関連業務）</td><td style="text-align: right;">13件</td></tr> </table>	1	日常生活支援	11件	2	養育支援	6件	3	教育支援	725件	4	就業支援	45件	5	その他支援	136件	6	情報提供、収集、状況把握	501件	7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	19件	8	その他（関連業務）	13件	前年度の課題等に対する取組状況
		1	日常生活支援	11件																						
		2	養育支援	6件																						
		3	教育支援	725件																						
		4	就業支援	45件																						
		5	その他支援	136件																						
6	情報提供、収集、状況把握	501件																								
7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	19件																								
8	その他（関連業務）	13件																								
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。																										
検証結果	A：成果があがった																									
今後の事業展開	①現状の規模で継続																									
翌年度に向けた課題と取組	翌年度に向けた課題と取組																									
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																										
令和3年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 85%;">日常生活支援</td><td style="width: 10%; text-align: right;">4件</td></tr> <tr><td>2</td><td>養育支援</td><td style="text-align: right;">93件</td></tr> <tr><td>3</td><td>教育支援</td><td style="text-align: right;">717件</td></tr> <tr><td>4</td><td>就業支援</td><td style="text-align: right;">9件</td></tr> <tr><td>5</td><td>その他支援</td><td style="text-align: right;">84件</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報提供、収集、状況把握</td><td style="text-align: right;">182件</td></tr> <tr><td>7</td><td>その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）</td><td style="text-align: right;">14件</td></tr> <tr><td>8</td><td>その他（関連業務）</td><td style="text-align: right;">9件</td></tr> </table>	1	日常生活支援	4件	2	養育支援	93件	3	教育支援	717件	4	就業支援	9件	5	その他支援	84件	6	情報提供、収集、状況把握	182件	7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	14件	8	その他（関連業務）	9件	前年度の課題等に対する取組状況
		1	日常生活支援	4件																						
		2	養育支援	93件																						
		3	教育支援	717件																						
		4	就業支援	9件																						
		5	その他支援	84件																						
6	情報提供、収集、状況把握	182件																								
7	その他（関係形成、初回顔合わせ訪問）	14件																								
8	その他（関連業務）	9件																								
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。																										
検証結果	A：成果があがった																									
今後の事業展開	①現状の規模で継続																									
翌年度に向けた課題と取組	翌年度に向けた課題と取組																									
中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。																										

備考（その他）

2 (3) 7	民生委員運営事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
地域福祉の推進のため、地域と行政とのパイプ役としての役割を果たす民生委員児童委員を積極的に支援します。	定例の地区会長会議や全体研修、分野別研修などを通じ、民生委員児童委員の情報共有や資質向上を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	令和5年度は、引き続き対面やオンラインによる県民児協等による研修の受講を促進したほか、4年ぶりに全委員を対象とした集合研修を実施しました。また、湘南西ブロックの大規模研修会を開催し、委員の約半数が参加するなど、民生委員児童委員の識見向上に努めました。 広報・啓発活動についても、広報紙の発行や街頭PR活動に加え、ららぽーと湘南平塚でのパネル展を実施するなど、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。 毎月の定例会における行政からの情報提供も継続して行っています。	前年度の課題等に対する取組状況				
		オンラインでの研修については、環境が整っていない委員へ個別にフォローするなどの配慮を引き続き行いました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、集合形式での研修も取り入れました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	令和4年度は、昨年度に引き続きオンライン研修も取り入れつつ、3年振りに集合での全体研修を開催し、民生委員児童委員の識見向上に努めました。また、12月の一斉改選で委嘱された約100名の新任委員の新任委員に対し、集合及びオンラインで研修を行うことで、新任委員が抱える不安の緩和に努めました。 広報・啓発活動についても、広報誌の発行や街頭PR活動を実施し、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。 毎月の定例会における行政からの情報提供も継続して行っています。	前年度の課題等に対する取組状況				
		新任委員のオンライン研修は、環境が整っていない委員に対して上映会を開催する等配慮し、対象者全員が受講できるよう努めました。また、新任委員向けの集合研修も企画し、不安の緩和と識見の向上に努めました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	昨年度と同様に、コロナ禍においても行政からの情報提供は継続して行うと共に、オンライン研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。	前年度の課題等に対する取組状況				
		人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、オンラインで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。また、オンライン環境の整っていない委員に対し、動画の上映会を開催しました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		令和4年度は一斉改選期のため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。				

備考 (その他)

2 (3) 8	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	<見直し> 子ども食堂や学習支援団体等との情報共有を進め、連携を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク協議会に参画 	前年度の課題等に対する取組状況				
		ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		こども食堂や学習支援団体との情報共有をすすめる、地域資源としての活用を検討する。				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会及び同部会に参画し、ネットワークの構築に携わりました。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		市民の方に子ども食堂等をより知ってもらうため有効な周知方法を模索しました。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載予定。				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。また、子ども食堂との打合せに参加し、情報共有を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

2 (3) 9	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 3事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議86回 	前年度の課題等に対する取組状況 会議の中で事例検討を実施。虐待対応の共通認識を増やした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童虐待防止等ネットワークの理解を高めるための会議内容を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回(うち3回はオンラインを併用)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回(書面開催)、実務者会議4回(うち書面開催3回)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (4) 1	労働セミナー事業	担当課	産業振興課
---------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
労働諸問題に対する理解と教養を深めるため、勤労者、事業主、一般市民を対象に労働セミナーを開催し、労働問題の自主的解決能力の向上を図るとともに、生活安定向上を目指します。	神奈川県かながわ労働センター湘南支所との共催により、事業主及び勤労者等を対象として、社会情勢を考慮したテーマで労働講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座内容を検討のうえ、企業の人事労務担当者及び勤労者等を対象としたセミナーを次のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年12月15日(金) 14:00～16:00 (定員30人・受講料無料) 「育児休業等の取得促進とマタハラ(パタハラ)防止対策」参加者数:19人 ・令和6年2月26日(月) 15:00～17:00 (定員20人・受講料無料) 「知って役立つ労働法 ～労働基準法の基礎知識～」参加者数:22人 ・令和6年2月27日(火) 15:00～17:00 (定員20人・受講料無料) 「育児・介護休業法の再確認! ～両立できる職場づくりのために～」参加者数:12人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度の実施結果を基に、労働者や雇用者のニーズ及び社会情勢に合った講座内容や実施方法を検討しつつ、効果的な事業周知を行うことが必要。						
令和4年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座内容を検討のうえ、企業の人事労務担当者及び勤労者等を対象としたセミナーを次のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月11日(金) 18:00～20:00 (定員30人・受講料無料) 「ポストコロナにおける非正規雇用のルール」参加者数:19人 ・令和5年2月7日(火) 15:00～17:00 (定員20人・受講料無料) 「育児・介護休業法 ～改正のポイントと助成金について～」参加者数:10人 ・令和5年2月10日(金) 15:00～17:00 (定員20人・受講料無料) 「労働時間管理におけるトラブル事例と対応策」参加者数:14人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B:おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B:おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B:おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度の実施結果を基に、労働者や雇用者のニーズ及び社会情勢に合った講座内容や実施方法を検討しつつ、効果的な事業周知を行うことが必要。						
令和3年度	<p>神奈川県かながわ労働センター湘南支所と連携し、社会情勢に合った講座内容を検討のうえ、企業の人事労務担当者及び勤労者等を対象としたセミナーを次のとおり開催した。(各定員30人・受講料無料)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月18日(月) 18:00～20:00 「職場のハラスメント対策の動向」参加者数:20人 ・令和4年1月19日(水) 15:00～17:00 「高齢者雇用について～シニア社員戦力化～」参加者数:6人 ・令和4年1月26日(水) 15:00～17:00 「育児・介護休業法について～基礎知識から改正ポイントまで～」参加者数:12人 ・令和4年2月2日(水) 15:00～17:00 「多様な働き方～テレワーク・業務委託・兼業副業～周りの基礎知識」参加者数:8人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の影響による中止を避けるため、市予算分(3回)をオンラインで実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B:おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B:おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B:おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度の結果を基に、労働者や雇用者のニーズ及び社会情勢に合った講座内容や実施方法を検討しつつ、効果的な事業周知を行うことが必要。						

備考(その他)

2 (4) 2	就労支援制度の普及・啓発	担当課	産業振興課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
勤労ひらつか(毎月1回、市内の労働組合や企業、市の施設に配付)で支援制度の普及・啓発に努めるとともに、厚生労働省や都道府県労働局から送付されるリーフレットや冊子等により啓発に努めます。	ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に関する情報を広く発信します。また、国・県の関係機関等から送付されたリーフレットや冊子等を掲示・配架し、啓発を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>「ひらつか労働ニュース」にて、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月配信済 春季における年次有給休暇の取得促進について ・令和5年6月配信済 男女共同参画週間 ・令和5年8月配信済 夏季における年次有給休暇の取得促進について ・令和5年9月配信済 令和5年度両立支援等助成金のご案内 育児・介護休業法改正のポイント ・令和5年10月配信済 年次有給休暇取得促進期間 全国労働衛生週間 ・令和5年12月配信済 職場のハラスメント相談強化月間 令和5年度平塚市イクボスプロジェクト 神奈川県 男性育休奨励金のご案内 特定課題講座「育児休業等の取得促進とマタハラ(バタハラ)防止対策」 ・令和6年2月配信済 平塚市労働セミナー <p>※国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所：本庁舎・勤労会館等)</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		市ウェブ「ひらつか労働ニュース」ページにて、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る情報を発信した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>機関紙「勤労ひらつか」及び「ひらつか労働ニュース」にて、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る情報を発信した。なお、「勤労ひらつか」について、令和4年10月号発行をもって、市ウェブ上の定期更新ページ「ひらつか労働ニュース」へと移行した。</p> <p>【勤労ひらつか掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月号 子育てサポート企業「くるみんマーク」について ・令和4年6月号 男女共同参画週間のご案内 ・令和4年7月号 年次有給休暇取得促進、健康経営について ・令和4年8月号 「産後パパ育休」創設・育休の分割取得のご案内、全国労働衛生週間 ・令和4年10月号 年次有給休暇取得促進 <p>【ひらつか労働ニュース配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月配信済 過労死等防止啓発月間、テレワーク月間 ・令和4年12月配信済 令和4年度平塚市イクボスプロジェクト、職場のハラスメント撲滅月間 ・令和5年2月配信済 平塚市労働セミナー <p>※国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所：本庁舎・勤労会館等)</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		機関紙「勤労ひらつか」及び市ウェブ「ひらつか労働ニュース」ページにて、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る情報を発信した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>情報紙「勤労ひらつか」に、ワーク・ライフ・バランス及び男女雇用機会均等に係る記事を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年5月号 業務改善助成金 ・令和3年6月号 新たな働き方促進のための補助金 ・令和3年7月号 年次有給休暇取得促進、テレワークデイズ2021 ・令和3年8月号 テレワーク導入支援補助金、テレワークに関する情報・支援 ・令和3年9月号 県テレワーク導入促進事業、業務改善助成金 ・令和3年10月号 平塚市イクボスプロジェクト、年次有給休暇取得促進期間 ・令和3年11月号 過労死等防止啓発月間 ・令和3年12月号 改正育児・介護休業法に関する特別相談窓口、女性就業支援全国展開事業 ・令和4年1月号 年次有給休暇取得促進、くるみん助成金、両立支援等助成金 ・令和4年3月号 労働契約上の無期転換ルール、年次有給休暇制度 <p>※国・県の関係機関等から送付されたリーフレット・冊子等を掲示・配架し、啓発に努めた。(掲示・配架場所：本庁舎・勤労会館等)</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		市ウェブへの掲載の他、紙媒体でも発行してきたが、業務のスリム化、デジタル化を図るため、令和3年度から市ウェブへの掲載のみに切り替えた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

2 (4) 3	事業所の実践する働き方改革への支援	担当課	人権・男女共同参画課
---------	-------------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
市内事業所へのイクボス宣言企業登録制度の普及を進め、従業員のだれもが仕事と家庭の両立がしやすい職場環境づくりを後押しします。 ※ひらつか男女共同参画プラン2017の終期令和5年度までの事業計画とします。	平塚市イクボス宣言登録企業を増やすため、事業所に向けた講演会等を開催します。 登録した企業をホームページなどでPRします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」(平成29年度から令和5年度までの7年間)に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発(1件) 11月16日(木)</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和5年度平塚市イクボスプロジェクトを開催(動画公開サイトYouTubeに講演動画を期間限定配信) 配信期間:11月10日(金)~12月8日(金) 申込者:69人</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会(女性活躍推進協議会)の開催 第8回5月29日(月)、第1回8月9日(水)、第2回1月9日(火) 第3回令和6年3月18日(月)開催</p>	前年度の課題等に対する取組状況 アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施した。
		検証結果 B:おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 次年度の講演会では、より多くの人に見てもらえるよう対面開催も含めた開催方法について検討する必要がある。
令和4年度	<p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」(平成29年度から令和5年度までの7年間)に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発(2件) 5月15日(日)、11月17日(木)</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和4年度平塚市イクボスプロジェクトを開催(動画公開サイトYouTubeに講演動画を期間限定配信) 配信期間:11月11日(金)~12月9日(金) 視聴回数:310回</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会(女性活躍推進協議会)の開催 第4回5月20日(金)、第5回7月25日(月)、第6回12月1日(木) 第7回令和5年3月8日(水)</p>	前年度の課題等に対する取組状況 アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施し、イクボス登録企業は増えた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 次年度も講演会は動画配信での実施を前提に、多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、①は開催数を減らし、②はオンラインによる動画配信、③は一部書面会議にて実施した。</p> <p>「ひらつか男女共同参画プラン2017」(平成29年度から令和5年度までの7年間)に沿って実施。</p> <p>①「男女共同参画推進登録団体と協働で行う意識啓発(1件) 5月23日(日)</p> <p>②「事業所向けイクボス認定制度の創設」において、令和3年度平塚市イクボスプロジェクトを開催(申込者限定で動画公開サイトYouTubeに講演動画を配信) 配信期間:11月12日(金)~12月10日(金) 申込者:80人</p> <p>③ひらつか男女共同参画推進協議会(女性活躍推進協議会)の開催 第8回5月27日(木)、第1回7月12日(月)、第2回11月22日(月) 第3回令和4年3月4日(金)書面会議</p>	前年度の課題等に対する取組状況 アンケートを実施するなどして、意識改革が進んだか計ることに努めた。 イクボスに関する啓発等を実施し、イクボス登録企業は増えた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルスの感染拡大防止や柔軟な働き方の促進に資することから、次年度も講演会は動画配信での実施を検討するほか、より多くの人に見てもらえるような動画内容、配信方法について検討する必要がある。

備考(その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の2(4)1「男女共同参画意識改革事業」を統合した。 また、事業の名称を「就労環境の向上に向けた普及・啓発」から変更した。

2 (5) 1	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：724件 (新規ケース) 相談回数：1,199件 	前年度の課題等に対する取組状況 母子父子相談を実施していることはもちろん、令和4年度に開始した養育費の確保事業についても、市公式LINEや児童扶養手当の現況届の案内に含むチラシ等で広報を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 離婚前相談においては、調定や裁判になると心身的負担が大きくなるため、相談窓口では裁判等に関する相談だけでなく、本人のそれ以外の悩みごとを聞き取るなどし、心のケアができるような窓口も案内するように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件 (新規ケース) 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況 子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件 (新規ケース) 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (5) 2	母子・父子自立支援事業	担当課	こども家庭課
---------	-------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために、教育訓練講座や高等職業訓練促進への助成など自立支援給付事業を実施します。	母子・父子家庭への支援対策として、引き続き自立支援給付事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 7件 (272,822円) 高等職業訓練促進給付金等 11件 (11,074,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 6件 (2,460,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		ひとり親家庭就学支度資金貸付事業においては、私立併願予定者に夏ごろから「学校に係るお金や制度の申請準備」を促したことによって、申請予定者が増加しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		自立支援給付金制度の利用者が増加しているため、制度の案内に加えて、利用者の声を制度利用を検討している人に届けられる仕組みを整え、より有効的に補助制度を活用してもらえるように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 6件 (225,048円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (5,759,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 4件 (1,640,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		補助対象期間や資格が拡大したことの周知を広めるため、FMナパサに出演し事業内容の説明を行うなど周知活動を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		ひとり親家庭就学支度資金貸付事業については、申請可能枠を増やして対応出来る環境を整えたため、より多くの高校進学者の入学準備を円滑に進むようにサポートします。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 8件 (337,801円) 高等職業訓練促進給付金等 4件 (3,002,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 1件 (80,446円) ・母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ・ひとり親家庭就学支度資金貸付 9件 (3,690,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 1	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 令和5年12月以降18歳年度末まで 医療証の受給者数 33,287人	前年度の課題等に対する取組状況 中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。 令和5年12月から対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、18歳年度末までの児童の通院、入院時の医療費について医療費助成を行います。
令和4年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 28,295人	前年度の課題等に対する取組状況 中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げることに取り組みます。
令和3年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和4年3月31日時点） 28,815人	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 2	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
---------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,628世帯 4,077人 助成費及び件数 医療費+手数料 166,532,422円 件数 57,507件 (令和6年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様にひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行います。 また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。
令和4年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,687世帯 4,195人 助成費及び件数 医療費+手数料 151,260,451円 件数 52,559件	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 対象者に対し、医療証の発行を実施します。
令和3年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,760世帯 4,382人 助成費及び件数 医療費+手数料 155,503,462円 件数 53,371件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)	

2 (6) 3	保育所保育料の軽減	担当課	保育課
---------	-----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもの数や世帯の所得に応じた保育所保育料の軽減を維持します。	「幼児教育・保育の無償化」を踏まえながら、低所得世帯や多子世帯に対する保育所保育料の軽減に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて2・1階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保護者の負担を軽減を拡大することが望ましいが、経済の動向等や予算等を考慮し、適正な軽減を検討する。
令和4年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて2・1階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保護者の負担を軽減を拡大することが望ましいが、経済の動向等や予算等を考慮し、適正な軽減を検討する。
令和3年度	①「幼児教育・保育の無償化」 ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども（保育の必要性があるもの）に対し保育料が無償。 ②現行の軽減措置の継続 ・世帯の所得に応じて2・1階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 4	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	担当課	保育課
---------	-------------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
低所得者の負担軽減を図るため、施設等利用給付認定保護者（子どもが従来制度の幼稚園を利用）に対する副食材料費に要する費用の一部を補助します。	対象者へ副食材料費に要する費用の一部を補助します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します。</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						
令和4年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						
令和3年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> 月4,500円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

2 (6) 5	児童生徒就学援助事業	担当課	学務課
---------	------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円（4月1日認定者）、 【通学用品費】2,270円（4月1日認定者） 【新入学用品費】小学生51,060円、中学年生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生54,060円、小学6年生63,000円 【校外活動費】（日帰り）小学生1,600円、中学生2,310円（宿泊）小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費（60,910円以内） 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付（11,000円以内）	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同様、適正に援助費を執行できた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今年度と同規模で実施する。
令和4年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円（4月1日認定者）、 【通学用品費】2,270円（4月1日認定者） 【新入学用品費】小学生51,060円、中学年生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生54,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】（日帰り）小学生1,600円、中学生2,310円（宿泊）小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費（60,910円以内） 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付（11,000円以内）	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同様、適正に援助費を執行できた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今年度と同規模で実施する。
令和3年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円（4月1日認定者）、 【通学用品費】2,270円（4月1日認定者） 【新入学用品費】小学生51,060円、中学生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】（日帰り）小学生1,600円、中学生2,310円（宿泊）小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費（60,910円以内） 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付（11,000円以内）	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 6	特別支援教育就学奨励援助事業	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和5年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生41,860円、中学2～3年生11,370円</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度と同様、適正に執行できた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
今年度と同規模で実施する。								
令和4年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度と同様、適正に執行できた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】について、実費の取扱いから定額の取扱いに変更するため検討する。								
令和3年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費（小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む）】 実費の半額（上限額：小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円）</p> <p>【校外活動費】（日帰り）実費の半額（上限額：小学生2,500円、中学生3,500円）（宿泊）実費の半額（上限額：小学生4,000円、中学生3,500円）</p> <p>【修学旅行費】実費の半額（上限額：28,860円） 【通学費】実費 【交流及び共同学習交通費】実費 【給食費】学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況						
		前年度と同様、適正に執行できた。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
		検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
今年度と同規模で実施する。								

備考（その他）

2 (6) 7	高等学校等修学支援事業	担当課	学務課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	<見直し> 引き続き、勉学に意欲的で修学することに経済的な支援が必要な者に対し、支援金を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新たな寄付があったため令和6年度支援生の募集数を増加させた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	②拡大して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		応募資格要件に関する見直しを行い、令和5年度の募集時から、学業成績に関する要件を撤廃する一方で保護者の市民税所得割額の基準額を引き下げた。支援対象者の募集数について徐々に減らしていくことは変わらないが、新たな寄付があったため、減少の速度は緩まることになる。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		寄付金の残額が減ってきているため、支援対象者の募集数を今後徐々に減らしていく方向とする。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
備考 (その他)						

2 (6) 8	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	教育扶助 小学生 101人 中学生 69人 扶助額 15,121,462円 生業扶助 高校生 71人 扶助額 9,421,198円	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
今年度と同規模で実施する。						
令和4年度	教育扶助 小学生 104人 中学生 65人 扶助額 15,255,060円 生業扶助 高校生 79人 扶助額 11,521,891円	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
今年度と同規模で実施する。						
令和3年度	教育扶助 小学生 111人 中学生 69人 扶助額 15,725,806円 生業扶助 高校生 68人 扶助額 8,798,107円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				

備考（その他）

2 (6) 9	児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	--------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、父母の離婚、父又は母の死亡などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない児童について、手当を支給します。	ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	児童扶養手当の支給を行いました。 受給者数 1,519人 (令和6年3月31日時点 支給停止者除く) 支給金額795,142,390円 (令和6年3月31日時点)	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給しました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続	翌年度に向けた課題と取組		ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	②拡大して継続									
翌年度に向けた課題と取組										
ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。										
令和4年度	児童扶養手当の支給を行いました。 受給者数 1,586人 (令和5年3月31日時点) 支給金額 810,063,080円 (令和5年3月31日時点)	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>昨年度と同様の取組を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">対象者に対し、手当の支給を実施します。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		対象者に対し、手当の支給を実施します。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
対象者に対し、手当の支給を実施します。										
令和3年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,635人 (令和4年3月31日時点) 支給金額 843,451,680円 (令和4年3月31日時点)	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考 (その他)

2 (6) 10	特別児童扶養手当	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
児童の福祉の増進を図るため、精神、知的又は身体障がい等（内部障がいを含む）で、政令に定める程度以上の障がいにある20歳未満の児童について、手当を支給します。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいをもつ児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	特別児童扶養手当を支給するための事務を行いました。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 505人（令和6年4月30日現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいをもつ児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	特別児童扶養手当を支給するための事務を行いました。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 462人（令和5年4月30日現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がいをもつ児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。（認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省） 受給権者数 446人（令和4年4月30日現在）	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

2 (6) 11	児童手当	担当課	こども家庭課
----------	------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
次代の社会を担う児童の健やかな成長のため、0歳から15歳到達後最初の3月31日までの児童について、手当を支給します。	児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	児童手当の支給をおこなった。(R6年3月31日時点) 支給児童数 児童手当 延べ人数 281,757人 特例給付 延べ人数 20,249人 施設入所 延べ人数 1,208人 支給金額 3,262,560,000円	前年度の課題等に対する取組状況 児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。また、令和6年に予定されている児童手当法改正に伴う制度拡大に対応します。
令和4年度	児童手当の支給を行いました。(R5年3月31日時点) 支給児童数 児童手当 延べ人数 291,886人 特例給付 延べ人数 22,398人 施設入所 延べ人数 1,179人 支給金額 3,389,840,000円	前年度の課題等に対する取組状況 児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。
令和3年度	児童手当の支給をおこなった(R4.3.31時点)。 支給児童数 児童手当 延べ人数 301,312人 特例給付 延べ人数 29,823人 施設入所 延べ人数 1,167人 支給金額 3,536,425,000円	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

2 (6) 12	養育医療費給付	担当課	こども家庭課
----------	---------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもが未熟児で生まれ、指定養育医療機関の医師が入院治療の必要を認めたときの医療費を助成します。	母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成を行いました。 申請件数 30件	前年度の課題等に対する取組状況
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。
令和4年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成を行いました。 申請件数 27件	前年度の課題等に対する取組状況
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。
令和3年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 24件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

3 (1) 1	幼児教育指導法の工夫・改善	担当課	教育指導課
---------	---------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
より豊かな幼児教育を実現するために幼稚園の運営や指導法等を研究します。	幼稚園の運営及び指導法の研究のために園長会及び主任・担任研究会を実施し、幼児教育の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	・運営及び指導法の研究会として、園長会を2回計画し2回実施、主任・担任研究会を7回計画し7回実施した。	前年度の課題等に対する取組状況 計画通り実施できた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。
令和4年度	・運営及び指導法の研究会として、園長会を2回計画し2回実施、主任・担任研究会を7回計画し7回実施した。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの感染予防対策をすることで、計画通り実施できた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。
令和3年度	・運営及び指導法の研究会として、園長会を2回計画し2回実施（1回は書面開催）、主任・担任研究会を7回計画し7回実施（2回は書面開催）した。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の影響で、計画通りに実施とはならなかったが、こども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、取り組んだ。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後もこども園の特性、幼稚園の特性を踏まえた有意義な研修の場となるよう、配慮していく。

備考（その他）

3 (1) 2	幼・保・小・中連携の推進事業	担当課	教育指導課 教育研究所
---------	----------------	-----	----------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
幼・保・小・中の指導の一貫性を図るために連携学習研究会や連携教育講演会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・保・小・中の連携学習研究会等を通して指導の在り方や指導上の問題点について研究協議し、相互に理解を深め、連携や交流を推進します。 ・ 幼・保・小・中の連携を推進するために夏季研究教室の講座として、「幼保小中連携教育講演会」を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和5年度	<p>教育指導課 「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を1園、1校の推進校に依頼し、研究会を行った。ひばり幼稚園は12月に中原小学校5年生との交流の様子を公開、「幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指して～不安から楽しみへ～」をテーマとして発表し、各学校や園の取組を共有したり、「子どもの学びにつながる交流とは」について県立学校、小中学校、公私立幼稚園・保育園・こども園の先生方とともに研究協議を行った。</p> <p>金旭中学校は11月に1年生の授業公開及び「小・中の連携による金旭中学校区での取り組みについて」の発表を行った。研究協議では、「子どもに身に付けさせたい資質・能力をどう連携していくか」についてグループ協議を行うことができた。</p> <p>教育研究所 8月22日に幼保小中連携教育講演会を開催した。白梅学園大学教授の増田 修治氏を招き、「乳幼児教育と小学校をつなげる『認知能力』と『非認知能力』—低学年の指導の困難さを解決するために—」というテーマで御講演いただいた。（参加者 95名）</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育指導課：推進校を会場にしたことにより、昨年度実施できなかった授業（保育）公開ができた。提案発表を受けて、学校段階間での円滑な接続や教科等の横断的な学習についての協議を行うことができた。 教育研究所：市内の園や学校のほか、近隣市町にも周知し、昨年度を超える人数の参加があった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育指導課：令和6年度も、推進校2校に会場校による授業公開を含めて依頼していく。より多くの園や学校から参加してもらえよう、開催時期も検討していく。 教育研究所：できるだけ多くの教職員に参加してもらえよう開催時期や周知方法について工夫していく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和4年度	<p>教育指導課 「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を2校の推進校に依頼し、12月に研究会を行った。松が丘小学校は「児童が安心して小学校へ通えるための手立てと実践」をテーマとして発表し、各学校や園の取組を共有したり、「架け橋期のカリキュラム」について県立学校、私立幼稚園・保育園の先生方とともに研究協議を行った。</p> <p>相模小学校は「神田中学校区 小・中連携の取組」として、人権教育における共通テーマでの取組の発表を行い、「小中のつながりを意識した教科学習の連携について」研究協議を行うことができた。</p> <p>教育研究所 ・8月23日に幼保小中連携教育講演会として、國學院大學の田村学氏を招き、「幼児期の学びを踏まえた小学校教育への接続」というテーマで御講演をいただいた。前半は田村氏よりこれからの幼児教育と小学校教育の在り方について具体的な実践事例等を交えて紹介していただいた。後半は異校種の先生方でグループを組み、情報交換を行った。（参加者 55人）</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育指導課：参集して開催したことで、それぞれのテーマについて深く研究協議を行うことができた。学校段階間での円滑な接続や教科等の横断的な学習についての研究をさらに深めることができるよう支援が必要である。 教育研究所：昨年度はオンライン開催だったため、ICT機器の操作に戸惑う参加者もいたが、今年度は感染対策の上、対面開催とした。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育指導課：令和5年度はひばり幼（就学前と小の連携）、金旭中（小中の連携）にお願いし研究協議を行う。授業参観は行わないので、子どもたちの様子を動画等で公開してもらおう依頼していく。 教育研究所：より多くの教職員に参加してもらえよう、園や学校へ積極的に周知をしていく。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<p>教育指導課 ・真土小学校、土沢中学校において「就学前と小学校の連携」、「小学校と中学校の連携」をテーマに、幼・保・小・中連携を推進した。参集しての研究会については新型コロナウイルス感染症対策への対応のため中止し、書面開催にて各校の取組を共有することができた。</p> <p>教育研究所 新型コロナウイルス感染予防対策として、オンライン開催とした。 ・7月27日（火）に國學院大學の田村学教授を招き、「幼保小中連携教育講演会 ～幼児教育と小学校教育の円滑な接続について～」というテーマで御講演をいただいた。幼稚園教育や小学校教育のそれぞれの視点を踏まえたお話や連携することのねらいや意義、他の自治体での具体的な実践事例を紹介していただいた。（参加者 43人）</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>教育研究所：新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催方法を見直した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>教育指導課：学校を会場とした授業参観は実施せず、教職員が参集して幼・保・小・中連携の取組について研究協議ができる学習研究会を実施する予定である。 教育研究所：オンラインでの開催となり、機器の操作や不具合等に戸惑う参加者もいたため、支援が必要である。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

3 (1) 3	幼児教育の支援	担当課	教育指導課
---------	---------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
保護者の育児不安の解消と幼児の心身の健全な発達のために、幼稚園が幼児教育センター的機能として保護者の交流や教育相談等を実施します。	各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を実施します。また、各幼稚園が、地域の公民館と連携し、家庭教育学級を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。実施園：2園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各園の子育て支援について、公立幼稚園・こども園で情報交換を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各園の実状に合わせた子育て支援の視点を持って、幼稚園教育について研究を進めるよう支援していく。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。実施園：2園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各園の子育て支援について、公立幼稚園・こども園及び保育園の教職員が参加し、研究協議を行った。コロナ禍でも、開催時期や開催方法を工夫し、家庭教育学級を実施できた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各園の実状に合わせた子育て支援の視点を持って、幼稚園教育について研究を進めるよう支援していく。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園で、子育て支援の視点を持って、幼稚園教育についての研究会を行った。実施園：2園 ・各幼稚園が地域の公民館と連携する中で、家庭教育学級を実施した。実施園：2園 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

3 (1) 4	生きる力を育む学校づくり推進事業	担当課	教育指導課 学校給食課
---------	------------------	-----	----------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
幼児・児童・生徒の生きる力を育む学校づくりを推進するため、各学校（園）において、ふれあい教育、総合的な学習の時間、芸術鑑賞教室、食に関する指導等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの「生きる力」を育むために、学校ごとに創意工夫をこらした特色ある教育活動を推進します。 小・中学校において作成された食に関する指導の年間計画に基づいて、給食時間、教科、委員会活動等で食に関する指導を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	教育指導課 ・ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 ・「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 ・小学校の校外学習を推進した。 ・中学校の芸術鑑賞を推進した。 ・中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 ・食教育推進担当者会を1回開催。 学校給食課 ・食に関する指導回数は、小学校2,544回、中学校226回。	前年度の課題等に対する取組状況
		教育指導課：ふれあい教育を各学校（園）の実情に応じて推進することができた。 学校給食課：現状の取組を継続する。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		教育指導課：各学校（園）の相談に応じながら、現状の取組を継続したい。 学校給食課：現状の取組を継続したい。
令和4年度	教育指導課 ・ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 ・「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 ・小学校の校外学習を推進した。 ・中学校の芸術鑑賞を推進した。 ・中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた様々な学習活動を変更して工夫しながら行う学校が多くあった。 ・食育担当者会議を1回開催。 学校給食課 ・食に関する指導回数については、小学校1,835回、中学校241回。	前年度の課題等に対する取組状況
		教育指導課：感染症対策を取ることで、ふれあい教育を推進することができた。 学校給食課：小学校28校に対して、栄養教諭5人、栄養士8人で食の指導に当たっており、日々の給食管理業務との兼ね合いから、学校からの派遣依頼に100%応えることが難しい。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		教育指導課：各学校の相談に応じながら、現状の取組を継続したい。 学校給食課：現状の取組を継続したい。
令和3年度	教育指導課 ・ふれあい教育を推進した。 実施園：幼稚園2園・認定こども園1園 ・「総合的な学習の時間」を推進した。実施校：小中学校45校 ・小学校の校外学習を推進した。 ・中学校の芸術鑑賞を推進した。 ・中学校の部活動の各種大会への参加を支援した。 新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた様々な学習活動を変更して工夫しながら行う学校が多くあった。 学校給食課 ・食育担当者会議を书面会議で1回開催。 ・食に関する指導回数については、小学校1,975回、中学校254回。	前年度の課題等に対する取組状況
		学校給食課：新型コロナ感染症感染拡大の影響で、学校給食の提供回数が8日間減少したが、ほぼ影響を受けることなく、食に関する指導を行えた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		学校給食課：現状の取組を継続したい。

備考（その他）

3 (1) 5	外国人英語指導者の学校訪問事業	担当課	教育指導課
---------	-----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ心を養うために、外国人英語指導者が幼稚園、認定こども園、小・中学校を訪問します。</p>	<p><見直し> 子どもたちの英語に対する興味・関心をさらに高め、英語や外国の生活・文化に親しむ心を養うために、外国人英語指導者とコミュニケーションをとる機会の充実を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校（園）：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>AETと児童生徒が触れ合う機会として、小学校において、AETを1校に複数名配置するイングリッシュデイを実施した。また、小学校5・6年生、中学校1・2年生対象にイングリッシュイベントを実施できた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	<p>・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校（園）：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>コロナ禍で中止としてきたAETを1校に複数名配置するイングリッシュデイを実施できた。又、感染症予防対策をしながらイングリッシュイベントも実施できた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	<p>・外国人英語指導者13人が小学校・中学校・幼稚園・認定こども園へ訪問した。 実施校（園）：小中学校43校・幼稚園2園・認定こども園1園</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>小学校外国語教育担当者会、外国人英語指導者の学校訪問事業、英語教育推進事業と分かれていた事業を統合し、英語教育推進事業とする。 AETと児童生徒が触れ合う機会として、イングリッシュデイやイングリッシュイベントを設け、英語教育のさらなる充実を図る。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

3 (1) 6	人権教育の推進	担当課	教育指導課
---------	---------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
人権教育を推進するため教職員の研修を充実します。	人権を尊重した学校教育を確立するために人権教育担当者会を開催し、学校教育における人権教育の具体的な在り方を研究します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育担当者会を3回計画し、3回開催した。人権教育担当者会では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 ・各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		計画通り、参集型で講演会及び分科会別研究協議を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後も、研究協議の内容が深まるように、話し合いの形態等、協議の持ち方を工夫していく。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		今後も、研究協議の内容が深まるように、話し合いの形態等、協議の持ち方を工夫していく。			
翌年度に向けた課題と取組						
今後も、研究協議の内容が深まるように、話し合いの形態等、協議の持ち方を工夫していく。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育担当者会を3回計画し、2回開催した。第3回は、2月15日に開催した。人権教育担当者会では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 ・各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、参集型で分科会別研究協議を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後も、研究協議を深められるように、話し合いの形態等、協議の持ち方を工夫していく。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		今後も、研究協議を深められるように、話し合いの形態等、協議の持ち方を工夫していく。			
翌年度に向けた課題と取組						
今後も、研究協議を深められるように、話し合いの形態等、協議の持ち方を工夫していく。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育担当者会を3回計画し、2回開催した（2回はオンライン開催、1回は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止）。人権教育担当者会では、講師を招いて講演会を開催したり、テーマごとに分科会に分かれ、授業や校内研修に向けて、研究協議を行ったりした。 ・各小中学校で行った授業や校内研修をまとめた人権教育実践集を作成し、5月に小中学校45校へ配付した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">オンライン開催では分科会別研究協議を深めることが難しい。持ち方を工夫し、研究協議を深められるように工夫する。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		オンライン開催では分科会別研究協議を深めることが難しい。持ち方を工夫し、研究協議を深められるように工夫する。			
翌年度に向けた課題と取組						
オンライン開催では分科会別研究協議を深めることが難しい。持ち方を工夫し、研究協議を深められるように工夫する。						

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の1(1)1「人権擁護意識の普及・啓蒙事業」を統合した。

3 (1) 7	日本語指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
日本語の指導が必要な児童・生徒に対して、学校における日本語指導、母国語指導、生活適応指導等を支援するため要請に応じて、日本語指導協力者を小・中学校に派遣します。	学校の要請に応じて適宜日本語指導協力者を派遣します。また、国際教室等連絡協議会を開催し、日本語指導の内容や方法について情報交換等を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 国際教室等連絡協議会を3回計画し、第1回をオンラインで開催、第3回を国際教室設置校を会場とし開催した。 小中学校45校中34校及び幼稚園2園中1園に、日本語指導協力者19人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		日本語指導が必要な児童生徒の多言語化やニーズの多様化が見られるが、派遣校の要望に応じ、日本語指導協力者を派遣できた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
日本語指導が必要な児童・生徒のニーズに対応し、きめ細やかな指導を行うために、日本語指導協力者の派遣を行う。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国際教室等連絡協議会の第2回をオンラインと対面のハイブリッド型開催とした。第1回、第3回は通常の開催とした。 小中学校45校中36校及び幼稚園2園中1園に、日本語指導協力者21人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		関係機関と連携し、新規の日本語指導協力者に協力してもらうことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
日本語指導が必要な児童生徒が多言語化しているため、関係機関と連携し日本語指導協力者の募集に努める。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国際教室等連絡協議会の第2回を中止とした。第1回は通常開催、第3回はオンラインでの開催とした。 小中学校45校中34校に、日本語指導協力者21人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
日本語指導が必要な児童・生徒のニーズに対応し、きめ細やかな指導を行うために、関係機関と連携し日本語指導協力者の募集に努める。						

備考（その他）

3 (1) 8	サポートチームシステム推進事業	担当課	教育指導課
---------	-----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
小・中学生の問題行動への対策を話し合い、地域や関係機関と連携し、具体的な指導、支援を行います。	<見直し> 令和4年度より休止 市サポート連絡会を開催するとともに、中学校区サポート委員会を各中学校区で実施します。また、個別サポートチームを必要に応じて編成し、児童・生徒への効果的な指導、支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	令和4年度より休止	前年度の課題等に対する取組状況 令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止。
		検証結果 評価なし
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組 令和6年度についても、引き続き休止。
令和4年度	令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止。	前年度の課題等に対する取組状況 令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止。
		検証結果 評価なし
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組 令和5年度についても、引き続き休止。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 市サポート連絡会を3回開催した。 中学校区サポート委員会を各中学校区で実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、7中学校区では書面での開催となった。 個別サポートチームの編成を必要に応じて検討した。 	前年度の課題等に対する取組状況 市サポート連絡会については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、3回全て対面にて実施することができた。中学校区サポート委員会については、全てを対面で開催することはできなかったが、書面開催を含め、全ての中学校区で開催することができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ⑤その他
		翌年度に向けた課題と取組 令和4年度より、サポートチームシステム推進事業は休止とする。

備考（その他）

3 (1) 9	中学校部活動指導者派遣事業	担当課	教育指導課
---------	---------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じ、専門的資質を有する部活動指導者を顧問の指導協力者として派遣します。	中学校の要請に応じ、専門的資質を有する部活動指導者を顧問の指導協力者として派遣します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ107人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		生徒の部活動に取組む意識の向上、より高い技術指導の提供、教員の負担軽減で成果があった。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和6年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ97人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		生徒の部活動に取組む意識の向上、より高い技術指導の提供、教員の負担軽減で成果があった。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和5年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の要請に応じ、部活動の地域指導者延べ107人を派遣した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		生徒の部活動に取組む意識の向上、より高い技術指導の提供、教員の負担軽減で成果があった。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度についても、現状の規模で派遣を継続していく。						

備考（その他）

3 (1) 10	学校支援ボランティアの活用	担当課	教育指導課
----------	---------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
学校の教育活動の充実と開かれた学校づくりのために学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用します。	各学校の実情に合わせ、ボランティアの活用を図るための必要な支援を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>・各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえながら、段階的に導入を始めたコミュニティー・スクール等も活用し、地域人材を生かした教育活動を進めた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今年度と同様、段階的に導入を進めているコミュニティー・スクール等も活用し、地域人材を生かした教育活動を進める。
令和4年度	<p>各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認しながら、可能な範囲で学習活動や環境整備に学校支援ボランティアを活用することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の感染状況を確認し、これまでの活動に捉われず、学校支援ボランティアを活用していくことが必要になると考える。
令和3年度	<p>・各学校で、それぞれの実情に応じて、新型コロナウイルス感染症対策や授業等に関わる支援、読み聞かせや図書室整理に関わる支援、校舎内外の環境整備に関わる支援等について、学校支援ボランティア等地域の方々の教育力を活用した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

3 (1) 11	教材・教具等の充実	担当課	教育総務課
----------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
学習環境の向上のため、教材・教具、学校図書等を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実のために各小・中学校に予算を配当するほか、理科教育設備整備費補助金を活用し、理科教育設備基準に対する整備率を向上させます。 学校図書館図書の充実のために各小・中学校に予算を配当し、学校図書館図書標準に基づき蔵書数を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万5千円、中学校1校あたり平均38万7千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校14校（平均11万2千円）、中学校11校（平均20万9千円）が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円（対象校2校）、中学校約58万円分（対象校2校）の教材を購入した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実については、学校運営事業への統合により、効率的な予算執行が可能となっている。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下については、引き続き検討が必要である。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 図書の保管スペースの確保。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下。 	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万4千円、中学校1校あたり平均38万7千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校11校（平均11万8千円）、中学校13校（平均22万3千円）が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円（対象校2校）、中学校約64万円分（対象校2校）の教材を購入した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科教材の充実については、学校運営事業への統合により、効率的な予算執行が可能となっている。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下については、引き続き検討が必要である。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 図書の保管スペースの確保。 古い図書や理科教材の廃棄による蔵書率・整備率の低下。 	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書整備率の充足に向け、小学校1校あたり平均30万4千円、中学校1校あたり平均38万5千円を学校図書館図書購入費用として分校を除く小中学校全校に配当した。 理科教育等教材整備基準の整備率を充足するため、小学校16校（平均13万5千円）、中学校12校（平均26万2千円）が理科教材を購入した。 文部科学省の理科教育設備整備事業を活用し、小学校約42万円（対象校2校）、中学校約64万円分（対象校2校）の教材を購入した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考（その他）

3 (1) 12	研修・研究推進事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-----------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別な配慮を要する児童・生徒を支援するため、必要に応じて小・中学校に相談支援チームを派遣して校内支援体制の整備を推進するとともに、各種研究会・研修会を実施します	<見直し> インクルーシブ教育の推進を図るとともに、校内支援体制の充実を図るために、内容を精査した研修会・研究会等の開催に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級訪問研究会…3回実施、参加者延べ151人 ・通級指導教室訪問研究会…3回実施、参加者延べ78人 ・特別支援教育研修会…4回実施、参加者延べ141人 ・教育相談・支援教育研修会…6回実施、参加者延べ393人 ・教育相談コーディネーター担当者会…3回実施、参加者延べ123人 ・学校訪問事例研究会…5回実施、参加者延べ122人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		各種研究会・研修会の開催を行い、学校へ児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催等も取り入れ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級訪問研究会・・・ 2回実施、参加者延べ128人 ・通級指導教室訪問研究会・・・ 集合開催2回、 オンライン開催2回 参加者延70人 ・特別支援教育研修会・・・・・・ 集合開催2回 オンライン開催2回 参加者数延べ157人 ・教育相談・支援教育研修会・・・ 集合開催3回 オンライン開催4回 参加者延べ349人 ・相談支援チームの派遣・・・・・・ 38回実施、 対象児童生徒数延べ39人 学級全体1回 ・教育相談コーディネーター担当者会・・・ 集合開催3回 参加者120人 ・学校訪問事例研究会・・・・・・ 5回実施、参加者延べ107人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、オンライン開催など実施方法を工夫し、児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催等も取り入れ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級訪問研究会・・・ 2回実施、参加者延べ108人 ・通級指導教室訪問研究会・・・ オンライン開催3回、 参加者延56人 1回中止 ・特別支援教育研修会・・・・・・ 集合開催2回 参加者数延べ84人 書面開催2回 1回中止 ・教育相談・支援教育研修会・・・ オンライン開催6回 参加者延べ310人 ・相談支援チームの派遣・・・・・・ 29回実施、 対象児童生徒数延べ29人 ・コーディネーター担当者会・・・ 集合開催3回 1回中止 オンライン開催1回 参加者123人 ・学校訪問事例研究会・・・・・・ 5回実施、参加者延べ85人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン実施方法を工夫し、児童・生徒の支援に必要な情報を提供することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
研修会の内容を精査するとともに、オンライン開催などもさらに取り入れ、学校に必要な支援や情報を提供できるように努める。						

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画5（4）③6「支援教育等の推進・充実事業」から事業名称を変更した。

3 (1) 13	放課後自主学習教室事業	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、放課後に小学校4～6年生を対象に学習支援をします。	<見直し> 実施校における学習支援の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校6校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保に向けて募集対象を拡大したことで、必要数の学習支援員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 実施校における学習支援の充実を図るため、児童の取組の好事例や、学習支援員による指導内容の共有を図る。
令和4年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校6校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今年度に引き続き、実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの対象を拡大し、募集に努める。
令和3年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの募集に努める。

備考 (その他)

3 (2) 1	教育相談事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	--------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒及びその保護者に対し、各専門機関と連携しながら教育相談を行います。	<見直し> 児童・生徒及びその保護者の相談に対して、各専門機関と連携しながら適切に対応していくとともに、専門的な知識と技能を有する相談員を配置していくよう努めます。また、医療機関を含む相談支援チーム委員を学校に派遣し、具体的な支援方法の検討を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所相談 334件 ・ 電話相談 320件 ・ 不登校児童・生徒の対する訪問相談 4ケース、訪問回数延べ145回 ・ 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒の対する巡回相談 依頼人数延べ 435人 訪問回数延べ 66回 ・ 教育相談所内研修会8回実施 参加人数延べ105人 ・ 相談支援チーム委員の派遣 47回実施、対象児童・生徒数延べ55人 ・ 機関誌「そうだん」の発行 	前年度の課題等に対する取組状況				
		児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を実施した。所内研修会も開催し、相談員の専門的知識や技能を高めることができた。各学校の要請に応じて相談支援チームを派遣し、支援方法について助言を受けることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、実施した。</p> <p>来所相談342件 電話相談327件 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数394人 訪問回数延べ61回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 3ケース 訪問回数延べ130回 教育相談所内研修会9回開催 参加人数延べ122人 機関誌「そうだん」の発行</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続することができた。また、所内研修会も開催方法を工夫しながら開催し、相談員の専門的知識や技能を高めることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、実施した。</p> <p>来所相談345件 電話相談326件 特別な教育的配慮を必要とする児童・生徒に対する学校巡回相談を実施 依頼延べ人数362人 訪問回数延べ67回 不登校児童・生徒に対する訪問相談を実施 1ケース 訪問回数延べ97回 教育相談所内研修会 9回開催 参加人数延べ115人 機関誌「そうだん」の発行</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童・生徒及びその保護者に対する教育相談を継続することができた。また、所内研修会も開催方法を工夫しながら開催し、相談員の専門的知識や技能を高めることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 備考 (その他) 第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画3 (2) 1 「教育相談体制の充実事業」 から事業名称を変更した。 </td> </tr> </table>			備考 (その他) 第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画3 (2) 1 「教育相談体制の充実事業」 から事業名称を変更した。			
備考 (その他) 第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画3 (2) 1 「教育相談体制の充実事業」 から事業名称を変更した。						

3 (2) 2	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。	スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>13人(週3日勤務)による市内小学校28校、中学校15校での相談活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室巡回2066回、教室等でのエクササイズ0回、外部関係者・機関との情報交換95回、教職員向け研修会9回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席101回、校内支援会議への参加177回、家庭訪問23回、その他10回 計2481回 ・来室相談延べ人数：小学生2551人、中学生834人、小学生保護者1120人、中学生保護者286人、小学校教員2767人、中学校教員1026人 計8584人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2076人、いじめ44人、暴力29人、虐待84人、友人・異性関係968人、貧困4人、ヤングケアラー32人、非行30人、家庭環境559人、教職員との関係157人、心身の健康・保健1516人、学業進路306人、発達2122人、その他657人 計8584人 ・電話相談延べ人数：小学生39人、中学生4人、小学生保護者234人、中学生保護者102人、小学校教員32人、中学校教員1人 計412人 ・電話相談内容延べ人数：不登校152人、いじめ6人、暴力1人、虐待1人、友人・異性関係41人、貧困0人、ヤングケアラー0人、非行0人、家庭環境13人、教職員との関係10人、心身の健康・保健85人、学業進路14人、発達78人、その他11人 計412人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>13人(週3日勤務)による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室巡回1936回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換158回、教職員向け研修会5回、保護者・地域向け講演会1回、児童・生徒担当者会等出席124回、校内支援会議への参加205回、家庭訪問28回、その他5回 計2466回 ・来室相談延べ人数：小学生1893人、中学生545人、小学生保護者1365人、中学生保護者178人、小学校教員2905人、中学校教員813人 計7699人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2307人、いじめ65人、暴力41人、虐待88人、友人・異性関係806人、貧困3人、非行18人、家庭環境725人、教職員との関係131人、心身の健康・保健840人、学業進路361人、発達1496人、その他818人 計7699人 ・電話相談延べ人数：小学生48人、中学生26人、小学生保護者226人、中学生保護者138人、小学校教員36人、中学校教員11人 計485人 ・電話相談内容延べ人数：不登校246人、いじめ13人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係23人、貧困0人、非行0人、家庭環境23人、教職員との関係11人、心身の健康・保健50人、学業進路21人、発達72人、その他26人 計485人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>13人(週3日勤務)による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室巡回1889回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換148回、教職員向け研修会6回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席94回、校内支援会議への参加302回、家庭訪問44回、その他9回 計2496回 ・来室相談延べ人数：小学生2017人、中学生901人、小学生保護者1455人、中学生保護者313人、小学校教員3103人、中学校教員1266人 計9055人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2437人、いじめ96人、暴力227人、虐待254人、友人・異性関係797人、貧困0人、非行7人、家庭環境879人、教職員との関係129人、心身の健康・保健1134人、学業進路559人、発達1598人、その他938人 計9055人 ・電話相談延べ人数：小学生25人、中学生24人、小学生保護者340人、中学生保護者153人、小学校教員2人、中学校教員44人 計588人 ・電話相談内容延べ人数：不登校185人、いじめ2人、暴力7人、虐待2人、友人・異性関係36人、貧困0人、非行2人、家庭環境39人、教職員との関係21人、心身の健康・保健73人、学業進路33人、発達162人、その他26人 計588人 	前年度の課題等に対する取組状況				
		新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員の支援を行うことができた。また、コロナ禍における心のケアに関する情報提供も行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
備考 (その他)						

3 (2) 3	スクールソーシャルワーカー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
---------	-------------------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
社会福祉に関する専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣します。	<見直し> スクールソーシャルワーカーを各小・中学校の要請に応じて派遣し、不登校や問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 119件、延べ訪問回数 68回、ケース会議への参加18回、関係機関との連携（含電話）935回 中学校：相談件数 64件、延べ訪問回数 70回、ケース会議への参加 21回、関係機関との連携（含電話）662回	前年度の課題等に対する取組状況
		各種研修会等においてスクールソーシャルワーカーの業務について継続的に周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、関係機関と連携しながら適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、不登校及び問題行動等の未然防止や早期解決、継続的な支援に向けて対応を図る。
令和4年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 128件、延べ訪問回数 132回、ケース会議への参加23回、関係機関との連携（含電話）1001回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 65回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携（含電話）629回	前年度の課題等に対する取組状況
		各種研修会等においてスクールソーシャルワーカーの業務について継続的に周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、関係機関と連携しながら適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、不登校及び問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。
令和3年度	3人（週5日勤務1人、週3日勤務2人）による相談活動内容 小学校：相談件数 88件、延べ訪問回数 74回、ケース会議への参加37回、関係機関との連携（含電話）666回 中学校：相談件数 86件、延べ訪問回数 57回、ケース会議への参加 18回、関係機関との連携（含電話）706回	前年度の課題等に対する取組状況
		各種研修会等におけるスクールソーシャルワーカーの業務について周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、適切に対応することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルス感染症の影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。

備考（その他）

4 (1) 1	交通安全啓発推進事業	担当課	交通政策課
---------	------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
幼稚園、保育所、認定こども園、学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止と交通安全の啓発を行います。	交通ルールやマナーの周知を継続的に実施し、交通事故防止と交通安全意識の向上を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	交通安全教室実施回数207回 交通安全動画公開本数13回	前年度の課題等に対する取組状況
		幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象にした交通安全教室及び関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンを実施した。また、若年層に興味を持ってもらうためYouTubeにショート動画を配信するなどして、交通安全意識の向上を図ることができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引続き平塚市内で発生割合の高い、高齢者や自転車利用者への意識啓発が課題と考える。今後も地域や関係団体と連携し、工夫した交通安全キャンペーンや、幅広い年齢層を対象にした交通安全教室に加え、YouTube等を活用し、交通ルール・マナーの順守や交通安全意識の向上を図る。
令和4年度	交通安全教室実施回数218回 交通安全動画公開本数26回	前年度の課題等に対する取組状況
		幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象にした交通安全教室と、関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンを実施した。また、新たに自宅で気軽に交通安全について学べる機会を提供するため、YouTubeを活用した交通安全動画を配信するなどして、交通安全意識の向上を図ることができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		平塚市内で発生割合の高い、高齢者や自転車利用者への意識啓発が課題であり、地域や関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンや、幼児や高齢者まで幅広い年齢層を対象にした交通安全教室に加え、啓発活動のツールとしてYouTube等を活用し、交通ルール・マナーの順守や交通安全意識の向上を図る。
令和3年度	交通安全教室実施回数168回 交通安全動画公開本数19本	前年度の課題等に対する取組状況
		密を避けるため、ソーシャルディスタンスの確保や空気の入替などに配慮して交通安全教室を実施した。また、YouTubeで公開している交通安全動画を周知するとともに、多くの学校等で交通安全教室を実施できるよう市内にあるすべての保育園(所)、幼稚園、認定こども園及び小・中・高等学校・中等教育学校に通知を送付した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		より多くの方に対して交通事故防止と交通安全の啓発できるよう、引き続き交通安全教室及びYouTubeで公開している交通安全動画の周知に努める。

備考（その他）

4 (1) 2	歩道設置事業	担当課	道路整備課
---------	--------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
交通量の多い道路や通学路において、歩行者と車両を分離し、歩行者等の通行空間を整備することにより、道路利用者の安全確保に取り組めます。	幹線道路や通学路などに歩行者等の安全を確保するため、計画的に歩道整備を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	整備延長 156m 真土金目線 69m 北金目真田線 16m 四之宮厚木線 31m 田村50号線 40m 用地取得 0㎡	前年度の課題等に対する取組状況 既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
幹線道路等の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。						
令和4年度	整備延長 231m 吉沢土屋線 211m 土屋1号線 20m 用地取得 349㎡ 八幡愛甲線 168㎡ 浅間町南原線 110㎡ 田村50号線 71㎡	前年度の課題等に対する取組状況 既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
幹線道路等の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。						
令和3年度	整備延長 446m 真土金目線 175m 北金目真田線 164m 北金目31号線 48m 入野52号線（水神橋） 59m 用地取得 377㎡ 八幡愛甲線 206㎡ 真土金目線 171㎡	前年度の課題等に対する取組状況 既存道路用地の利用等、事業費の低減が可能な方法を検討するなど、計画的に事業を進めた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
幹線道路等の歩道整備には、用地買収、物件補償費、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要がある。						

備考（その他）

4 (1) 3	通学路合同点検事業	担当課	教育指導課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
通学路の安全を確保するため、各学校からあげられた通学路の危険箇所を学校、保護者、自治会等地域住民、警察、道路管理者等で通学路の合同点検を実施し、安全対策案の検討・対策の実施を進めます。	<見直し> 4 (2) 3「通学路安全対策事業」に統合 合同点検を実施し、安全対策案の検討・対策の実施を進めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	4 (2) 3「通学路安全対策事業」に統合	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果
		今後の事業展開
		翌年度に向けた課題と取組
		前年度の課題等に対する取組状況
令和4年度	通学路合同点検を3日開催した。 通学路交通安全推進会議を2回開催した。 合同点検実施学校数：5校 合同点検実施箇所数：13箇所	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果
		今後の事業展開
		翌年度に向けた課題と取組
		前年度の課題等に対する取組状況
令和3年度	通学路合同点検を3日開催した。 通学路交通安全推進会議を2回開催した。 合同点検実施学校数：10校 合同点検実施箇所数：15箇所	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果
		今後の事業展開
		翌年度に向けた課題と取組
		前年度の課題等に対する取組状況

備考（その他）

4 (2) 1	地域安全運動の推進	担当課	危機管理課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、市民の防犯意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し地域安全運動や地域安全運動推進大会、研修会等を実施します。 地域の防犯活動を支援します。 	警察や防犯協会と連携し、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯研修会を「子どもの見守り」をテーマに実施。 防犯の日等キャンペーンの実施。（9回） 地域安全運動推進大会の実施。 防犯功労者表彰式を実施。 安全・安心まちづくり旬間や年末年始特別警戒期間に地域安全運動等を実施。 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロック、かごネット等の防犯啓発グッズを配布。 地域見守り花植え活動の実施。（チューリップの球根を26支部に配布） 防犯講話を警察と連携し、1回実施。 防犯教室を警察と連携し、3支部で実施。 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置継続。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>防犯キャンペーン、防犯教室など、コロナにより縮小されていた事業を順次再開・拡充している。中でも、防犯研修会は「子どもの見守り」をテーマに高名な外部講師を招いて実施しており、アンケート結果をみても成果がでている。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">子どもの見守りを実施する関係団体との連携を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		子どもの見守りを実施する関係団体との連携を検討する。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
子どもの見守りを実施する関係団体との連携を検討する。										
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯の日キャンペーン4回実施。 地域安全運動推進大会の実施 防犯功労者表彰式を実施 安全・安心まちづくり旬間に地域安全運動等を実施 年末年始特別警戒期間に平塚を明るくするホテル青パト隊による市内一斉パトロールを実施 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロック、かごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施（チューリップの球根を24支部に配布） 防犯講話の実施（警察と連携し、1回実施） 防犯教室1回実施。 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置継続 防犯協会への支援として不織布マスク等の感染対策品を配付した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>WITHコロナの取組として、3密を避けた防犯キャンペーンを新たに実施するほか、地域安全運動推進大会、防犯教室などコロナ前の取組も再開することができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">子どもを狙う犯罪に対する取組の充実を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		子どもを狙う犯罪に対する取組の充実を検討する。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
子どもを狙う犯罪に対する取組の充実を検討する。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を中止または延期した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域安全運動推進大会の実施（翌年度へ延期） 防犯功労者表彰式を実施 安全・安心まちづくり旬間、毎月10日（防犯の日）等に地域安全運動等を実施（中止） 年末年始特別警戒期間に平塚を明るくするホテル青パト隊による市内一斉パトロールを実施 防犯啓発のぼり旗や、自転車ワイヤーロック、かごネット等の防犯啓発グッズを配布 地域見守り花植え活動の実施（チューリップの球根を24支部に配布） 防犯講話の実施（警察と連携し、1回実施） 防犯教室は中止 大型商業施設等の駐輪場への警報機付き自転車の設置継続 防犯協会への支援として不織布マスク等の感染対策品を配付した。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により街頭キャンペーンができない代わりに車両でのパトロールを行う青パト隊の活動を強化した。</p> <table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、地域安全運動を継続していく。										

備考（その他）

4 (2) 2	地域安全施設整備事業	担当課	危機管理課
---------	------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、防犯街路灯の維持管理を行うとともに、基準に基づき設置します。	自治会等の要望を確認し、事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯の新設74灯 ・防犯街路灯維持管理補助金（13団体計112灯に補助） ・平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱について、要望に応じて撤去し、灯具を電柱に移設している。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化してきている自立柱の撤去及び灯具移設対応 				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯の新設57灯 ・防犯街路灯維持管理補助金（13団体計113灯に補助） ・平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱について、要望に応じて移設で対応している。 ・耐用年数を迎える防犯街路灯の更新について、運用を見直し、他の防犯街路灯と更新時期を統一することとした。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化してきている自立柱の修繕及び灯具移設対応 ・防犯街路灯設置基準の変更に伴う新設への対応 				
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯街路灯の新設45灯 ・防犯街路灯維持管理補助金（13団体計113灯に補助） ・平成28年度に市に移管した防犯街路灯の維持管理 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が設置した防犯街路灯用自立柱について、要望に応じて移設で対応している。 ・耐用年数を迎える防犯街路灯の更新について、令和4年度事業として予算計上した。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に更新する防犯街路灯に関し、灯具の調達方法を検討する。 				

備考（その他）

4 (2) 3	通学路安全対策事業	担当課	教育指導課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童・生徒の安心・安全な通学を確保するために、地域との連携により、見守り活動の推進や通学路の環境を整備します。	<p><見直し> 児童生徒の通学時の安全を確保するため、地域、学校との連携により安全で安心して通学できる環境づくりを進めている団体を支援するとともに、関係機関と連携し合同点検を実施するなど通学路の道路環境を整えていきます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>【通学路合同点検事業】 通学路合同点検現地確認を4日開催した。 通学路交通安全推進会議を2回開催した。 合同点検実施学校数：9校 合同点検実施箇所数：17箇所</p> <p>【青色防犯パトロール】 ・新1年生下校時に実施（4月） ・秋季休業開始時に実施（10月） ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施</p> <p>地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める13団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額320,000円を交付する予定。</p> <p>見守り団体に対し、庁内で連携し講習会を開催することができた。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		学童所管部署を通学路安全プログラムに参画させた。PDCAサイクルとして繰り返し実施し、事業の改善・充実を図る必要がある。交通政策課と協力して実施した講習会において、参加団体の拡大を行い、通学路の安全対策を行う団体に周知することができた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		継続的に合同点検を実施し、効果的な対策を講じることができるよう取り組んでいく。通学路の安全対策を行う団体に対し、より広く周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力していく。
令和4年度	<p>【青色防犯パトロール】 ・新1年生下校時に実施（4月） ・秋季休業開始時に実施（10月） ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施</p> <p>地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める10団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額316,376円を交付した。</p> <p>見守り団体に対し、庁内で連携し講習会を開催することができた。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		交通政策課と協力して実施した講習会において、参加団体の拡大を行い、通学路の安全対策を行う団体に周知することができた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		通学路の安全対策を行う団体に対し、より広く周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力していく。
令和3年度	<p>【青色防犯パトロール】 ・新1年生下校時に実施（4月） ・秋季休業開始時に実施（10月） ・その他事件事故発生時等に、随時学区内の巡回を実施</p> <p>地域、学校等と連携して通学路の安全対策を進める7団体に対して、横断旗、パトロールベストなどの補助として総額239,009円を交付した。</p> <p>見守り団体に対し、庁内で連携し講習会を開催することができた。</p> <p>千葉県八街市の事故を踏まえ、市道内「文」マークの一斉補修をおこなった。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		児童生徒の通学時の安全を確保するため、地域等に御協力いただいている見守り団体等に対し、庁内で連携し講習会を行うことができた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>
		通学路の安全対策を行う団体に対し周知が行き渡るよう交通政策課の事業と協力していく。また講習会についても、庁内で連携し参加団体の拡大を検討していく。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の4 (2) 3「学校 (園) の安全対策事業」を統合した。

4 (2) 4	子どもの安全対策の推進	担当課	社会教育課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
市内の各中学校校区の地域教育力ネットワーク協議会が行う「こどもサポート看板」の設置・管理や防犯パトロールの活動を支援し、子どもの安全確保に努めます。	市内の公共施設、住宅、店舗等への「こどもサポート看板」の設置に努めるとともに、引き続き防犯パトロールを行い、地域全体で子どもたちを見守る活動を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	看板設置枚数 2,122枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況
		新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつか、公民館だよりへの掲載に加え、今年度はLINE配信を新たに行い、看板の周知を図った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		小学1年生へのチラシ配布、広報ひらつか及び公民館だよりへの掲載等を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要である。
令和4年度	看板設置枚数 2,119枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況
		新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつか、公民館だよりへの掲載を行い、看板の周知を図った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		小学1年生へのチラシ配布、広報ひらつか及び公民館だよりへの掲載を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要。
令和3年度	看板設置枚数 2,111枚 新規設置希望者への配布に加え、経年劣化した看板の刷新も各地区で適宜行われた。	前年度の課題等に対する取組状況
		新小学1年生へのチラシ配布と広報ひらつか、公民館だよりへの掲載を行い、看板の周知を図った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		小学1年生へのチラシ配布、広報ひらつか及び公民館だよりへの掲載を行っているが、今後も保護者や地域諸団体への継続した周知が必要。

備考（その他）

4 (3) 1	安全対策の推進	担当課	みどり公園・水辺課 総合公園課 青少年課
---------	---------	-----	----------------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
公園等の点検・整備を行い、子どもの遊び場の安全確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直営による公園施設の点検において、ベンチや一般的な遊具等の共通項目だけでなく、公園特性に応じた附帯的な施設についても、細やかな部分まで点検を行い、安全管理を徹底します。 ・ 安全に遊ぶことができる広場にするために定期的な巡回点検を行い、修繕等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	みどり公園・水辺課 ・市内の公園施設の点検を直営班により4回、業者により1回実施。 ・点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・公園遊具の事故件数0件 総合公園課 ・総合公園に設置されている各種遊具についての日常点検および専門業者による保守点検を実施。 ・日常点検や専門業者からの指摘等により発見された各種遊具についての修繕を実施。 青少年課 ・市内13か所の青少年及びちびっ子広場の点検を毎月実施。	前年度の課題等に対する取組状況
		■みどり公園・水辺課：直営による施設点検に加え、公園施設製品安全管理士と公園施設製品整備技士による遊具点検（委託）を行った。 ■総合公園課：総合公園に設置されている各種遊具についての日常点検および専門業者による保守点検を実施した。日常点検や専門業者からの指摘等により発見された各種遊具についての修繕を実施した。■青少年課：定期点検の結果、劣化が進んでいる箇所は修繕を実施。判断が難しい箇所は関係部署に情報共有の上、業者への点検を依頼し、修繕の必要性を判断。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	みどり公園・水辺課 ・市内の公園施設の点検を直営班により4回、業者により1回実施。 ・点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・公園遊具の事故件数0件 総合公園課 ・総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・障がいの有無に関わらず遊べるインクルーシブ遊具の設置。 青少年課 ・市内14か所の青少年及びちびっ子広場の点検を毎月実施。9月に1か所閉鎖（古真土ちびっ子広場）し13ヶ所になった。上山下なかよし広場フェンス修繕、松が丘青少年広場の樹木伐採等を行った。	前年度の課題等に対する取組状況
		■みどり公園・水辺課：直営による施設点検に加え、公園施設製品安全管理士と公園施設製品整備技士による遊具点検（委託）を行った。 ■総合公園課：総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施した。日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕を行った。■青少年課：定期点検の結果、劣化が進んでいる箇所は修繕を実施。判断が難しい箇所は関係部署に情報共有の上、業者への点検を依頼し、修繕の必要性を判断。安全確保に努めた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	みどり公園・水辺課 ・市内の公園施設の点検を直営班により4回、業者により1回実施。 ・点検時、老朽化した遊具の確認、撤去を実施。 ・各公園愛護会による公園内異常の早期通報活動を実施。 ・要望、苦情に基づいて市内公園の巡回を実施。 ・公園内の草刈、樹木剪定を実施。 ・公園遊具の事故件数0件 総合公園課 ・総合公園において日常点検および専門業者による遊具の保守点検を実施。 ・日常点検・専門業者からの指摘等により発見された遊具の修繕の実施。 ・安全対策として老朽化した大型遊具のやまびこの樹を撤去した。 青少年課 ・市内14か所の青少年広場、ちびっ子広場の点検を毎月実施。今里西ちびっ子広場フェンス及び古真土ちびっ子広場看板の修繕、江南児童遊園の樹木伐採を行った。	前年度の課題等に対する取組状況
		■みどり公園・水辺課：直営による施設点検に加え、公園施設製品安全管理士と公園施設製品整備技士による遊具点検（委託）を行った。■総合公園課：経年劣化した大型遊具のやまびこの樹を撤去することができた。■青少年課：遊具管理を行う部署と情報共有した。また、劣化が進んでいる遊具は業者に点検を依頼し、遊具の更新、修繕、撤去の必要性を判断。安全確保に努めた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
備考（その他）		

4 (3) 2	公園整備事業	担当課	みどり公園・水辺課
---------	--------	-----	-----------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
公園等を計画的に整備するとともに、整備の際は子どもの発育段階に応じた遊具の設置、配置等を考慮し、遊び場の確保を図ります。	子どもの発育段階に対応した遊具を計画的に整備・補修します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・立野町公園、黒部丘第1公園、黒部丘第2公園、四之宮公園の計4公園に4基の揺動遊具設置工事。 ・浜岳公園、五領ヶ台公園、みどりヶ丘南公園、豊田小嶺公園、八間通り公園、立野町公園、須賀夕映え公園、月見公園、八重咲町公園の計9公園に9基のに滑り台(中型)設置工事。 ・公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 ・効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。			
翌年度に向けた課題と取組						
「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・馬入緑道、港公園、須賀公園計3公園に3基の揺動遊具設置工事。 ・青柳公園、大原公園、東中原公園、山下北公園、高村公園、湘南海岸公園計6公園に6基のに滑り台(中型)設置工事。 ・公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 ・効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。			
翌年度に向けた課題と取組						
「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大神公園、四十瀬川公園、伊勢山公園、天沼北公園計4公園に5基の揺動遊具設置工事。 ・桃浜公園に滑り台(中型)設置工事。 ・公所公園に滑り台(複合遊具(小))設置工事。 ・公園の長寿命化に向けて検討を進めている。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位をつけ、計画的に遊具整備を行った。 ・効率的かつ経済的に長寿命化を行うため「公園管理指針」などの見直しを図っている。 				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。			
翌年度に向けた課題と取組						
「公園管理指針」などを基に優先順位をつけ、効率的かつ経済的に施設の長寿命化を図っていく必要がある。						

備考 (その他)

4 (4) 1	歩道のバリアフリー化事業	担当課	道路整備課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
歩行者の安全性の向上や、妊婦、ベビーカー使用者等の子育て世代にも優しいまちづくりを進めるため、歩道の段差改修等を行い、歩道のバリアフリー化を進めます。	平塚市バリアフリー基本構想に位置づけられた生活関連経路における歩道の巻込み部の段差改修等を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	段差解消 7か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
歩道の新設や改良を行う場合には、移動等円滑化基準に適合した整備を推進していく。						
令和4年度	段差解消 13か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
歩道の新設や改良を行う場合には、移動等円滑化基準に適合した整備を推進していく。						
令和3年度	段差解消 30か所	前年度の課題等に対する取組状況 移動等円滑化基準に適合した歩道の整備を行った。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				

備考（その他）

4 (4) 2	公共交通のバリアフリー化事業	担当課	交通政策課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
妊婦、ベビーカー使用者等の子育て世代を含めた全ての市民の公共交通による移動の利便性や安全性の向上を図るために、市内の交通事業者に対して、ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーの導入を支援します。	<p><見直し> 令和4年6月に「平塚市バリアフリー基本構想に基づく事業計画」を策定しました。 ノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシーの導入目標達成に向けて、国等と連携を図りながら、交通事業者による導入を支援します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>ノンステップバスの導入台数 2台（累計125台（※1）、導入率：125/160≒78%） ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 4台（累計35台（※2）、導入率：35/245≒14%）</p> <p>※1：ダイヤ改正により、平塚営業所から他営業所に移管されたため、修正。 ※2：営業所の廃止に伴い、車両数を修正。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		平塚市バリアフリー基本構想に基づく事業計画の目標達成に向け、タクシー事業者にユニバーサルデザインタクシーの導入を働きかけた。また、ノンステップバスの導入を広域的に進めるための取組として、県に車両導入に対する支援制度の創設を引き続き要望した。
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	<p>ノンステップバスの導入台数 2台（累計126台。うち大型車116台、小型車10台）（※1） ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 2台（累計33台）（※2）</p> <p>※1：これまでノンステップバスである小型車バスを含めていなかったが、今回の見直しに伴い、小型車バス10台を含めた。 ※2：目標値の見直しに伴い、累計台数を確認した結果、前年までの累計台数が33台ではなく31台ということが判明したため、修正した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		国の基本方針における目標を踏まえ、令和4年6月に平塚市バリアフリー基本構想に基づく事業計画を策定した。計画では令和7年度までにノンステップバスの導入率80%、ユニバーサルデザインタクシーの導入率25%の達成を目指す目標値とした。また、広域的な取組である県への要望や近隣市への働きかけは継続して行った。
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	<p>ノンステップバスの導入台数 0台（累計114台） ユニバーサルデザインタクシーの導入台数 4台（累計33台） （新型コロナウイルス感染症の影響による経営状況悪化の懸念から、バス事業者による車両導入は見送られた。一方、タクシー事業者においては、同感染症による経営状況への影響はあるものの、4台が導入された。）</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		バリアフリー法の改正を受け、平塚市バリアフリー基本構想を改定した。なお、ノンステップバスの導入台数114台（導入率69%）、ユニバーサルデザインタクシーの導入台数は33台となった。また、広域的な取組である県への要望や近隣市への働きかけは継続して行った。
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		国の基本方針の改正に伴い、交通事業者と調整して、バリアフリー基本構想に掲げるノンステップバス及びユニバーサルデザインタクシー等の目標値の見直しを行う必要がある。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画4（4）2「ノンステップバス推進事業」から事業名称を変更した。

4 (5) 1	環境実態調査	担当課	青少年課
---------	--------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
県が主催する青少年を取り巻く環境実態調査に協力し現地調査をします。	現状どおりの調査を継続して行っていく予定です。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>県と市町村が連携して次のとおり社会環境実態調査を実施した。 令和5年度は、インターネットカフェ、まんが喫茶、カラオケボックス、書店、古書店、ゲームソフト取扱店、コンビニエンスストア、ドラッグストアを対象に主に7月から9月までの間に青少年指導員が店舗を訪問して調査を行った。（崇善、松原、神田、四之宮、横内、城島、相模の7地区で実施）</p> <p>《主な調査項目》 【インターネットカフェ、まんが喫茶】 客席の状況、条例に基づく措置、18歳未満と思われる者の年齢確認等 【書店、古書店、ゲームソフト取扱店】 成人向け書籍の取扱いの有無、18歳未満への販売・貸付等禁止の表示の有無、サンプルディスプレイの有無 【コンビニエンスストア、ドラッグストア】 たばこ、酒類の提供状況、未成年者と思われる者の判断基準等</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		各地区の青少年指導員による協力により円滑に調査を実施することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
翌年度も各地区の青少年指導員に協力を仰ぎ調査を実施する。						
令和4年度	<p>県と市町村が連携して次のとおり社会環境実態調査を実施した。 令和4年度は、インターネットカフェ、まんが喫茶、ドラッグストアを対象に主に7月から9月までの間に青少年指導員が店舗を訪問して調査を行った。（崇善、富士見、花水、中原、真土、みずほの6地区で実施）</p> <p>《主な調査項目》 【インターネットカフェ、まんが喫茶】 客席の状況、条例に基づく措置、18歳未満と思われる者の年齢確認等 【ドラッグストア】 たばこ、酒類の提供状況、未成年者と思われる者の判断基準等</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		各地区の青少年指導員による協力により円滑に調査を実施することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
翌年度も各地区の青少年指導員に協力を仰ぎ調査を実施する。						
令和3年度	<p>令和3年度は、神奈川県青少年課より提供された店舗一覧のうち、現在の店舗の有無、改装の有無、青少年にとって有害で新たに調査や指導等の必要があると思われる新規店舗の情報収集を行った。調査方法は、感染症拡大防止と調査員の安全確保の観点から、地区青少年指導員が各自で情報収集、市青少年課経由で県青少年課へ報告、県青少年課職員が訪問又は電話により実施した。</p> <p>《主な調査店舗》 カラオケボックス、ネットカフェ、コンビニ、書店等</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		今年度は各地区の指導員が直接情報収集を行ったことで、各地区の状況を最新の状態に更新することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

4 (5) 2	違反屋外広告物除去事業	担当課	まちづくり政策課
---------	-------------	-----	----------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
道路上等における違反屋外広告物（風俗広告物含む）の掲示により、青少年の育成に悪影響を与える恐れも考えられるため、この課題を未然に防止する観点からも実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回の除却キャンペーンの開催を継続して行います。 ・ 職員による巡回、地域のボランティアの協力等により除却活動を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平塚駅前周辺及び景観重点区域にて違反屋外広告物の除却活動を実施。（実施回数：4回、参加者：職員延べ8人 除却枚数：計67枚） ・ 違反屋外広告物の除却キャンペーン（さわやかで清潔なまちづくりキャンペーン） （実施回数：1回 参加者：ボランティア26人、事業者3人、職員10人 除却枚数：113枚） 	前年度の課題等に対する取組状況
		市職員による違反屋外広告物の除却活動の他、ボランティアとの協働による除却キャンペーンを開催することができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある違反広告物は市内全域で減少しているものの、簡易除却の対象となる違反広告物自体は常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。（ただし、屋外広告物条例では、広告内容による規制を行っていないため、青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある広告物を直接規制することはできません）
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平塚駅前周辺及び景観重点区域にて違反屋外広告物の除却活動を実施。（実施回数：4回、参加者：職員延べ8人 除却枚数：計205枚） ・ 違反屋外広告物の除却キャンペーン（さわやかで清潔なまちづくりキャンペーン） （実施回数：1回 参加者：ボランティア26人、事業者4人、職員10人 除却枚数：82枚） 	前年度の課題等に対する取組状況
		今年度は、市職員による違反屋外広告物の除却活動の他、ボランティアとの協働による除却キャンペーンを3年ぶりに開催することができた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある違反広告物は市内全域で減少しているものの、簡易除却の対象となる違反広告物自体は常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。（ただし、屋外広告物条例では、広告内容による規制を行っていないため、青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある広告物を直接規制することはできません）
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外広告物適正化旬間での除却活動及び屋外広告物の除却キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止。 ・ 影響を受けない範囲での活動を模索し、景観重点区域を中心とした違反屋外広告物の除却活動を実施。 （実施回数：5回 参加者・職員延べ10人 除却枚数：計237枚） 	前年度の課題等に対する取組状況
		今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、職員のみで取り組むことで、青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物を除却できた。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		青少年の育成に悪影響を与える違反屋外広告物は、市内全域で減少しているものの、常に一定数は存在しており、今後も事業の継続を図る。（ただし、屋外広告物条例では、広告物の内容による規制を行っていないため、その他の基準に適合していれば、青少年の育成に悪影響を与えるものであっても除却等は行うことはできません。）

備考（その他）

5 (1) ①1	妊婦健康診査	担当課	健康課
----------	--------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
順調な妊娠経過を経て、母子ともに健全な出産を迎えることができるように妊婦健康診査の受診を促します。	定期的を受診し、医師や助産師等のアドバイスを受けて、自分自身で健康管理に取り組むことができるよう受診勧奨を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p><妊婦健康診査></p> <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は年度末に97.9%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>前年度と同様の取組を行った。</p>
		<p>検証結果</p> <p>A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていく。</p>
令和4年度	<p><妊婦健康診査></p> <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は97.5%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応ができた。</p>
		<p>検証結果</p> <p>B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていく。</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接で妊婦健診の必要性について伝えている。母子健康手帳の発行が極端に遅い、経済的な基盤が不安定など未受診となりそうな妊婦に対しては、出産まで継続的に連絡をとり受診勧奨をおこなったり、医療機関と連携して支援を続けている。 妊婦健康診査第1回目受診率は97.4%。 健診受診後の経過の把握については、ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応している。出産後、乳児家庭全戸訪問時、妊娠中の経過及び受診状況について確認している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>ハイリスク者（未受診、健診の回数が極端に少ない等）は医療機関及び関係機関と連携し対応ができた。</p>
		<p>検証結果</p> <p>A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。</p>

備考（その他）

5 (1) ①2	妊産婦の相談の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
妊娠早期から産後までの心身の変化や不安等の相談に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳の交付時は、保健指導体制をとって相談に臨みます。 妊娠時期に合わせた健康管理に必要な情報を提供します。 ハイリスク者に対する関係機関との連携強化を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率94% 妊娠中のフォロー件数183件 (妊娠届数の14%) 令和5年1月から産後ケア事業開始。令和6年1月からアウトリーチを追加 申請者数 138人 利用延回数 340回 令和5年2月から伴走型相談支援開始。 妊娠8か月時の全妊婦にアンケートを実施し、必要な方に電話や面接等で相談対応している。 アンケート送付数1353 回収数1235件 (回収率91.3%) フォロー件数:372件 <産婦健康診査> 産婦健診受診者数1251人、フォロー者数119人 その他、産婦に関する相談関連事業 ((1)①6、5(1)②2、5(1)②3) 	前年度の課題等に対する取組状況
		全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。令和6年1月より産後ケア事業のアウトリーチを開始し、サービス内容を増やした。産婦健診フォロー者は、医療機関からの連絡を受けた後、早期支援を行うことができています。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつながるよう実施していく。		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率95% 妊娠中のフォロー件数216件 (妊娠届数の17%) R5.1月から産後ケア事業開始。 申請者数 23人 利用延回数 34回 R5.2月から伴走型相談支援開始。妊娠8か月時の全妊婦にアンケートを実施し、必要な方に電話や面接等で相談対応している。 アンケート送付数212 回収数196件 (回収率92.5%) フォロー件数:52件 <産婦健康診査> 令和4年7月1日以降に出産した産婦に対し、産婦健診費用の費用助成を実施。 産婦健診受診者数725人、フォロー者数124人 その他産婦に関する相談関連事業:5(1)①6、5(1)②2、5(1)②3 	前年度の課題等に対する取組状況
		全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。伴走型相談支援事業を開始し関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。産婦健診を医療機関と連携し、開始することができた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。		
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数95件 (妊娠届数の6%) 	前年度の課題等に対する取組状況
		全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。		

備考 (その他)

5 (1) ①3	妊産婦への教育の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
健やかな妊娠・出産・産後のため、妊産婦への教育を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 合併症予防、流産、低出生体重児、産後うつなどの予防や早期発見の教育を行います。 将来の生活習慣病の発症予防のための教育を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方や食事、生活面での指導を実施。特に喫煙や飲酒等嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R4.12月～R5.11月生) オリジナルの喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙及び飲酒状況について聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 5.3% 同居者の喫煙率：30.8% 母親父親教室 快適マタニティライフ編では、妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。 あかちゃん誕生準備編では、11月からパパが取得する育児休業等についての啓発を開始し、父親の育児参加を促進した。 祖父母手帳 妊娠届時に「祖父母手帳」の案内を妊婦を通して配布。ホームページにも掲載。また、幼児期には祖父母に向けた食育・むし歯予防のパンフレットを配布。 メンタル不調対策のスマホアプリの導入 (emol) メンタル不調のセルフケアやストレス対策として、24時間いつでも好きな時に利用できるアプリを無料で提供。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>前年度と同様に母子健康手帳交付時に全数面接を実施し、必要な教育を実施できた。</p> <p>令和5年11月から母親父親教室で、パパが取得する育児休業等についての啓発を開始した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>母親父親教室の回数を増やし、より多くの妊婦及びそのパートナーにパパの育児参加及びパパ育児の取得について普及啓発に努める。</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方や食事、生活面での指導を実施。特に喫煙や飲酒等嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R3.12月～R4.8月生) オリジナルの喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙及び飲酒状況について聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 4.5% 同居者の喫煙率：28.75% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。出産や育児に関しては、コロナ禍であることも考慮した内容にしている。 祖父母手帳 (祖父母教室) 教育方法を教室から変更し、妊娠届時に「祖父母手帳」の案内を妊婦を通して配布。ホームページにも掲載。また、幼児期には祖父母に向けた食育・むし歯予防のパンフレットを配布。 メンタル不調対策のスマホアプリの導入 (emol) メンタル不調のセルフケアやストレス対策として、24時間いつでも好きな時に利用できるアプリを無料で提供。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>母親父親教室の予約が取れなかった場合は個別にネウボラで対応した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、感染対策を取りながら事業展開ができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>様々な事業を通して妊産婦への教育に取り組んでいく。</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付 全員面接を実施し、妊娠の進み方の説明と合わせて、食事や生活面での指導を実施。特に喫煙やアルコール摂取など嗜好品については、胎児への影響を丁寧に説明している。 乳児家庭全戸訪問(R2.12月～R3.7月生) 健康課で作成した喫煙に関するチラシを配布し、母や家族の喫煙状況について聞き取り調査をしている。また、飲酒状況についても聞き取り調査をしている。 喫煙状況 母の喫煙率 3.9% 同居者の喫煙率：31.2% 母親父親教室 妊婦及び夫に対して妊娠経過を良好に保つための健康管理、生活習慣病予防をすることの必要性について情報提供を行っている。 新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止し、希望者には個別対応を実施した。また、新生児のおむつ交換、沐浴、着替えの動画配信を開始した。 祖父母教室 新型コロナウイルスワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止とし、妊娠届時にパンフレットを妊婦を通して配布。 父親の育児参加の支援 母子健康手帳の交付時に、父子手帳の交付をしている。父子手帳の中に父親の健康管理についても記載している。 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>母親父親教室・祖父母教室は、新型コロナワクチン接種事業を最優先事業としたこと、また感染予防の観点から、年間を通して集団教室を中止し、代替として妊娠届け出時にパンフレットを配布した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から、人数制限を設け母親父親教室を実施する。</p> <p>人数制限を設けることで、希望があった妊婦、またその夫が受講できない可能性がある。</p>

備考 (その他)

5 (1) ①4	産後デイサービス「産後ルームママはぐ」	担当課	健康課
----------	---------------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
母子の孤立を予防し、心身の回復を図り、健やかな育児ができるように支援します。	<p><見直し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子の孤立を予防するため、母たちの交流を図ります。 ・産後の身体的回復と心理的な安定を促進し、母自身がセルフケア能力をはぐくみ、健やかな育児ができるように支援します。 ・直営の「産後ルームママはぐ」とともに、委託による産後ケア（デイサービス、ショートステイ）を令和5年1月より開始します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・母に対し随時育児相談や、温かい食事の提供、遊びの紹介を行い、安心して過ごせるように支援した。 ・令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定員を12人にし、月1回の開催としたが、5月より新型コロナウイルス感染症が5類に移行し外出がしやすくなったため、毎回定員に達した。 ・5月より会食スタイルを単方向から対面にした。また、交流会も母同士が話しやすいように距離を縮めるなどの工夫をした。 <p>令和5年度実績 12回開催、参加人数132組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営の「産後ルームママはぐ」とともに、委託による産後ケア（デイサービス、ショートステイ）を令和5年1月より開始した。またR6年1月からアウトリーチを開始した。 <p>申請者数 138人 利用延回数 340回</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>母たちが交流しやすいように、1グループの人数を6人から4人にし、食事の時も対面にした。月齢の近い母同士と交流を図ることで、母児の孤立を防ぎ、育児に前向きに取り組むための支援ができた。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ②拡大して継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>予約が常に定員に達し、断ることも増えているため、令和6年度は、12人から16人に増やし事業を実施予定。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、感染対策を取りながら事業を継続する。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍で実施できなかった参加者同士の交流ができるよう取り組む。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナワクチン感染拡大防止のため、感染対策をとりながら事業を継続した。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染対策をとりながら実施します。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染対策をとりながら実施します。</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を12人にし、月1回の開催とした。 ・感染者増加のため、7月のみ食事の提供をやめ、時間を短縮した。それ以外は予定通り開催できている。 ・コロナ禍でなかなか外出しにくい母たちが交流し、短時間ではあるが、息抜きができる環境づくりをする。 ・母に対し随時育児相談や、温かい食事の提供、遊びの紹介を行い、安心して過ごせるように支援をする。 <p>R4年度実績 12回開催、参加人数121組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営の「産後ルームママはぐ」とともに、委託による産後ケア（デイサービス、ショートステイ）を令和5年1月より開始した。 <p>申請者数 23人 利用延回数 34回</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、感染対策を取りながら事業を継続する。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍で実施できなかった参加者同士の交流ができるよう取り組む。</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。 ・4か月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方又は日中赤ちゃんとなりがちの方を対象に、触れ合い遊びやストレス解消のための体操を行い、栄養のある温かい昼食をとりながら母親同士の交流を深めながら支援をしている。 <p>・開催回数 8回 ・参加人数 34組</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナワクチン感染拡大防止のため、感染対策をとりながら事業を継続した。</p> <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染対策をとりながら実施します。</p>

備考（その他）	

5 (1) ①5	産前・産後ヘルパー派遣事業	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
妊娠中や出産前後で体調不良等のため、育児や家事を行うことが困難な家庭に対し、市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等をサポートします。	<見直し> 事業者と連携し、妊産婦の家事や育児の負担軽減が図れるように、引き続き事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。 ・申請件数 69件 ・利用件数 38件	前年度の課題等に対する取組状況 母子健康手帳交付時に全妊婦に対して周知している。令和5年度は、コロナでの行動制限がなくなり、里帰りができるようになったり、祖父母などが手伝いに来てくれる状況になったため、申請者、利用者ともに減少。必要な方には引き続き利用できている。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、全妊婦に対し情報提供を実施。電話相談や乳児全戸訪問などで必要な方には、その都度紹介していく。妊娠中に申請したが出産後利用率は約半数であったため、利用したい時（主に産後）に申請するように手続き時期を見直した。
令和4年度	市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。 ・申請件数 94件 ・利用件数 61件	前年度の課題等に対する取組状況 母子健康手帳発行時に全妊婦に対して周知している。令和4年度は令和3年度の1.5倍の利用者があった。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 次年度以降も支援を必要とする家庭に対して本事業へつなげていきます。
令和3年度	市内に居住する産前から産後5か月以内の妊産婦で、体調不良等のため育児や家事を行うことが困難な方や日中に家族等から援助を受けられず支援が必要な方、または妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭を対象に市が委託したヘルパーを派遣し、育児や家事等の負担の軽減を図る。 ・申請件数83件 ・利用件数40件	前年度の課題等に対する取組状況 対象期間が5か月以内となっていたが、精神疾患や未熟児を出産された方は1年間と対象期間を延長したため、支援を必要とする家庭に対して調整した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 次年度以降も支援を必要とする家庭に対して本事業へつなげていきます。

備考（その他）

5 (1) ①6	産後メンタルヘルス相談	担当課	健康課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
妊産婦のメンタルヘルス不調の早期発見や重症化防止及び虐待防止のため、個別相談を実施します。	妊産婦のメンタルヘルス不調を早期に把握し、専門職による相談を行うことで、不安定さを抱える母親やその家族を支援します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	開催回数12回 対応件数35件	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同様の取組を行った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ケースの状況に合わせて、現状の規模で進めていく。
令和4年度	開催回数12回 対応件数41件	前年度の課題等に対する取組状況 感染対策を徹底した上で前年度と同様に実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ケースの状況に合わせて、現状の規模で進めていく。
令和3年度	開催回数12回 対応件数50件。	前年度の課題等に対する取組状況 ケースの状況により、複数回の面談、家族との面談を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ケースの状況に合わせて、今年度と同様の規模で進めていく。

備考（その他）

5 (1) ②1	乳幼児健康診査	担当課	健康課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児の健康状態の確認及び心身の問題の早期発見・早期治療や支援を目的に健康診査を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診内容の充実を図り、健康診査受診率の向上に努めます。 ・ 未受診者への受診勧奨を行い、適切にフォローします。 ・ 関係機関と連携し、未受診者等の状況把握の体制を継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1341人 1282人 95.6% 8-10か月児健診 1395人 1316人 94.3% 1歳6か月児健診 1455人 1386人 95.3% 2歳児歯科健診 1532人 651人 42.5% 3歳児健診 1597人 1523人 95.3% ・ 乳幼児ケア 12回 78人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 48回 1116人 ・ 外遊び2時間以上の児の割合 (休日) 1歳6か月児健診 31.9% 3歳児健診 37.7% ・ 22時までに就寝している児の割合 1歳6か月児健診 95.3% 3歳児健診 72.8% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 93.9% 	前年度の課題等に対する取組状況
		4か月児健診、8～10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診において、95%前後の受診率を維持することができている。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 各種健診を通し、引き続き生活リズムを整える必要性について啓発していく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1376人 1345人 97.7% 8-10か月児健診 1408人 1394人 99.0% 1歳6か月児健診 10503人 1468人 97.7% 2歳児歯科健診 1574人 739人 47.0% 3歳児健診 1741人 1652人 94.9% ・ 乳幼児ケア 12回 67人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 48回 1069人 ・ 外遊び2時間以上の児の割合 (休日) 1歳6か月児健診 32.8%、3歳児健診 45.6% ・ 22時までに就寝している児の割合 1歳6か月児健診 95.8%、 3歳児健診 92.5% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 91.5% (R5.3月末現在) 	前年度の課題等に対する取組状況
		引き続き健診受診を進め必要な支援に繋げていく。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性和生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査 対象者 受診者数 受診率 4か月児健診 1437人 1363人 94.9% 8-10か月児健診 1455人 1417人 97.4% 1歳6か月児健診 1636人 1541人 94.2% 2歳児歯科健診 1712人 812人 47.4% 3歳児健診 1702人 1606人 94.4% ・ 乳幼児ケア 12回 56人 ・ 健診事後フォロー教室 回数 延べ参加者数 親子教室 (1歳6か月児健診後) 12回 205人 * 新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。 (たまご教室12回・延べ205人、びよびよ教室開催中止) 開催時期はR3.10月～R4.3月 ・ 外遊び2時間以上の児の割合 (休日) 1歳6か月児健診29.9%、3歳児健診 38.9% ・ 22時までに就寝している児の割合 1歳6か月児健診 94.9%、3歳児健診 90.3% ・ むし歯のない3歳児の割合 3歳児健診 91.5% 	前年度の課題等に対する取組状況
		引き続き健診受診を進め必要な支援に繋げていく。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 健診によって受診率の増減はみられている。未受診者把握に努め、健診受診の必要性和生活リズムを整える大切さを引き続き伝えていく必要がある。

備考 (その他)

5 (1) ②2	乳幼児期の相談の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
未就学児を対象として、保護者の育児不安等の対応と、子どもにとって望ましい生活習慣の確立ができるように育児相談を充実させます。	<見直し> 乳幼児期の相談 (電話・訪問・来所等) を継続します。保護者の育児不安等の軽減と、望ましい生活習慣を確立した児を増やします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 7か月児相談を毎月2回実施。来所者数454人 育児相談は月2回実施、来所者数 505人 令和6年1月より、予約不要で実施している。 令和4年4月からオンラインで専門職が個別相談に応じるオンライン育児相談を開始している。相談件数3件 離乳食教室 (5, 6か月児) は年12回実施、参加組数165組。離乳食教室 (7, 8か月児) は年8回実施、参加組数114組。離乳食・幼児食教室 (9か月～1歳6か月児) は年6回実施、参加組数87組。 歯みがき教室 (8か月～1歳0か月児) は6回実施。1歳3か月児以降の教室は、6回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は22園実施。 低出生体重児の集い (おひさまくらぶ) 6回 参加人数86人 (児37人、保護者等49人) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況 育児相談について、より多くの方に利用していただくため、令和6年1月より感染対策を徹底の上、予約不要で実施した。
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、育児に不安等を抱える保護者に寄り添った支援をしていく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 7か月児相談を毎月2回実施。来所者数484人 育児相談は月2回実施、来所者数 436人 令和4年4月からオンラインで専門職が個別相談に応じるオンライン育児相談を開始している。相談件数7件 離乳食教室「5, 6か月児」と「7, 8か月児」を年8回ずつ実施 (定員制)。「9か月～1歳6か月児」と「幼児食教室」を統合した「9か月～2歳0か月児」を年4回実施。 歯みがき教室 (8か月～1歳0か月児) は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、13回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は25園実施。 低出生体重児の集い (おひさまくらぶ) 6回 参加人数54人 (児26人、保護者等28人) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況 7か月児相談及び育児相談は定員・予約制にし、その他教室も感染対策を徹底のうえ、実施した。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、育児に不安等を抱える保護者と子どもに寄り添った支援をしていきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 7か月児相談を毎月2回実施 (4月～12月まで18回中止)、来所者数131人 育児相談は1月から6回実施 (4月～12月まで18回中止)、来所者数82人 離乳食教室「5, 6か月児」と「7, 8か月児」を毎月1回ずつ実施 (時間短縮、一部で試食提供中止)。「9か月～1歳6か月児」の教室は10月以降4回実施 (内2回試食無)「5か月～1歳6か月児 (ダイジェスト版)」については今年度は中止。 歯みがき教室 (8か月～1歳0か月児) は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、10月以降5回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は今年度は中止。 低出生体重児の集い (おひさまくらぶ) 2回 参加人数18人 (児9人、保護者等9人) (4回中止) 小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 感染対策を取りながら実施します。

備考 (その他)	

5 (1) ②3	訪問事業	担当課	健康課
----------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
乳幼児を持つ家庭に対する訪問を通し、育児不安への対応や、精神的な不安定さを抱える母親への支援を実施します。また、新生児聴覚スクリーニング検査の受診勧奨と検査後の不安軽減のために相談先を紹介します。	こんには赤ちゃん訪問の実施率の向上を目指します。 (参考値：平成30年度実績96.1%)

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率 98.1%(令和4年12月～令和5年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児出生率9.4%(令和4年12月～令和5年11月生)</p> <p>未熟児訪問 訪問率 96.8%(" ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		出産子育て応援ギフトの支給が始まったこともあり、未熟児訪問の訪問率が向上した。(訪問時に子育て応援ギフトの申請用紙を配布している)
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、子育ての不安を少しでも解消できるように保護者に寄り添った支援をする。</p>
令和4年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率97.8%(令和3年12月～令和4年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児出生率 9.5%</p> <p>未熟児訪問 訪問率 92.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施し、訪問率が向上した。今年度より、乳児家庭全戸訪問の集計に未熟児も含めた。また例年通り未熟児の訪問数も計上した。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、子育ての不安を少しでも解消できるように母に寄り添い支援します。</p>
令和3年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率88.8%(令和2年12月～令和3年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。 <p>未熟児訪問 訪問率 89.4%、(令和2年12月～令和3年11月生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施したが、昨年と比べて訪問率が低下した。しかし生後4か月未満に把握できなかった乳児については、4か月以降の訪問による把握ができた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど把握方法を広げ、訪問率の向上を目指す。</p>

備考 (その他)

5 (1) ②4	学習の場の提供	担当課	健康課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
7か月児相談、幼児健診等で年齢に合わせた生活習慣に関する学習機会を提供し、親の育児に関する知識を豊かにすることで子どもの健やかな成長を支えます。	7か月児相談、幼児健診や幼稚園・保育所・認定こども園への巡回教室等で生活習慣(生活リズム、外遊び、食事、睡眠、歯の健康等)に関する情報について、学習の機会を提供します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関する情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 幼児集団健診：生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示 巡回教室：32園 参加園児数896名(希望園のみ) 保護者に対してテキストを配布 54園 1672部 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室、萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。歯みがき教室12回、巡回教室22園。 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)6回 参加人数86人(児37人、保護者等49人) 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士等が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		市内の公私立保育所、幼稚園、認定こども園の5歳児の保護者に、子どもの生活習慣病予防に対する動画視聴用QRコード付きテキストを配布した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
対象者を限定しての公開であったが、動画視聴回数が80回台だった、より多くの対象者が視聴できるように、動画の存在を広く周知する。		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関する情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 幼児集団健診：生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示 巡回教室：31園 参加園児数941名(希望園のみ) 希望園保護者に対してテキストを配布 31園 1020部 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室、萌出期歯科保健事業巡回教室で実施。歯みがき教室21回、巡回教室25園。 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)6回 参加人数54人(児26人、保護者等28人) 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士等が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		前年度中止した巡回教室は対象者を絞る等感染対策を徹底した上で再開し、その他事業は前年度同様に実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
コロナ禍で縮小していた保護者への働きかけを検討していく必要がある。		
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣に関する情報提供を保健センターで実施している集団健診、子どもの生活習慣病予防対策事業巡回教室において実施。 幼児集団健診：生活習慣に関する情報提供として健診におけるポスター掲示及びパンフレットの自由配布 巡回教室：希望園の保護者に対して、子どもの生活習慣病予防に関するテキストを配布(28園 1,127部)。園児対象の教室は中止。 むし歯予防に関する情報提供を歯みがき教室で実施したが、萌出期歯科保健事業巡回教室は中止。 歯みがき教室は年13回実施。 低出生体重児の集い(おひさまくらぶ)2回 参加人数 18人(児9人、保護者等9人)(4回中止) 低出生体重児の育児について保健師、管理栄養士、保育士等が参加し母親の不安解消、知識の普及を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模の縮小及び内容を変更し実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
感染対策を取りながら実施します。		

備考(その他)

5 (1) ②5	感染症対策の推進	担当課	健康課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を実施します。	<見直し> 次世代の健康を守る目的で実施している風疹ワクチン及び平成28年度に開始したB型肝炎ワクチン、令和2年度に開始したロタワクチンの普及・啓発に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>1歳6か月児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む) 96.4% ・ B型肝炎ワクチン97.6% <p>3歳児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む) 97.8% ・ B型肝炎ワクチン98.0% <p>・ 小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載されたリーフレット等を配布。乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・ 幼児健診 (1歳6か月児健診・3歳児健診) 等で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・ 個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由して接種勧奨するチラシを配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合21件、日本脳炎：31件、水痘17件、B型肝炎5件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>小児医療証の手続き時から、各母子保健事業時、広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由し継続的に予防接種の普及・啓発を実施する。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合14件、日本脳炎：31件、水痘6件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
令和4年度	<p>1歳6か月児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む) 95.01% ・ B型肝炎ワクチン98.84% <p>3歳児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む)98.20 % ・ B型肝炎ワクチン98.7 % <p>・ 小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載された配布リーフレット等を配布。乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・ 幼児健診 (1歳6か月児健診・3歳児健診) 等で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・ 個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由して接種勧奨するチラシを配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合14件、日本脳炎：31件、水痘6件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
令和3年度	<p>1歳6か月児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む) 95.1% ・ B型肝炎ワクチン97.7% <p>3歳児健診予防接種接種率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風疹ワクチン (麻疹風疹混合ワクチン含む) 97.7% ・ B型肝炎ワクチン 97.7% <p>・ 小児医療証の手続き時に予防接種の受け方や重要性が記載された配布リーフレット等を配布。乳児家庭全戸訪問等で、再度保護者に定期予防接種の重要性・進め方について説明している。</p> <p>・ 幼児健診 (1歳6か月児健診・3歳児健診) 等で予防接種歴を確認し、必要時には保護者に予防接種の重要性について説明している。</p> <p>・ 個別通知・広報・ホームページ、幼稚園、保育園、学校を經由して接種勧奨するチラシを配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>
		<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、接種期間を過ぎてしまった対象者のための特例措置を実施した。 実施件数：麻疹風疹混合7件、日本脳炎：26件、水痘9件、B型肝炎3件 <p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>1歳6か月児健診の風疹、B型肝炎ワクチン接種率が昨年度に比べ減少しているため健診時に周知していく。</p> <p>コロナの影響によりやむを得ず接種できなかった乳幼児への特例措置について積極的に説明していく。</p>

備考 (その他)			

5 (1) ②6	5歳児健康診査	担当課	こども家庭課
----------	---------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
発達に課題を持つ子どもたちが支援を受けずに就学・就職して、困難な状況に陥りがちなことから、5歳児を対象に、スクリーニング調査により健康診査を実施し、要支援という結果が出た子どもに対し、必要な支援を行います。	保育所や教育機関と連携しながら、必要な支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	調査票配布協力園：77園(市外17園) 調査票配布数：1548人 調査票回答者：1408人(91.0%) 要支援者：288人、要支援率：20.5% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和5年度対象：54園(実施54園) 令和4年度対象へのフォロー：44園	前年度の課題等に対する取組状況 健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなぎました。事業評価の準備を進めました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き要支援者を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていきます。引き続き、事業評価の準備を進めます。
令和4年度	調査票配布協力園：78園(市外18園) 調査票配布数：1656人 調査票回答者：1492人(90.1%) 要支援者：282人、要支援率：18.9% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和4年度対象：52園(実施52園) 令和3年度対象へのフォロー：38園	前年度の課題等に対する取組状況 健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなぎました。事業評価の準備を進めました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き要支援者を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていきます。引き続き、事業評価の準備を進めます。
令和3年度	調査票配布協力園：77園(市外19園) 調査票配布数：1,747人 調査票回答者：1,592人(91.1%) 要支援者：274人、要支援率：17.2% 要支援者在籍園への訪問療育相談と巡回相談 令和3年度対象：52園(実施52園) 令和2年度対象へのフォロー：46園	前年度の課題等に対する取組状況 健診後に支援の必要な子を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつないだ。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		引き続き要支援者を所属園とともにフォローし、就学移行支援へつなげていく。事業評価の準備をすすめる。

備考 (その他)

5 (1) ②7	保育所における食育の推進	担当課	保育課
----------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
乳幼児期から、正しい食事のとり方や望ましい食習慣の定着、食を通じた豊かな人間性の形成、家族関係づくりによる心身の健全育成を図ります。	クッキング保育やバイキング給食、ボードを使用しての食品構成遊び等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況 栽培した野菜を収穫し、給食のメニューに追加したり、クッキング保育などで食したりして苦手な野菜でも自分たちで育てたことで食べてみようという興味を持つことができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 提供されたものを食べられるようになるだけでなく、自分たちが口にしているものがどのような成り立ちで食卓（給食）に提供されるのか、食に関する興味を持てるように事業を展開していく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況 クッキング保育については、コロナ禍前と同程度の実施が出来た。日頃から保育士と給食関係者が意見交換し、苦手な食材の提供日には園で収穫体験を行い、園児が食べることに興味を湧くような工夫を行った。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 園での給食や栽培・収穫などの体験を通して、食への興味を持てるような関りをしていく。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング保育、バイキング給食の実施 ・エプロンシアターやボードを使用しての食品構成あそびの実施 ・給食試食会の実施 ・献立表、給食だよりの配布 ・野菜などの栽培・収穫 ・食育年間計画の運用 実施園：43園	前年度の課題等に対する取組状況 コロナ禍であったが、園児の身だしなみや手洗いなどの衛生管理や個別で実施するなどの対応をを行ったうえでクッキングを実施した。実際に、自分が口にするものを自分で準備することで食べることへの興味が向上した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

5 (2) ①1	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	担当課	学務課 健康課
----------	-----------------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体格の実態を把握します。 ・ 生活習慣病予防や歯の健康に関する知識の普及に努めます。 ①小学校4～6年生の体格調査と健康に関する教育の実施 ②学校歯科巡回指導の実施	引き続き、体格の実態の把握、生活習慣病予防や歯の健康に関する知識の普及を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生329人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室については、児童18人とその保護者へ栄養相談、医師面談及び運動教室を実施した。小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した	前年度の課題等に対する取組状況 健康教室は前年度どおり開催し、専門家による指導が実施できた。歯科巡回指導については前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 必要に応じて事業実施方法の検討
令和4年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生333人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室については新型コロナウイルス感染症に配慮した形で開催し、児童25人とその保護者へ栄養相談、医師面談を実施した。小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した	前年度の課題等に対する取組状況 前年度新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかった歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 必要に応じて事業実施方法の検討
令和3年度	肥満度30%以上の小学校4～6年生316人に医療機関の受診をすすめた。また、小学校4年生を対象に児童健康教室については新型コロナウイルス感染症の影響から運動教室を中止した形で開催し、児童23人とその保護者へ栄養相談、医師面談を実施した。小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止としたが、代替措置として、歯科衛生に係る資料を小学校に配布した。計測結果(身長・体重)・視力検査結果・歯科検診結果をとりまとめ、保健統計を作成した	前年度の課題等に対する取組状況 自粛生活による影響で肥満傾向の児童が増加する中、規模を縮小した形ではあったが、健康教室を開催し、専門家による指導が実施できた。また、各学校に対し生活習慣病予防に関する啓発関連資料を提供した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 歯科巡回指導について、コロナ禍においても可能な方法で実施する。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業支援事業計画5 (2) ①1 「教育の充実」 から事業名称を変更した。

5 (2) ①2	健康に関する教育の実施	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防に関する実態の把握をします。 生活習慣病予防に関する教育を実施します。 ①朝食の摂取、②睡眠、③運動・スポーツ	生涯を通して健康・安全で活力ある生活を送るために、また、運動に親しむ資質や能力を育てるために、学校教育全体を通して健康に関する教育を推進します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和5年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和5年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 全国的に児童生徒の体力レベルの低下傾向が明らかとなっている。児童生徒の体力を向上させるために、体育・保健体育の授業において運動に親しむ資質や能力を育成していく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和4年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和4年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に児童生徒の体力レベルの低下傾向が明らかとなっている。まずは十分な感染対策を行うことが第一であるが、児童生徒の体力を向上させるために、体育・保健体育の授業においてできることから着実に実施していく。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和3年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。 各小中学校の体育及び保健体育の授業を通じて、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上をめざした教育実践を行った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「令和3年度神奈川県児童生徒体力・運動能力調査」にて、神奈川県及び平塚市の児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に児童生徒の体力レベルの低下傾向が明らかとなっている。まずは十分な感染対策を行うことが第一であるが、児童生徒の体力を向上させるために、体育・保健体育の授業においてできることから着実に実施していく。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画5 (2) ①2 「教育の充実」から事業名称を変更した。

5 (2) ①3	学校保健の充実	担当課	学務課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・心電図検査、心臓疾患第2次検査、腎臓疾患(尿)検査、同2次検査、同3次精密検査、結核健康診断、胸部レントゲン直接撮影、結核健康診断精密検査、学校歯科巡回指導を実施します。 ・各学校(園)健康診断(内科、眼科、耳鼻科、歯科)を実施します。 	引き続き、各種健康診断等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>心電図検査(5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査(6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患(尿)検査(9月実施)、同2次検査(9月実施)、同3次精密検査(10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影(7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査(8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。上記検査のほか、各学校(園)で健康診断(内科、眼科、耳鼻科、歯科)を実施した。 ※寄生虫卵(ぎょう虫卵)検査については、平成28年度から廃止</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		各種検査について、計画通り実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
必要に応じて事業実施方法の検討						
令和4年度	<p>心電図検査(5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査(6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患(尿)検査(9月実施)、同2次検査(9月実施)、同3次精密検査(10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影(7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査(8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。上記検査のほか、各学校(園)で健康診断(内科、眼科、耳鼻科、歯科)を実施した。 ※寄生虫卵(ぎょう虫卵)検査については、平成28年度から廃止</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		各種検査について、計画通り実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
必要に応じて事業実施方法の検討						
令和3年度	<p>心電図検査(5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査(6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患(尿)検査(9月実施)、同2次検査(9月実施)、同3次精密検査(10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影(7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査(8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。代替措置として、歯科衛生に係る資料を小学校に配布した。 上記検査のほか、各学校(園)で健康診断(内科、眼科、耳鼻科、歯科)を実施した。 ※寄生虫卵(ぎょう虫卵)検査については、平成28年度から廃止 心臓疾患2次検査及び結核健康診断について、昨年度に実施を見送った者の検査等を実施した。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度新型コロナウイルス感染症の影響から実施が延期となった心臓疾患2次検査及び結核検診について、平塚市民病院の協力のもと実施した。各種検査について、計画通り実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A:成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A:成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A:成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考(その他)

5 (2) ①4	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	----------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 3 (2) 2事業の再掲 > 児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。</p>	<p>スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校15校での相談活動内容 ・教室巡回2066回、教室等でのエクササイズ0回、外部関係者・機関との情報交換95回、教職員向け研修会9回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席101回、校内支援会議への参加177回、家庭訪問23回、その他10回 計2481回 ・来室相談延べ人数：小学生2551人、中学生834人、小学生保護者1120人、中学生保護者286人、小学校教員2767人、中学校教員1026人 計8584人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2076人、いじめ44人、暴力29人、虐待84人、友人・異性関係968人、貧困4人、ヤングケアラー32人、非行30人、家庭環境559人、教職員との関係157人、心身の健康・保健1516人、学業進路306人、発達2122人、その他657人 計8584人 ・電話相談延べ人数：小学生39人、中学生4人、小学生保護者234人、中学生保護者102人、小学校教員32人、中学校教員1人 計412人 ・電話相談内容延べ人数：不登校152人、いじめ6人、暴力1人、虐待1人、友人・異性関係41人、貧困0人、ヤングケアラー0人、非行0人、家庭環境13人、教職員との関係10人、心身の健康・保健85人、学業進路14人、発達78人、その他11人 計412人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和4年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1936回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換158回、教職員向け研修会5回、保護者・地域向け講演会1回、児童・生徒担当者会等出席124回、校内支援会議への参加205回、家庭訪問28回、その他5回 計2466回 ・来室相談延べ人数：小学生1893人、中学生545人、小学生保護者1365人、中学生保護者178人、小学校教員2905人、中学校教員813人 計7699人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2307人、いじめ65人、暴力41人、虐待88人、友人・異性関係806人、貧困3人、非行18人、家庭環境725人、教職員との関係131人、心身の健康・保健840人、学業進路361人、発達1496人、その他818人 計7699人 ・電話相談延べ人数：小学生48人、中学生26人、小学生保護者226人、中学生保護者138人、小学校教員36人、中学校教員11人 計485人 ・電話相談内容延べ人数：不登校246人、いじめ13人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係23人、貧困0人、非行0人、家庭環境23人、教職員との関係11人、心身の健康・保健50人、学業進路21人、発達72人、その他26人 計485人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和3年度	<p>13人 (週3日勤務) による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1889回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換148回、教職員向け研修会6回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席94回、校内支援会議への参加302回、家庭訪問44回、その他9回 計2496回 ・来室相談延べ人数：小学生2017人、中学生901人、小学生保護者1455人、中学生保護者313人、小学校教員3103人、中学校教員1266人 計9055人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2437人、いじめ96人、暴力227人、虐待254人、友人・異性関係797人、貧困0人、非行7人、家庭環境879人、教職員との関係129人、心身の健康・保健1134人、学業進路559人、発達1598人、その他938人 計9055人 ・電話相談延べ人数：小学生25人、中学生24人、小学生保護者340人、中学生保護者153人、小学校教員2人、中学校教員44人 計588人 ・電話相談内容延べ人数：不登校185人、いじめ2人、暴力7人、虐待2人、友人・異性関係36人、貧困0人、非行2人、家庭環境39人、教職員との関係21人、心身の健康・保健73人、学業進路33人、発達162人、その他26人 計588人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員の支援を行うことができた。また、コロナ禍における心のケアに関する情報提供も行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>

備考 (その他)

5 (2) ②1	思春期の教育の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
母性・父性を養い、将来に向けた健全な身体づくりに関する教育を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来に向けた身体づくりや性に関する知識について、学校等に出向き普及に努めます。 ・ 思春期対策連絡会の実施等で引き続き関係機関との連携を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<p>◆学校での思春期教育 令和5年度は、13校 (15回) で実施。</p> <p>①春日野中学校 3年 (123人) ②横内中学校 2年 (67人) ③横内中学校 3年 (63人) ④平塚支援学校 高等部2~3年 (44人) ⑤横内中学校 1年 (51人) ⑥山城中学校 3年 (112人) ⑦金旭中学校 3年 (172人) ⑧浜岳中学校 3年 (206人) ⑨神明中学校 3年 (123人) ⑩土沢中学校 3年 (38人) ⑪中原中学校 3年 (123人) ⑫江陽中学校 3年 (186人) ⑬旭陵中学校 3年 (101人) ⑭大野中学校 3年 (192人) ⑮大洋中学校 1年 (95人)</p> <p>内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターでの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。</p> <p>◆思春期連絡会：1回 (R6.1月) 開催。以下について報告及び検討。 ・ 思春期の心と身体の健康に関連する事業内容または現状について ・ 予期せぬ妊娠を防ぐための活動について ・ 新型コロナ5類への変更後の変化及び問題点について</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・ 卒業学年が受講する学校が多く、学校の希望日程が重複してしまうことが多いため、学校の御協力をいただきながら日程調整を行い実施に至った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 引き続き学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		・ 引き続き学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
・ 引き続き学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。										
令和4年度	<p>◆学校での思春期教育 令和4年度は、12校 (13回) で実施。</p> <p>①大洋中学校 1年生 (99人) ②春日野中学校 3年 (134人) ③金目中学校五領ヶ台分校 1~3年生 (17人) ④県立平塚養護学校知的教育部門 高等部2年生 (23人) ⑤県立平塚養護学校知的教育部門 高等部3年生 (23人) ⑥山城中学校 3年 (134人) ⑦金目中学校 3年 (134人) ⑧金旭中学校 3年 (178人) ⑨中原中学校 3年 (122人) ⑩横内中学校 3年 (77人) ⑪江陽中学校 3年 (182人) ⑫旭陵中学校 3年 (116人) ⑬神明中学校 3年 (128人)</p> <p>内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターでの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。</p> <p>◆思春期連絡会：1回 (R5.1月) 開催。以下について報告及び検討。 ・ 思春期の心と身体の健康に関連する各機関の事業内容または現状 ・ 予期せぬ妊娠を防ぐための各機関の活動報告及び検討 ・ 思春期のコロナ禍での変化及び問題点</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・ 感染症対策を講じながら講座の実施ができた。 ・ 連絡会も3年ぶりに開催でき、同じ思春期を支援する関係機関の現状を知ることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		・ 学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
・ 学校と連携をとりながら、市内の中学生を中心に本講座を実施していく。										
令和3年度	<p>◆学校での思春期教育 令和3年度は、中学校6校で実施。</p> <p>①土沢中学校 3年生 (60人) ②県立平塚養護学校 知的障害部門高等部3年 (30人) ③金目中学校 3年生 (132人) ④旭陵中学校 3年生 (113人) ⑤春日野中学校 3年生 (100人) ⑥山城中学校 3年生 (163人) ⑦横内中学校 3年生 (58人) ⑧中原中学校 3年生 (143人) ⑨大野中学校 3年生 (164人) ⑩神明中学校 3年生 (141人) ⑪大洋中学校 1年生 (124人)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響で2校中止 内容：妊娠の仕組み、命のつながり、望まない妊娠について講義と妊婦シュミレーターでの装着や赤ちゃん人形の抱っこ、性感染症ゲームの実施。</p> <p>◆思春期連絡会 コロナウイルス感染症予防の観点から中止。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>各校と感染症対策を考慮しながら実施することが出来た。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。 また、思春期連絡会の開催を何らかの形で実施したい。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。 また、思春期連絡会の開催を何らかの形で実施したい。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していきたい。 また、思春期連絡会の開催を何らかの形で実施したい。										

備考 (その他)

5 (2) ②2	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
----------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 8事業の再掲 > 地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。</p>	<p>地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>次の地域活動団体等に対し、こころと命のサポート事業（読書活動を通じた自殺対策の推進）の説明、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用について働きかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校司書教諭（司書教諭打ち合わせ会）年1回 各小中学校学校司書（学校司書説明会）年1回 各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議 年2回 <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 6地区 読み聞かせ回数 延べ 441回 読み聞かせ人数 延べ 1,734人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>昨年度同様、各団体へ働きかけ、読み聞かせ等の実施を促した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく。</p>
令和4年度	<p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 12地区 読み聞かせ回数 延べ 221回 読み聞かせ人数 延べ 5,343人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>昨年度実施地区が少なかったことから、昨年度より呼びかけを強化し、実施を促すことで実施地区の向上に繋がった。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。</p>
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。</p> <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 8地区 読み聞かせ回数 延べ 157回 読み聞かせ人数 延べ 4,850人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>公立・私立保育園、小・中学校の司書教諭及び学校司書に「いのちの尊さをつたえる本」ブックリストの活用と読み聞かせの実績報告を依頼した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。</p>

備考 (その他)

5 (3) 1	一時預かり事業	担当課	保育課
---------	---------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 1事業の再掲 > 保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 [対象：就学前子ども]</p>	<p>民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育21園で実施（延べ利用児童数11,023人） 民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園13園で実施（延べ利用児童数38,048人） 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,769人） 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況 施設改修の影響により実施できなかった1園を除き、すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施（延べ利用児童数11,281人） 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

5 (3) 2	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
---------	--------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 2事業の再掲 > 子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（支援会員）を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。 【依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者】</p>	<p>支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員257人、依頼会員671人、両方会員29人 活動件数：3,475件	前年度の課題等に対する取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 支援会員講習会のPR方法やカリキュラムについて見直し、ネットからの申し込みやオンライン受講を導入した。 HPの掲載内容を見直し、活動内容等を分かりやすく表記した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 依頼会員のニーズに対応できるように、PR活動の強化や支援会員講習会の開催回数を増やすなど、支援会員増加に向けた取組を行う。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を1回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員276人、依頼会員933人、内両方会員31人 活動件数：2,280件 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施 ※依頼会員の中に資格を喪失している会員（子どもが中学生以上の保護者）が含まれていたため整理して正しい会員数に修正	前年度の課題等に対する取組状況
		支援会員講習会について、広報ひらつかや市公式LINEでの周知に加え、市民課及び障がい福祉課前に設置している広告放映ディスプレイへの掲載やスーパー等へのポスターの掲示を行った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 依頼会員のニーズに対応できるように、PRや支援会員講習会のカリキュラム見直しなど、支援会員増加に向けた取組を行う。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員300人、依頼会員1,544人、内両方会員29人 活動件数：1,734件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 支援会員の入会説明会及び講習会について、市公式LINEを使うなど、PRを強化した。 支援会員講習会のカリキュラムを見直し、講習内容の充実を図った。（救命講習：救命入門コース(90分)から普通救命講習(3時間)に変更等）
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。

備考（その他）

5 (3) 3	子育て支援センター事業	担当課	保育課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 1 事業の再掲 > 子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 4,884人、子ども 5,964人、合計 10,848人 相談件数：面接 1,835件、電話 42件、その他 270件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・施設の利用状況から利用定員を緩和した。また、1日の利用回数制限を撤廃した。（令和6年3月～）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。										
令和4年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,487人、子ども 4,389人、合計 7,876人 相談件数：面接 2,182件、電話 45件、その他 202件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながらイベントや育児講座を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。										
令和3年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,379人、子ども 4,021人、合計 7,400人 相談件数：面接 2,246件、電話 15件、その他 188件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながら人形劇やコンサートなど一部のイベントを開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">検証結果</td> <td style="text-align: center;">B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">今後の事業展開</td> <td style="text-align: center;">①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。										

備考（その他）

5 (3) 4	つどいの広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 2事業の再掲 > 主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 [対象：おおむね0～3歳児及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>・5か所を実施。読み聞かせなどのイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,829人、子ども 1,947人、合計 3,776人、相談件数： 387件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 ・施設の利用状況から利用定員を緩和した。また、1日の利用回数制限を撤廃した。(令和5年12月～)</p>
	<p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 5,061人、子ども 5,363人、合計 10,424人、相談件数： 375件</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
	<p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,910人、子ども 2,474人、合計 4,384人、相談件数： 199件</p>	<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
	<p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,595人、子ども 1,801人、合計 3,396人、相談件数： 32件</p>	<p>翌年度に向けた課題と取組 相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。</p>
	<p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 1,069人、子ども 1,185人、合計 2,254人、相談件数： 30件</p>	
令和4年度	<p>・5か所を実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,494人、子ども1,643人、合計 3,137人、相談件数： 242件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。</p>
	<p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 4,743人、子ども 5,123人、合計 9,866人、相談件数： 406件</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
	<p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,808人、子ども 2,248人、合計 4,056人、相談件数： 178件</p>	<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
	<p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,518人、子ども 1,702人、合計 3,220人、相談件数： 31件</p>	<p>翌年度に向けた課題と取組 利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>
	<p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 810人、子ども 873人、合計 1,683人、相談件数： 21件</p>	
令和3年度	<p>・5か所を実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,671人、子ども1,756人、合計 3,427人、相談件数： 292件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。</p>
	<p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 3,899人、子ども 4,169人、合計 8,068人、相談件数： 426件</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
	<p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,391人、子ども 1,654人、合計 3,045人、相談件数： 183件</p>	<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
	<p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,321人、子ども 1,457人、合計 2,778人、相談件数： 40件</p>	<p>翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>
	<p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 802人、子ども 933人、合計 1,735人、相談件数： 38件</p>	

備考 (その他)

5 (3) 5	開放保育事業	担当課	保育課
---------	--------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (2) 3事業の再掲 > 地域の未就園児とその保護者に、保育所や認定こども園の園庭や施設を開放し、園児との交流や保護者同士の交流を図り、保育士による育児相談や情報提供を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>保育所や認定こども園で概ね週1回程度、施設を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所29園、認定こども園5園、小規模保育事業所1園、計35園で実施。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> 園児との交流や保護者同士の交流を図るとともに、育児に悩む家庭のニーズ等に対応するため、現状の規模で継続して取組む。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所29園、認定こども園4園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> 園児との交流や保護者同士の交流を図るとともに、育児に悩む家庭のニーズ等に対応するため、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所28園、認定こども園5園、小規模保育事業所1園、計34園で実施。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防策を講じながら、保育所等を開放し、育児情報の提供や育児相談等を実施した。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
<p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>						

備考（その他）

5 (3) 6	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 4事業の再掲> 公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。</p>	<p>事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<p>毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。 各回の参加上限を設けて開催した。 4月から10月までは15組、11月から3月までは20組を上限。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>年間を通じて参加上限を15組としたことで、多くの方に参加していただいた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。										
令和4年度	<p>毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。 各回の参加上限を設けて開催した。 4月から12月までは10組、1月から3月は15組を上限。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考 (その他)

5 (4) ①1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	担当課	健康課
----------	-------------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育て中の親が育児に対して少しでも余裕と自信を持つことができるように、育てにくさを感じている親の実態を把握しながら支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から実態を把握します。 ・子育ての仕方や発育発達の知識を普及します。 ・幼児健診事後フォロー教室を継続して取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.7% 時々感じる人 19.6% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.8% 時々感じる人22.0% ・幼児健診事後フォロー教室について、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、昨年度控えていた保護者同士の交流会や対面での遊びを復活し実施した。 たまご教室 24回/年 参加者数 592人 びよびよ教室 24回/年 参加者数 524人 	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、保護者や子ども同士が触れ合える内容を復活し実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 育てにくさを感じている保護者に対して、引き続き、個別相談・訪問等にて支援する。フォロー教室について、感染対策に留意しながら交流できる内容で取り組んでいく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.5% 時々感じる人 18.9% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.4% 時々感じる人23.4% ・幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、内容を変更して実施した。 たまご教室 24回/年 参加者数 525人 びよびよ教室 24回/年 参加者数 544人 	前年度の課題等に対する取組状況
		フォロー教室については昨年度より規模を拡大して実施することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 育てにくさを感じている方に対しては、引き続き、個別相談・訪問等にて支援する。フォロー教室に関しては、拡大した規模のまま実施できるようにしていく。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診票から育てにくさを感じている親の割合を集計し把握した。 1歳6か月児健診 (育てにくさ) 感じる人0.7% 時々感じる人19.4% 3歳児健診 (育てにくさ) 感じる人1.1% 時々感じる人21.5% ・幼児健診事後フォロー教室については1歳6か月児健診事後フォロー教室を1教室(2クール分)開催した。新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し、内容を変更して実施した。 たまご教室 12回/年 参加者数205人 (開催期間はR3.10月～R4.3月) 	前年度の課題等に対する取組状況
		取組状況に沿って各種健診や健診事後フォロー教室を実施した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 1歳6か月児健診及び3歳児健診については育てにくさを感じている親が増えているため健診の場で支援していく。新型コロナウイルス感染症に留意しながら、フォロー教室の運営をR3年度よりも拡大して開催していく。

備考 (その他)

5 (4) ①2	子育て講座	担当課	こども家庭課
----------	-------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子育ての悩みがある親に対して、子どもとの関わり方や親子関係を改善します。	子育ての悩みがある親に対して、子どもとの関わり方や親子関係を改善していく講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	未就学児の保護者を対象とした子育て講座を3回実施。父親の参加をチラシ等にて促した。	前年度の課題等に対する取組状況 集約が予想できる会場で実施をした。健康課と連携をして実施をした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 参加者の増加に努めたい。そのためにも曜日の設定等検討をする。
令和4年度	未就学児の保護者を対象とした子育て講座を5回実施(うち1回は、地区社会福祉協議会からの依頼により実施)。	前年度の課題等に対する取組状況 講師役を務める職員が、新たな取り組みとして専門性の高さを求めない子どもへの対応方法の講座を受講。本講座に反映させました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 講座実施の周知について、関係機関と連携して進めます。 引き続き、出向する体制を構築します。
令和3年度	子育て講座を4回実施(うち1回は、地区公民館の家庭教育学級にて実施)。	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、手指消毒や換気等を徹底し実施した。また、みんなのまち情報宅配便にメニュー化し、市民グループが希望する場所へ出向く体制を築いた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

5 (4) ①3	ペアレントトレーニング	担当課	こども家庭課
----------	-------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
発達に障がいを持つ子どもの養育は難しく、親が子育てに自信を失いがちであることから、主に発達障がいのある子の保護者を対象に、8回コースの講座を実施します。また、幼稚園・保育所、小・中学校等の指導者向け講座であるティーチャーズトレーニングも実施します。	より多くの方が受講できるように講座の実施方法を工夫します。また、講座修了者に対して、同じ立場の保護者から悩み等を共感的に聞くことができる「ペアレントメンター」として活動してもらえるようにその育成に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	2グループ開催 参加者数：10人 ティーチャーズトレーニング 2回開催 (各全5回) ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況 きらきらサロンに、より多くの方に参加していただけるよう、開催場所の見直し、改善に努めた。ペアレントメンター養成講座再開に向け、開催時期、方法等、具体的検討をした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ペアレントメンター養成講座再開に向け、講義内容、進め方等について準備していく。きらきらサロン内での、ペアレントメンターの参加方法について考えていく。
令和4年度	2グループ開催 参加者数：10人 ティーチャーズトレーニング 2回開催 (各全5回) ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況 きらきらサロンを5回開催し、ペアレントメンターの活躍の場の確保に努めました。ペアレントメンターフォローアップ講座1回開催。ペアレントメンター養成講座再開に向け、関係機関と今後の進め方について協議しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 きらきらサロンへの参加者を増やし、更なる活躍の場を確保していく。ペアレントメンター養成講座再開に向け、具体的計画を検討していく。
令和3年度	2グループ開催 参加者数：11人 ティーチャーズトレーニング 2回開催 (各全5回) + 補講1回 ペアレントメンター養成講座 フォローアップ講座のみ1回開催	前年度の課題等に対する取組状況 ペアレントメンター養成講座は、メンター人数が充足しているため、きらきらサロンを3回から5回に回数を増やしたが、コロナの影響で3回開催。ペアレントメンター養成講座は、フォローアップ講座のみ開催した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 きらきらサロンの開催回数を増やし、ペアレントメンターの活動の場を確保する。

備考 (その他)	

5 (4) ②1	こども発達支援室の療育相談	担当課	こども家庭課
----------	---------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
子どもの発達に関する相談を電話や面接により対応します。また、心理士、言語聴覚士、作業療法士、小児精神科医による相談、一般相談等、子育てについての不安や悩みの相談を受け付けます。	相談事業を継続します。また、はぐくみサポートファイルなどのツールを活用し、就学に向けての切れ目のない支援に取り組みます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>健診や幼稚園・保育園などを通じて、保護者の困り感等がこども発達支援室の相談に繋がり、相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討しました。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1160件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ129件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ350件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ19件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ725件 一般相談 随時 延べ92件、電話による相談401件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 実施回数計 129回、実施実人数 114人 たんぼぼグループ 18回 8人 個別療育(ことり) 70回 14人 子育て交流ひろば 開催回数 35回、参加人数 延べ122人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いています。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、平塚市にこにこ園を休止し、こども発達支援室「くれよん」の相談体制を拡充することで、保護者等からの相談に迅速に応じていきます。		
令和4年度	<p>健診や幼稚園・保育園などを通じて、保護者の困り感等がこども発達支援室の相談に繋がり、相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討しました。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1746件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ126件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ470件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ30件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1029件 一般相談 随時 延べ123件、電話による相談536件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 実施回数計 188回、実施実人数 130人 たんぼぼグループ 23回 13人 個別療育(ことり) 88回 14人 子育て交流ひろば 開催回数 45回、参加人数 延べ169人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いています。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しを進めていきます。		
令和3年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理相談 週5回実施 延べ1,268件 言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ88件 作業療法士による相談 週4回実施 延べ429件 児童精神科医による相談 月1回実施 延べ29件 ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ844件 一般相談 随時 延べ135件、電話による相談477件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経過観察グループ 実施回数計 153回、実施実人数 94人 たんぼぼグループ 22回 8人 個別療育(ことり) 145回 21人 子育て交流ひろば 開催回数 46回、参加人数 延べ198人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。		

備考(その他)			

5 (4) ②2	発達支援コーディネーターの育成・配置	担当課	保育課 こども家庭課
----------	--------------------	-----	---------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
公立保育所及び認定こども園に、専門的知識を持った「発達支援コーディネーター」を育成・配置し、障がい児や配慮が必要な子ども及び保護者に対するきめ細やかな支援を行います。	研修を継続して行い、発達支援コーディネーターを育成し、公立保育所及び認定こども園に配置します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援コーディネーターの資格に必要となる第1・第2・第3障がい児研修会を開催した。 公立保育所及び認定こども園に29人の発達コーディネーターを配置している。（こども発達支援室くれよんに在籍の3人を含めると、合計で32人。） 	前年度の課題等に対する取組状況 前年度に引き続き、発達支援コーディネーターの資格に必要となる障がい児研修会を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後も発達支援コーディネーターの配置が必要なことから、継続して資格に必要となる障がい児研修会を実施する必要がある。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援コーディネーターの資格に必要となる第1・第2障がい児研修会を開催した。 公立保育所及び認定こども園に30人の発達コーディネーターを配置している。（こども発達支援室くれよんに在籍の3人を含めると、合計で33人。） 	前年度の課題等に対する取組状況 前年度に引き続き、発達支援コーディネーターの資格に必要となる障がい児研修会を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後も発達支援コーディネーターの配置が必要なことから、継続して資格に必要となる障がい児研修会を実施する必要がある。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新たに4人の職員が発達コーディネーターの資格を取得した。 公立保育所及び認定こども園に31人の発達コーディネーターを配置している。（こども発達支援室くれよんに在籍の3人を含めると、合計で34人。） 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

5 (4) ③1	地域療育システム事業	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
障がい児や発達に課題のある子どもを支援し、身近な地域で安心して生活できるように医療・保健・教育・地域・福祉等各機関との連携を図ります。	関係機関との連携を継続・強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>こども発達支援室による各機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児分科会 2回 ・学齢児分科会代表者会 5回 ・医療的ケア児支援分科会 2回 ・移送サービス分科会 1回 ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 84回 (110件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 学校数延べ66回(校)、児童数435人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 9人 ・障がい児保育推進会議 7回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 4回 ・支援報告書提供 184件 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図りました。</p>
		<p>検証結果</p> <p>A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していきます。</p>
令和4年度	<p>こども発達支援室による各機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児分科会 1回 ・学齢児分科会代表者会 5回 ・医療的ケア児支援分科会 1回 ・移送サービス分科会 1回 ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 103回 (124件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 学校数延べ61回(校)、児童数394人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 15人 ・障がい児保育推進会議 4回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 4回 ・支援報告書提供 269件 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図りました。</p>
		<p>検証結果</p> <p>A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していきます。</p>
令和3年度	<p>小学校の巡回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども発達支援室による各機関との主に電話による連携 252回 (378件) ・保育園・幼稚園等巡回訪問による連携 173回 (216件) ・相談ケースの就学移行支援として、小学校への巡回訪問による連携 感染拡大防止の観点から授業参観時間を短縮したため、2~3年生の継続支援対象児童の参観は実施しなかった。 学校数延べ67回(校)、児童数472人(実人数) ・幼稚園・保育所職員等の実習受け入れ 9人 ・障がい児の機能訓練に関する関係機関連絡会 0回 ・障がい児保育推進会議 7回 ・子ども教育相談センター主催の平塚市相談支援チームの情報交換会 0回 ・公立幼稚園障がい児受け入れ会議 3回 ・支援報告書提供 223件 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>一人一人の子どもに対する支援方法について、各関係機関と意見交換を重ね、地域での療育支援の連携(システム化)を図った。</p>
		<p>検証結果</p> <p>A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開</p> <p>①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>適切な支援の継続に向けて、各関係機関とのよりよい連携方法を考え構築していく。</p>

備考(その他)

5 (4) ③2	福祉サービス費の支給	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
障がい児等に対する各種福祉サービス費を支給し、障がい児等の発達支援及び保護者の介護負担軽減を図ります。	サービスについての情報提供をし、引き続き適切に支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数960人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…14 放課後等デイサービス…35、保育所等訪問支援…3 障害児相談支援…19 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…27、短期入所…10、移動支援事業…8 日中一時支援…11、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。 児童発達支援、放課後等デイサービスの支給基準を見直し、子育てしやすい環境の整備を推進しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数895人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…13 放課後等デイサービス…34、保育所等訪問支援…3 障害児相談支援…19 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…26、短期入所…10、移動支援事業…7 日中一時支援…10、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児に対する児童福祉法及び障害者総合支援法による各種サービス費の支給：受給者数804人 児童福祉法による障害児通所支援等の市内事業所数 児童発達支援センター…1、児童発達支援…12、 放課後等デイサービス…32、保育所等訪問支援…2 障害児相談支援…20 障害者総合支援法による障がい児を対象とした障害福祉サービスに係る市内事業所数 居宅介護…25、短期入所…7、移動支援事業…11 日中一時支援…9、障がい児タイムケア事業…0 	前年度の課題等に対する取組状況 民間事業所と連携し、適切にサービスを支給しています。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		増加する支給量へ対応しながら支援内容の適正化をはかっていきます。

備考 (その他)

5 (4) ③3	障がい児保育	担当課	保育課 こども家庭課 学務課
----------	--------	-----	----------------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
保育が必要で集団保育が可能な障がい児を受け入れて保育を行います。また集団保育による療育が必要な子どもを対象に、健常児との関わりの中で発達促進を図るため、統合保育を行うとともに、療育相談等で、フォローを必要とする子どもを対象に、健常児との集団生活を体験できる場を提供します。〔対象：就学前子ども〕	<ul style="list-style-type: none"> 障がいを持つ乳幼児を受け入れ、保育を実施します。 障がいのあるなしに関わらず、全ての園児が幼稚園、保育所及び認定こども園において集団で生活し、ともに活動できるように支援します。 保育士が障がい児保育講習会や研修会へ積極的に参加し、必要な知識の習得に努め、受入体制の強化を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 障がい児の保育を実施 公立 28人 (延べ282人) 私立 61人 (延べ612人) 統合保育 市内保育所では、以前として保育所等の受入れ人数に限りがあり、かつ保育を必要とする人を優先的に受け入れる必要があることから、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。 体験・交流保育事業 市内公立保育園において、体験保育で4件の受入を行った。 障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で5人を受け入れた。 	前年度の課題等に対する取組状況
		障がい児の保育所への受入れについては各園が積極的に受入れを進めた結果、実施人数が増加した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 障がい児の保育所への受入れについては積極的に受け入れを進めていくが、保育士の手厚い配置が必要となるため、保育所等に対し保育士の雇用経費の補助の拡大を図る。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 障がい児の保育を実施 公立 22人 (延べ255人) 私立 46人 (延べ463人) 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っており、かつ保育を必要とする人を優先的に受け入れる必要があるため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。 体験・交流保育事業 市内公立保育園において、体験保育で2件の受入を行った。 障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で7人を受け入れた。 	前年度の課題等に対する取組状況
		体験・交流事業について、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うため、関係部署間の連携を密にするとともに、適切な介助員等の配置を行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 障がい児の保育所への受入れについては積極的に受け入れを進めていくが、保育士の手厚い配置が必要となるため、保育士不足の課題が残る。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児保育 【保育課】障がい児の保育を実施 公立 20人 (延べ216人) 私立 40人 (延べ409人) 保育士の障害児保育講習会・研修会への参加 【こども家庭課】養育の難しいケースについて保育園より相談を受け情報共有をし連携、関係機関に繋ぐ。 統合保育 市内保育所では、定員を大幅に超えて児童の受入れを行っているため、さらなる入所枠を必要とする「統合保育」の実施は非常に厳しい状況となっている。今後の入所児童数の推移を見ながら事業実施方法の検討をしていきたい。なお、令和元年度は、保育を必要とする集団保育が可能な障がい児56人 (延べ501人) を受け入れ、健常児との保育を行っている。 体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の影響から、限られた受入れ態勢の中で、乳幼児健診や育児相談等においてフォローが必要とされる児童を受け入れ、体験保育を実施した。 【こども家庭課】体験保育2件、集団交流保育0件 【学務課】障がいのある幼児の受入枠として公立幼稚園2園で7人を受け入れた。 	前年度の課題等に対する取組状況
		【保育課】体験・交流事業について、障がいのある幼児の受け入れ及び保育を行うための適切な介助員等の配置と施設の確保が引き続き課題となった。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 <ul style="list-style-type: none"> 体験・交流保育事業 【保育課】新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束することで、より積極的な受け入れ態勢が整うと考えます。

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画の5 (4) ③4「統合保育」、5 (4) ③5「体験・交流保育」を統合した。

5 (4) ③4	就学相談・指導事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-----------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
特別な教育的配慮が必要と思われる幼児・児童・生徒に適切な就学ができるように相談や指導を行います。	平塚市教育支援委員会において、個々の教育的ニーズに応じた適正な就学相談・指導を行うとともに、その後の継続的な支援の在り方について検討します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…165件 新就学相談件数…129件（審査80件 相談のみ49件） 学校からの審査依頼件数…85件 事務局判断…13件 ・通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より26件 新就学24件 まなびの教室…学校より21件 	前年度の課題等に対する取組状況				
		審査件数が年々増加する中、新型コロナウイルス感染症への対応も生かし、教育支援委員会の開催方法について引き続き検討しながら実施した。個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…158件 新就学相談件数…124件（審査67件 相談のみ57件） 学校からの審査依頼件数…97件 事務局判断…11件 通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より31件 新就学15件 まなびの教室…学校より20件 新就学0件	前年度の課題等に対する取組状況				
		今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの会を開催することができなかったが、開催方法等を工夫したことで、個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができ、増加する件数にも適正に対応することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	平塚市教育支援委員会 委員会…5回 医学的検診…4回 審査数…145件 新就学相談件数…115件（審査68件 相談のみ47件） 学校からの審査依頼件数…77件 事務局判断…17件 通級審査依頼件数 ことばの教室…学校より14件 新就学22件 まなびの教室…学校より20件 新就学1件	前年度の課題等に対する取組状況				
		今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの会を開催することができなかったが、開催方法等を工夫したことで、個々の教育的ニーズに応じた就学相談・指導を行うことができ、増加する件数にも適正に対応することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
来年度も引き続き開催方法等を工夫し、適正な就学相談・指導が行えるよう努める。						

備考（その他）

5 (5) ①1	ハイリスク者への支援の充実	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
児童虐待防止のため、早期から必要な支援を提供できるように関係機関と連携します。	<ul style="list-style-type: none"> 「ひらつかネウボラールームはぐくみ」において、妊娠期からハイリスク者への対応を行います。 家庭訪問、健診等において機会を捉えた対応を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、第1子には管理栄養士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数41件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：155件 通告：13件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も他機関と連携を図りながら継続していく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、第1子には管理栄養士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数38件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：165件 通告：23件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 68件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：240件 通告：20件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく

備考 (その他)

5 (5) ②1	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
----------	------------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (1) 3事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議86回 	前年度の課題等に対する取組状況 会議の中で事例検討を実施。虐待対応の共通認識を増やした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童虐待防止等ネットワークの理解を高めるための会議内容を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回（うち3回はオンラインを併用）、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回（書面開催）、実務者会議4回（うち書面開催3回）、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

6 (1) 1	子ども学習支援委託事業	担当課	生活福祉課
---------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 1 (3) 9事業の再掲 > 将来の自立に向けた高等学校進学のため、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に学習の支援をします。	< 見直し > 対象を生活保護世帯及び生活困窮世帯の高校生まで拡大し、学習の支援をします。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	参加実績 中学1年生 9名 中学2年生 6名 中学3年生 11名 高校1年生 4名 高校2年生 5名 高校3年生 2名 実施場所 2か所 開催日数 189日	前年度の課題等に対する取組状況 PRを行ったにもかかわらず、思ったほどの参加者人員が確保できなかった。
		検証結果 B: おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		参加者人員の確保
令和4年度	参加実績 中学1年生 10名 中学2年生 16名 中学3年生 12名 高校1年生 3名 高校2年生 1名 高校3年生 1名 実施場所 2か所 開催日数 166日	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組
		学習支援の範囲を本格的に高校生までに拡大するにあたって、参加者人員の確保。
令和3年度	参加実績 中学1年生 13名 中学2年生 12名 中学3年生 20名 実施場所 1か所 開催日数 83日	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルスの影響もあり、学習指導員が不足した場合を含めタブレットを導入して事業を実施した。
		検証結果 A: 成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		新型コロナウイルスの感染拡大が起きた時に、タブレットを活用した自宅学習の実施。

備考 (その他)

6 (1) 2	放課後等子どもの居場所づくり推進事業	担当課	社会教育課
---------	--------------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 7事業の再掲 > 放課後や土曜日等に、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、子どもたちが学習や文化活動、地域住民との交流活動などを継続的に体験できる取組を推進します。</p>	<p>放課後や土曜日等に、子どもたちが文化・スポーツ、自然体験など様々な活動をする機会を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 <実施内容> 絵手紙、コカリナ、南京玉すだれ ※夏休み期間(8/20)には夕暮れコンサートを開催 港地区「港放課後子ども教室」 <実施内容> 自主学習、バドミントン、ストラックアウト、輪投げ、体育遊び(跳び箱、肋木、フラフープ、ボール投げ等) ニュースポーツ体験(ポッチャ、ラダーゲッター等) ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 <実施内容> 茶の湯、ジュニアバンド、和太鼓、陸上、卓球、剣道、野菜作り、フラワーアレンジメント、お琴、浴衣着付け教室、ドッジボール、横内ふるさとカルタ大会、バナナの木 <p>※各地区ともコロナ禍以前の活動にほぼ戻っている</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>市内の子どもの居場所について、把握している官民の施設や取組みの一覧を作成し、関係部署や関係団体と情報を共有している。また、他地域への拡大に向けて子どもの居場所づくりに取り組む団体の調査、視察を行った。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 <実施内容> 絵手紙、コカリナ、南京玉すだれ ※夏休み期間(8/21)には3年ぶりに夕暮れコンサートを開催 港地区「港放課後子ども教室」 <実施内容> 自主学習、バドミントン、ストラックアウト、輪投げ、体育遊び(跳び箱、肋木、フラフープ、ボール投げ等) ニュースポーツ体験(ポッチャ、ラダーゲッター等) ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 <実施内容> 茶の湯、ジュニアバンド、和太鼓、陸上、卓球、剣道、野菜作り、フラワーアレンジメント、お琴、浴衣着付け教室、ドッジボール、横内ふるさとカルタ大会、バナナの木 <p>※各地区ともコロナ禍以前の活動に近づいている</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>手指消毒やマスクの着用など、基本的な感染防止対策の励行が定着し、コロナ禍以前の活動に戻していく試みが増えている。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室 八幡地区「やわた子ども村」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 港地区「港放課後子ども教室」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模・期間を縮小して実施 ・地域学校協働活動推進事業 横内地区「横内マイタウンスクール」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、規模(期間)を縮小して実施 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症リスクの中で、安全な事業の実施に重点を置き、事業の継続を最優先とした。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
地域で受け皿となる組織の確立や活動を牽引する指導者の確保等の課題があり、他地域への拡大は難しい状況だが、事業の拡充・充実に向けて、庁内関係課と連携し、地域や学校に働きかけていく必要がある。また「子どもの居場所づくり」という総合的な視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。		

備考(その他)

6 (1) 3	新・放課後子ども総合プランの推進	担当課	青少年課 教育総務課 社会教育課
---------	------------------	-----	------------------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 8事業の再掲 > 「新・放課後子ども総合プラン」の趣旨に基づき、子どもたちが放課後等を安全、安心に過ごし、多様な体験、活動を行うことができるように、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的又は連携した取組を推進します。</p>	<p><見直し> ・放課後子ども教室の拡充に向けて、実施を希望する地域や学校の把握に努めるとともに、希望等に応じ相談や調整を進めます。 ・小学校の余裕教室等の利用状況を定期的に調査し、放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室への活用の可能性について、庁内で連携して検討します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和6年3月26日に開催した。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>既存地区の活動活性化を図るとともに、実施地区の拡大に向けて子どもの居場所づくりに取り組む団体の調査、視察を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和6年度は「新・放課後子ども総合プラン」に代わる「放課後児童対策パッケージ」に基づき、引き続き「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組推進や学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		令和6年度は「新・放課後子ども総合プラン」に代わる「放課後児童対策パッケージ」に基づき、引き続き「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組推進や学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
令和6年度は「新・放課後子ども総合プラン」に代わる「放課後児童対策パッケージ」に基づき、引き続き「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組推進や学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。										
令和4年度	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和5年3月23日に開催した。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を優先しながら、既存の2地区における活動の継続及び活性化を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。また「子どもの居場所づくり」という視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。また「子どもの居場所づくり」という視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。また「子どもの居場所づくり」という視点から地域の様々な活動を捉え、庁内や関係団体との情報共有を進めていく必要がある。										
令和3年度	<p>「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との一体的又は連携した取組に向けて、関係三課が協議した。 また、行政関係者及び関係団体の代表で組織する平塚市放課後等子どもの居場所づくり運営委員会を令和4年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催とした。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を優先したため、教室実施地区の拡大や、学校の余裕教室の調整ができなかった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体的又は連携した取組を推進するため、放課後子ども教室実施地区の拡大を働きかけるとともに学校の余裕教室活用の調整等を行う必要がある。										

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）9「放課後子ども総合プランの推進」から事業名称を変更した。

6 (1) 4	生活困窮世帯の子ども支援事業	担当課	生活福祉課
---------	----------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (3) 6事業の再掲 > 高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行います。	関係機関と連携し保護者と生徒自身の両者に対して継続した支援を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <p>1 日常生活支援 47件 2 養育支援 7件 3 教育支援 809件 4 就業支援 25件 5 その他支援 94件 6 情報提供、収集、状況把握 582件 7 その他（関係形成、初回顔合わせ訪問） 13件 8 その他（関連業務） 11件</p>	前年度の課題等に対する取組状況 中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。
令和4年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <p>1 日常生活支援 11件 2 養育支援 6件 3 教育支援 725件 4 就業支援 45件 5 その他支援 136件 6 情報提供、収集、状況把握 501件 7 その他（関係形成、初回顔合わせ訪問） 19件 8 その他（関連業務） 13件</p>	前年度の課題等に対する取組状況 中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。
令和3年度	<p>生活保護世帯の中高生を中心に高校進学や進学後の中退防止に取り組み、高校卒業後の就職や大学等への進学支援を行っています。</p> <p>1 日常生活支援 4件 2 養育支援 93件 3 教育支援 717件 4 就業支援 9件 5 その他支援 84件 6 情報提供、収集、状況把握 182件 7 その他（関係形成、初回顔合わせ訪問） 14件 8 その他（関連業務） 9件</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		中学入学前からの支援が必要な世帯を把握し、関係機関と連携して保護者と生徒自身に寄り添った支援を実施する。

備考（その他）

6 (1) 5	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (3) 8事業の再掲 > 子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	< 見直し > 子ども食堂や学習支援団体等との情報共有を進め、連携を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク協議会に参画 	前年度の課題等に対する取組状況
		ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 こども食堂や学習支援団体との情報共有をすすめる、地域資源としての活用を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ・ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会及び同部会に参画し、ネットワークの構築に携わりました。 	前年度の課題等に対する取組状況
		市民の方に子ども食堂等をより知ってもらうため有効な周知方法を模索しました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載予定。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページにより、こども食堂及び学習支援活動団体を周知。 ・こども食堂及び学習支援活動団体に国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。また、子ども食堂との打合せに参加し、情報共有を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続

備考（その他）

6 (1) 6	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (5) 1事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。</p>	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：724件 (新規ケース) 相談回数：1,199件 	前年度の課題等に対する取組状況 母子父子相談を実施していることはもちろん、令和4年度に開始した養育費の確保事業についても、市公式LINEや児童扶養手当の現況届の案内に含むチラシ等で広報を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 離婚前相談においては、調定や裁判になると心身的負担が大きくなるため、相談窓口では裁判等に関する相談だけでなく、本人のそれ以外の悩みごとを聞き取るなどし、心のケアができるような窓口も案内するように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件 (新規ケース) 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況 子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件 (新規ケース) 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (1) 7	児童生徒就学援助事業	担当課	学務課
---------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 5事業の再掲 > 経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。	引き続き、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生51,060円、中学年生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生54,060円、小学6年生63,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同様、適正に援助費を執行できた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今年度と同規模で実施する。
令和4年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生51,060円、中学年生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生54,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況 前年度と同様、適正に援助費を執行できた。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今年度と同規模で実施する。
令和3年度	経済的な理由により就学が困難と認めた児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、給食費などを援助している。 【学用品費】小学生11,630円、中学生22,730円(4月1日認定者)、 【通学用品費】2,270円(4月1日認定者) 【新入学用品費】小学生51,060円、中学生60,000円、 【入学準備金】次年度小学1年生51,060円、小学6年生60,000円 【校外活動費】(日帰り)小学生1,600円、中学生2,310円(宿泊)小学生3,690円以内、中学生6,210円以内 【修学旅行費】実費(60,910円以内) 【通学費】小学生40,020円以内、中学生80,880円以内、 【体育実技用具費】柔道7,650円以内、剣道52,900円以内 【給食費】徴収額 【卒業時諸費用代】中学3年生8,000円 【医療費】現物給付 【眼鏡購入費】現物給付(11,000円以内)	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今年度と同規模で実施する。

備考 (その他)

6 (1) 8	特別支援教育就学奨励援助事業	担当課	学務課
---------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 6事業の再掲> 特別支援教育を円滑に受けることができるようにするため、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。</p>	<p>引き続き、特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生41,860円、中学2～3年生11,370円</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額: 小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額: 小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額: 28,860円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況								
		前年度と同様、適正に執行できた。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今年度と同規模で実施する。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		今年度と同規模で実施する。	
		検証結果	A: 成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
今年度と同規模で実施する。										
令和4年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 実費の半額 (上限額: 小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額: 小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額: 小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額: 28,860円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況								
		前年度と同様、適正に執行できた。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】について、実費の取扱いから定額の取扱いに変更するため検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】について、実費の取扱いから定額の取扱いに変更するため検討する。	
		検証結果	A: 成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】について、実費の取扱いから定額の取扱いに変更するため検討する。										
令和3年度	<p>特別支援学級に就学する児童・生徒等の保護者に対して、就学に要する費用の一部を助成している。</p> <p>【学用品・通学用品費 (小学1年生と中学1年生は新入学用品費を含む)】 実費の半額 (上限額: 小学1年生31,375円、小学2～6年生5,820円、中学1年生40,360円、中学2～3年生11,370円)</p> <p>【校外活動費】 (日帰り) 実費の半額 (上限額: 小学生2,500円、中学生3,500円) (宿泊) 実費の半額 (上限額: 小学生4,000円、中学生3,500円)</p> <p>【修学旅行費】 実費の半額 (上限額: 28,860円) 【通学費】 実費 【交流及び共同学習交通費】 実費 【給食費】 学校徴収額の2分の1</p>	前年度の課題等に対する取組状況								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
		検証結果	A: 成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考 (その他)

6 (1) 9	高等学校等修学支援事業	担当課	学務課
---------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 7事業の再掲 > 高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	< 見直し > 引き続き、勉学に意欲的で修学することに経済的な支援が必要な者に対し、支援金を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		新たな寄付があったため令和6年度支援生の募集数を増加させた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	②拡大して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		応募資格要件に関する見直しを行い、令和5年度の募集時から、学業成績に関する要件を撤廃する一方で保護者の市民税所得割額の基準額を引き下げた。支援対象者の募集数について徐々に減らしていくことは変わらないが、新たな寄付があったため、減少の速度は緩まることになる。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>平塚市に居住し、住民登録がされており、平塚市立中学校を卒業し、本年高等学校等に進学するものを対象に、修学支援金を給付している。支援金は給付のため、返還は不要である。 応募資格要件は、上記の他に、学業成績が一定の基準以上であり、保護者の市民税所得割額が一定額以下等の点などがある。</p> <p>支援生になると、3年間（応募資格要件から外れない限り）1ヶ月につき最大7,000円の金額が支給される。</p> <p>【修学支援金学】月額最大7,000円 【支給頻度】4ヶ月分を1度に。年3回。 【支払方法】支援生本人の口座へ振り込み。</p> <p>毎年度末に成績証明書と実績報告書を、3年生は卒業証明書の写しを合わせて提出を依頼する。</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		寄付金の残額が減ってきているため、支援対象者の募集数を今後徐々に減らしていく方向とする。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>③縮小して継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	③縮小して継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
今後の事業展開	③縮小して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
備考 (その他)						

6 (1) 10	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
----------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 8事業の再掲 > 対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等 就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	教育扶助 小学生 101人 中学生 69人 扶助額 15,121,462円 生業扶助 高校生 71人 扶助額 9,421,198円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和4年度	教育扶助 小学生 104人 中学生 65人 扶助額 15,255,060円 生業扶助 高校生 79人 扶助額 11,521,891円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和3年度	教育扶助 小学生 111人 中学生 69人 扶助額 15,725,806円 生業扶助 高校生 68人 扶助額 8,798,107円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (1) 11	放課後自主学習教室事業	担当課	教育指導課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 3 (1) 1 3 事業の再掲 > 児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、放課後に小学校4～6年生を対象に学習支援をします。	<見直し> 実施校における学習支援の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校6校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保に向けて募集対象を拡大したことで、必要数の学習支援員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 実施校における学習支援の充実を図るため、児童の取組の好事例や、学習支援員による指導内容の共有を図る。
令和4年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校6校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 今年度に引き続き、実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの対象を拡大し、募集に努める。
令和3年度	児童の学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を目指して、市内小学校4校において放課後自主学習教室を開催し、同教室開催小学校在籍の4～6年生を対象に学習支援をした。	前年度の課題等に対する取組状況 学習支援員の確保のため、市内退職教員の情報収集を図るとともに、早期に直接依頼をすることで、定員を確保することができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 実施校の増加にあたり、学習支援員を確保するため学習支援ボランティアの募集に努める。

備考（その他）

6 (1) 12	スクールカウンセラー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	----------------	-----	-------------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 3 (2) 2事業の再掲 > 児童・生徒の様々な課題を解決するために、本人や保護者のカウンセリングと教職員を支援するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣します。</p>	<p>スクールカウンセラーを増員し、全小・中学校に派遣します。その後は勤務日の増加を目指します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>13人（週3日勤務）による市内小学校28校、中学校15校での相談活動内容 ・教室巡回2066回、教室等でのエクササイズ0回、外部関係者・機関との情報交換95回、教職員向け研修会9回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席101回、校内支援会議への参加177回、家庭訪問23回、その他10回 計2481回 ・来室相談延べ人数：小学生2551人、中学生834人、小学生保護者1120人、中学生保護者286人、小学校教員2767人、中学校教員1026人 計8584人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2076人、いじめ44人、暴力29人、虐待84人、友人・異性関係968人、貧困4人、ヤングケアラー32人、非行30人、家庭環境559人、教職員との関係157人、心身の健康・保健1516人、学業進路306人、発達2122人、その他657人 計8584人 ・電話相談延べ人数：小学生39人、中学生4人、小学生保護者234人、中学生保護者102人、小学校教員32人、中学校教員1人 計412人 ・電話相談内容延べ人数：不登校152人、いじめ6人、暴力1人、虐待1人、友人・異性関係41人、貧困0人、ヤングケアラー0人、非行0人、家庭環境13人、教職員との関係10人、心身の健康・保健85人、学業進路14人、発達78人、その他11人 計412人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和4年度	<p>13人（週3日勤務）による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1936回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換158回、教職員向け研修会5回、保護者・地域向け講演会1回、児童・生徒担当者会等出席124回、校内支援会議への参加205回、家庭訪問28回、その他5回 計2466回 ・来室相談延べ人数：小学生1893人、中学生545人、小学生保護者1365人、中学生保護者178人、小学校教員2905人、中学校教員813人 計7699人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2307人、いじめ65人、暴力41人、虐待88人、友人・異性関係806人、貧困3人、非行18人、家庭環境725人、教職員との関係131人、心身の健康・保健840人、学業進路361人、発達1496人、その他818人 計7699人 ・電話相談延べ人数：小学生48人、中学生26人、小学生保護者226人、中学生保護者138人、小学校教員36人、中学校教員11人 計485人 ・電話相談内容延べ人数：不登校246人、いじめ13人、暴力0人、虐待0人、友人・異性関係23人、貧困0人、非行0人、家庭環境23人、教職員との関係11人、心身の健康・保健50人、学業進路21人、発達72人、その他26人 計485人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員への支援を行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>
令和3年度	<p>13人（週3日勤務）による市内小学校28校、中学校13校での相談活動内容 ・教室巡回1889回、教室等でのエクササイズ4回、外部関係者・機関との情報交換148回、教職員向け研修会6回、保護者・地域向け講演会0回、児童・生徒担当者会等出席94回、校内支援会議への参加302回、家庭訪問44回、その他9回 計2496回 ・来室相談延べ人数：小学生2017人、中学生901人、小学生保護者1455人、中学生保護者313人、小学校教員3103人、中学校教員1266人 計9055人 ・来室相談内容延べ人数：不登校2437人、いじめ96人、暴力227人、虐待254人、友人・異性関係797人、貧困0人、非行7人、家庭環境879人、教職員との関係129人、心身の健康・保健1134人、学業進路559人、発達1598人、その他938人 計9055人 ・電話相談延べ人数：小学生25人、中学生24人、小学生保護者340人、中学生保護者153人、小学校教員2人、中学校教員44人 計588人 ・電話相談内容延べ人数：不登校185人、いじめ2人、暴力7人、虐待2人、友人・異性関係36人、貧困0人、非行2人、家庭環境39人、教職員との関係21人、心身の健康・保健73人、学業進路33人、発達162人、その他26人 計588人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ児童生徒や保護者へのカウンセリング及び教職員の支援を行うことができた。また、コロナ禍における心のケアに関する情報提供も行うことができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組 今後も各小・中学校にスクールカウンセラーを派遣し、新型コロナウイルスの状況に注視しつつ、児童・生徒の様々な課題を解決するためカウンセリングや助言・援助を行う。</p>

備考（その他）

6 (1) 13	スクールソーシャルワーカー派遣事業	担当課	子ども教育相談センター
----------	-------------------	-----	-------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 3 (2) 3事業の再掲 > 社会福祉に関する専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣します。</p>	<p>< 見直し > スクールソーシャルワーカーを各小・中学校の要請に応じて派遣し、不登校や問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	3人 (週5日勤務1人、週3日勤務2人) による相談活動内容 小学校：相談件数 119件、延べ訪問回数 68回、ケース会議への参加 18回、関係機関との連携 (含電話) 935回 中学校：相談件数 64件、延べ訪問回数 70回、ケース会議への参加 21回、関係機関との連携 (含電話) 662回	前年度の課題等に対する取組状況				
		各種研修会等においてスクールソーシャルワーカーの業務について継続的に周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、関係機関と連携しながら適切に対応することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、不登校及び問題行動等の未然防止や早期解決、継続的な支援に向けて対応を図る。						
令和4年度	3人 (週5日勤務1人、週3日勤務2人) による相談活動内容 小学校：相談件数 128件、延べ訪問回数 132回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携 (含電話) 1001回 中学校：相談件数 66件、延べ訪問回数 65回、ケース会議への参加 23回、関係機関との連携 (含電話) 629回	前年度の課題等に対する取組状況				
		各種研修会等においてスクールソーシャルワーカーの業務について継続的に周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、関係機関と連携しながら適切に対応することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、不登校及び問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。						
令和3年度	3人 (週5日勤務1人、週3日勤務2人) による相談活動内容 小学校：相談件数 88件、延べ訪問回数 74回、ケース会議への参加 37回、関係機関との連携 (含電話) 666回 中学校：相談件数 86件、延べ訪問回数 57回、ケース会議への参加 18回、関係機関との連携 (含電話) 706回	前年度の課題等に対する取組状況				
		各種研修会等におけるスクールソーシャルワーカーの業務について周知した結果、学校からの要請が増加してきた。また、受理したケースについては所内で情報共有や検討を行い、適切に対応することができた。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
新型コロナウイルス感染症の影響による家庭環境の変化が考えられるため、各学校へスクールソーシャルワーカーの業務についてさらに周知し、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて対応を図る。						

備考 (その他)

6 (2) 1	子どものための相談機能の充実	担当課	青少年課
---------	----------------	-----	------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 1 (1) 1事業の再掲 > 子ども自身や保護者が相談できる電話・来室相談等、子どものための相談体制を充実します。	子ども自身や保護者の悩みを早期に解決するために相談機能の充実を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価						
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 162件、ヤングテレホン相談 (火～土) 124件、ヤングメール相談48件 相談室の啓発チラシを4月、8月、9月、1月の計4回 (各回28,490部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計28,850部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 X (旧ツイッター) により週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、2月)、日本更生保護協会主催不登校についての講演会 (オンライン配信・8月)、児童思春期精神科セミナー (10月)、ひきこもりを考える家族セミナー (11月)、子ども・若者を理解するための講演会 (11月)、ひきこもり講演会 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>子どもや保護者の抱える悩みが複雑・多様化しており、様々な相談に対応するために相談員の各種研修受講による資質向上を図るなど、相談機能の充実に取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 180件、ヤングテレホン相談 (火～土) 116件、ヤングメール相談4件 相談室の啓発チラシを4月、9月、1月の3回 (各回28,750部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計29,110部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、1月)、ひきこもりを考える家族セミナー (9月)、児童思春期精神科セミナー (10月)、神奈川県社会福祉協議会母子福祉研修会 (1月)、全国青少年相談員研究集会 (オンライン配信・1月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。様々な相談に対応するために相談員の資質を高めるなど、相談機能をより充実する必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 青少年相談 (火～土) 102件、ヤングテレホン相談 (火～土) 124件、ヤングメール相談15件、LINE相談 (試行実施) 33件 相談室の啓発チラシを4月、9月、2月の3回 (各回30,000部)、市内小・中・高校・中等教育学校、大磯高校、二宮高校の全児童・生徒及び教職員宛てと各公民館・図書館へ配布した。 相談室の啓発カードを5月に、上記の学校や施設に加え、平塚市近隣の高校へ合計31,200部送付した。 LINE相談の啓発カードを8月に、市内小学校5、6年生児童並びに市内中学校、市内・大磯・二宮の高等学校及び中等教育学校在学の生徒宛てに合計21,120部送付した。 不登校・ひきこもり対策として、NPO法人が実施する不登校・ひきこもり改善事業を名義後援し、支援した。 ツイッターにより週1回程度、青少年相談室に関する情報を発信した。 神奈川県主催相談員研修 (6月、12月、2月)、全国青少年相談員研究集会 (オンライン配信・1月)、青少年行政関係職員等研修 (2月) に相談員が参加し、資質向上を図った。 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>現在の子どもたちを取りまく社会環境は変化し、子どもや保護者の抱える悩みも複雑・多様化している。青少年が相談しやすい環境を整備するため、LINE相談を試行実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table> <p>子どものためのセーフティネットの一つとして機能するため、現在の相談体制を維持しつつ、相談機能の充実を図る。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組	
検証結果	A：成果があがった							
今後の事業展開	①現状の規模で継続							
翌年度に向けた課題と取組								

備考 (その他)

6 (2) 2	保護を必要とする子どもへの対策	担当課	こども家庭課
---------	-----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 2事業の再掲 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども総合相談担当と児童相談所との連携を密にし、保護を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・里親制度の啓発・普及に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所や関係機関と連携し、支援を必要とする子どもへの早期対応を図ります。 ・すべての子どもの権利を擁護するために子ども家庭総合支援拠点の設置に取り組みます。 ・里親制度紹介講座及び里親相談 (児童相談所主催) を実施し、制度の啓発・普及に努めます。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図りました。 ・児童虐待防止普及活動の「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が10月に開催され、平塚児童相談所と連携し、市役所を中継点とした。その際に、里親制度啓発のため、のぼり旗の設置及び啓発用物品を配布しました。 ・SNSにて「車内放置」についての防止啓発を実施しました。 	前年度の課題等に対する取組状況 健康課と連携し、令和6年度にこども家庭センターの開始を予定しています。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		ネットワークでの共通認識を増やし、連携強化を目指します。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図りました。 ・児童虐待防止普及活動の「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が10月に開催され、市役所を中継点とした。その際に、里親制度啓発のため、のぼり旗の設置及び啓発用物品を配布しました。 	前年度の課題等に対する取組状況 ネットワーク内での共通認識を増やし、連携強化に取り組みました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		保健センター等との連携強化を目指します。(子ども家庭センターの設置)
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会の調整機関となり、関係機関との連携を密にし保護を必要とする子どもへの対策の充実を図った。 ・里親制度について、関係機関へのチラシを配布し、里親制度の啓発・普及に努めた。なお、8月に平塚児童相談所主催、本市共催で開催予定であった里親講座は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、中止している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 3	児童虐待防止等ネットワークの充実	担当課	こども家庭課
---------	------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 3事業の再掲 > 児童虐待は、こども総合相談担当を中心に相談を受け、児童の処遇対応をしています。必要に応じて援助活動チームを編成し、関係機関と連携を取り対応します。</p>	<p>平塚市児童虐待防止等ネットワークの充実・強化を図り、子育ての支援、虐待等の早期発見や未然防止及び対策を進めます。また、実務者会議を定期的に、個別ケース検討会議等を随時開催します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議86回 	前年度の課題等に対する取組状況 会議の中で事例検討を実施。虐待対応の共通認識を増やした。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		児童虐待防止等ネットワークの理解を高めるための会議内容を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図りました。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回、実務者会議4回(うち3回はオンラインを併用)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議80回 	前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、実務者会議ではオンラインを併用したハイブリッド方式で実施しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		今後児童虐待防止等ネットワーク協議会の周知・理解をより深めるため、会議の内容、回数を検討します。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会活動により、児童虐待防止・解決のためのネットワークの充実を図った。 平塚市児童虐待防止等ネットワーク協議会 代表者会議1回(書面開催)、実務者会議4回(うち書面開催3回)、援助方針会議4回、特定妊婦等支援会議3回、個別ケース検討会議74回 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 4	養育支援訪問事業	担当課	健康課
---------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (1) 4事業の再掲 > 保護者の疾病等の理由により、児童を養育することに支障が生じた家庭に対して、安定した児童の養育が可能となるように訪問による支援を実施します。</p>	<p>適切な時期に支援が導入できるように関係機関と連携を図り、継続して取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	件数：1件 実施内容： ①訪問3回（保健師訪問1回） ②電話相談4回（保健師電話2回） ③家事援助（ヘルパー）：1回 ④所内面接、同行受診等：2回	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。										
令和4年度	件数：5件 実施内容： ①訪問38回（保健師訪問23回） ②電話相談79回（保健師電話57回） ③家事援助（ヘルパー）：30回 計 30.5時間 ④所内面接、同行受診等：22回（保健師11回）	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
次年度も必要な家庭に対して本事業につなげていく。										
令和3年度	件数：5件 実施内容： ①訪問33回（保健師訪問16回） ②電話相談39回（保健師電話24回） ③家事援助（ヘルパー）：69回 計 72時間 ④所内面接、同行受診等：6回（保健師5回）	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>適切な時期に支援が導入できるよう調整をした。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
次年度以降も必要な家庭に対して本事業へつなげていきます。										

備考 (その他)

6 (2) 5	育児講座	担当課	保育課
---------	------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (3) 1事業の再掲 > 子育て家庭の不安感、負担感を軽減できるように、乳幼児の健全な心身の発達、親・家庭の果たす役割及び親と子の関係等について学び、親の育児力の向上を図るため、育児講座を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の育児不安の解消や育児力の向上を目的とした各種講座の開催や保護者との懇談会を実施します。 ・ 主任児童委員等の意見を伺い、地域のニーズに合う講座を開催します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	各園で育児講座を開催 開催数 15 参加人数 80人	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> 開催方法を検討し、子育て家庭の不安感、負担感を軽減することを目的に育児講座を開催した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">多くの方に参加してもらうため、周知方法を検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		多くの方に参加してもらうため、周知方法を検討する必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
多くの方に参加してもらうため、周知方法を検討する必要がある。										
令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> コロナ禍でも育児講座を開催できるように検討を行ったが、保育園を運営しながら育児講座を実施するスペースを確保することができなかった。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。	
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
開催に向けて開催方法等を検討する必要がある。										
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C：十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考（その他）

6 (2) 6	子育て支援地域派遣事業	担当課	保育課 健康課
---------	-------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 4事業の再掲 > 地域の子育て支援活動等に保育士や保健師等を派遣し、育児に関する相談・支援を行います。</p>	<p>子育てサークルなどでの育児情報の提供や育児相談、遊びの紹介等、子育て支援に継続して取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価		
令和5年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル（コミュニティ）：5回 子育て支援活動（子育て広場）：133回 ・R5から地域医療福祉拠点整備モデル事業として、旭南地区町内福祉村が実施している「きずなっこ」に月2回民間保育園から保育士を派遣している。 派遣回数：20回</p> <p>健康課 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師4回、栄養3回、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師13回、栄養7回、歯科6回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師1回、栄養1回、歯科2回 ・地区の要望に沿って対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保育課：派遣依頼・実施数はコロナ前と同水準に回復。地域医療福祉拠点整備モデル事業を開始。 健康課：前年度と同様の規模で実施できた。</p> <p style="text-align: center;">検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>翌年度も現状の規模で継続していく。</p>		
	令和4年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル（コミュニティ）：5回 子育て支援活動（子育て広場）：100回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。</p> <p>健康課 ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科1回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師14回、栄養5回、歯科4回 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師1回、栄養1回、歯科2回 ・地区の要望に沿って対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>保育課：派遣依頼・実施数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、令和元年の75%程度に回復してきている。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増え、感染拡大の防止に努めながら実施した。</p> <p style="text-align: center;">検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>保育課：翌年度も現状の規模で継続していく。 健康課：R3.10月より事業を再開し、依頼件数が前年に比べて増えた。今後も、現状の規模で継続していく。</p>	
		令和3年度	<p>保育課 ・公立保育所において、地域の子育てサークルや、主任児童委員、福祉村が主催する子育て支援活動に保育士を積極的に派遣している。 派遣回数：子育てサークル：0回 子育て支援活動：35回 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため開催及び派遣の中止を行った広場あり。</p> <p>健康課 ・新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、R2.10月より規模を縮小して実施した。 ・地域の子育てサークルや子育て支援活動に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が従事し、育児情報の提供や育児相談などを実施。 1 子育てサークル 派遣回数：保健師0回、栄養0回、歯科0回 2 地区子育て広場 派遣回数：保健師0回（2件中止）、栄養2回、歯科1回（1件中止） 保育園、幼稚園での育児講座 派遣回数：栄養0回、歯科0回 3 子育て支援センター 派遣回数：保健師0回、栄養0回（中止1回）、歯科0回（中止1回） ・地区の要望に沿って対応している。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>健康課：R3.10月より事業を再開したため、派遣依頼・実施数はコロナ前と比べると減少したが、感染拡大の防止に努めながら実施した。</p> <p style="text-align: center;">検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>健康課：R3.10月より事業を再開したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる依頼もあった。コロナ感染拡大の防止に努めながら、翌年度も①現状の規模で継続していく。</p>

備考 (その他)

6 (2) 7	地域福祉推進事業	担当課	福祉総務課
---------	----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (3) 5 事業の再掲 > 地域福祉を推進するため、市民と行政との協働により、地域の子どもから高齢者までがお互いに助け合い、支え合う仕組みとしての町内福祉村の新設及び既設福祉村等の環境整備を支援します。</p>	<p>既存福祉村について活動の支援を行うほか、福祉村未設置地区に出向き、本事業の説明やワークショップを実施することで、町内福祉村の意義や必要性を伝え、新設を促進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>令和5年度は、町内福祉村の活動が更に活性化するように、福祉村会長会議で他の福祉村の好事例等について意見交換等を行うとともに、コーディネーターの研修会や各部会を実施しました。</p> <p>さらに、多くの方に福祉村の活動について知っていただくために、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したほか、3月には中央図書館での展示も実施しました。</p> <p>福祉村未開設地区に対しては、地域向けの説明会を実施し、地域での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていきます。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>多くの方に福祉村を知っていただけるよう、ららぽーと湘南ひらつかでの周知を充実させたほか、3月には中央図書館での展示を実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>未設置地区への働きかけは地域の会議に出席するなど、回数を増やしていく必要があります。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	②拡大して継続					
令和4年度	<p>令和4年度は、福祉村の活動が活性化するように、新たな補助制度を創設し、活動の後押しをすることで、地域の輪が途切れることの無いよう促しました。また、福祉村会長会議で他の福祉村の好事例等について紹介等を行うとともに、コーディネーターの研修会を実施しました。</p> <p>さらに、多くの方に福祉村の活動について知っていただくために、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したほか、平塚市公式LINEで各福祉村の活動を紹介しました。</p> <p>福祉村未開設地区に対しては、地域向けの説明会を複数回実施し、地域での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていきます。</p> <p>・ふれあい交流活動 7,847回開催、75,256人参加</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>活性化補助金の活用により、デジタル技術の活用など、新たな取組が広く展開されました。また、新たに、ららぽーと湘南平塚でパネル展を実施したことで福祉村活動の認知度向上を図りました。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>既存の福祉村の活動活性化に取り組むとともに、多くの方に福祉村を知っていただけるよう、引き続き、広く周知していく必要があります。また、未設置地区には丁寧な説明に伺い、地域の機運を高める必要があります。</p>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
検証結果	A：成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
令和3年度	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により福祉村活動を一部縮小し実施しました。感染症対策に配慮しながら、実施可能なサロン等については、開催人数や回数、会場等の変更を行いながら各地区で工夫し実施することができました。市からも、既設18地区の町内福祉村に対し、住民主体の身近な生活支援やふれあい交流活動を可能な範囲で実施する際の助言等を行うことで、地域の輪が途切れることの無いよう配慮を行いました。</p> <p>また、町内福祉村に対する運営支援については、感染症の状況を考慮しながら福祉村会長会議を书面で開催するなどの手段も活用し、他の福祉村の好事例等について紹介等を行うことで、今後の各福祉村活動が活性化するように努めました。</p> <p>町内福祉村未開設地区に対しては、書面等での地区へ情報提供を行うと共に、少人数で検討する機会を設けました。地区での機運が高まるよう、今後も継続的に協議を進めていくこととします。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>感染症対策に配慮した実施可能な範囲でのサロン等を行っていますが、参加ボランティアの拡大には繋がりませんでした。しかし、ボランティア間の繋がりが途切れないよう連絡を密にし、今後の活動に備えています。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> <p>感染症の影響を見つつ、引き続きサロン等の充実やボランティアの拡大に努めます。</p>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
検証結果	B：おおむね成果があがった					
今後の事業展開	①現状の規模で継続					

備考（その他）

6 (2) 8	非行防止活動の推進	担当課	青少年課
---------	-----------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 1 (3) 7事業の再掲 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 心豊かで、規範意識・遵法精神・社会性が向上した青少年を一人でも多く育成するため、社会を明るくする運動を通して、講演会や街頭啓発キャンペーン等を行います。 愛護指導活動、相談活動を行います。 青少年指導員による環境浄化活動を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動の活動を支援します。 青少年の非行を防止するため、学校及び地域と協力し、パトロールを実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会及び年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区で合計17回実施（指導件数846件） 社会を明るくする運動を各地区において開催（21地区で実施、延べ3,462人参加） 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場や平塚駅前にて約2,100枚のチラシを配布、湘南ベルマーレ試合ハーフタイムには横断幕やのぼりを持ってグラウンドの行進を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と青少年の問題行動等について情報共有を図り、七夕まつりでは関係団体と合同パトロールを実施するなど、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										
令和4年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を七夕まつり、花火大会及び年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち7校区で合計8回実施（指導件数817件） 社会を明るくする運動を各地区において開催（16地区で合計16回実施、延べ4,518人参加） 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場でのチラシ配布及び横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,125部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と青少年の問題行動等について情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	A：成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を縮小して実施又は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常愛護指導を火～土曜日の毎日に、特別愛護指導を年末に実施。中学校区強化愛護指導を全15校区のうち1校区で2回、4校区で1回実施（指導件数363件） 社会を明るくする運動を各地区において開催（9地区で実施、延べ1,959人参加） 社会を明るくする運動啓発キャンペーンとして、湘南ベルマーレ試合会場への横断幕の掲示、平塚市立中学校15校の3年生への啓発物の配布（2,147部）を実施 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>学校・地域関係団体と情報共有を図り、青少年の非行・問題行動等に対し協力して取り組んだ。愛護指導活動については、新型コロナウイルス感染症の影響等により愛護指導実施回数が減少した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。	
検証結果	B：おおむね成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
青少年の非行・問題行動等を防止するためには、学校・地域関係団体との現在の協力体制を維持しつつ、継続的に取り組む必要がある。										

備考（その他）

6 (2) 9	こころと命のサポート事業	担当課	福祉総務課
---------	--------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 1 (3) 8事業の再掲 > 地域において実施しているおはなし会や読み聞かせ、読み語り等の中で、「命の大切さ、尊さ」をテーマに取り上げてもらうことで、命の大切さ、尊さを普及・啓発し、自殺対策を推進します。</p>	<p>地域で活動している団体等に、本事業について理解を深めてもらい、おはなし会、読み聞かせ、読み語りの中で、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストを活用してもらうよう働きかけ、命の大切さ、尊さの普及・啓発を推進します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>次の地域活動団体等に対し、こころと命のサポート事業（読書活動を通じた自殺対策の推進）の説明、「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用について働きかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校司書教諭（司書教諭打ち合わせ会）年1回 ・各小中学校学校司書（学校司書説明会）年1回 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議 年2回 <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 6地区 読み聞かせ回数 延べ 441回 読み聞かせ人数 延べ 1,734人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>昨年度同様、各団体へ働きかけ、読み聞かせ等の実施を促した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	<p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 12地区 読み聞かせ回数 延べ 221回 読み聞かせ人数 延べ 5,343人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>昨年度実施地区が少なかったことから、昨年度より呼びかけを強化し、実施を促すことで実施地区の向上に繋がった。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動を自粛。</p> <p>「いのちの尊さをつたえる本」の読み聞かせ実施状況 実施地区 8地区 読み聞かせ回数 延べ 157回 読み聞かせ人数 延べ 4,850人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>公立・私立保育園、小・中学校の司書教諭及び学校司書に「いのちの尊さをつたえる本」ブックリストの活用と読み聞かせの実績報告を依頼した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
引き続き、すでに読み聞かせ等を実施している団体や学校にも「いのちの尊さをつたえる本」等のリストの活用と実績報告をしてもらえるよう周知していく必要がある。		

備考 (その他)

6 (2) 10	一時預かり事業	担当課	保育課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 1事業の再掲 > 保護者の断続的な就労、病気や育児疲れの解消等の理由で、子どもの保育ができないときの緊急・一時的な保育を行います。 [対象：就学前子ども]</p>	<p>民間保育所のほか、民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園でも一時預かりを実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育21園で実施 (延べ利用児童数11,023人) 民間認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園13園で実施 (延べ利用児童数38,048人) 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。			
翌年度に向けた課題と取組						
ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施 (延べ利用児童数11,769人) 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料 (自己負担額) に対し、一部助成する制度を創設した (健康課と連携)。 	前年度の課題等に対する取組状況 施設改修の影響により実施できなかった1園を除き、すべての園で実施をすることができた。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。</td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組		ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。			
翌年度に向けた課題と取組						
ニーズに応じて実施する必要があり、現状の規模で継続して取組む。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 民間保育所19園で実施 (延べ利用児童数11,281人) 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために一時預かりを利用した際にかかる利用料 (自己負担額) に対し、一部助成する制度を創設した (健康課と連携)。 	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	翌年度に向けた課題と取組					
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

6 (2) 11	ファミリー・サポート事業	担当課	保育課
----------	--------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 2事業の再掲 > 子育ての援助を受けたい方 (依頼会員) と子育ての援助を行いたい方 (支援会員) を組織化し、幼稚園・保育所等への送迎及びその前後の預かり等の育児の援助活動の橋渡しを行います。 [依頼会員：0歳から小学校6年生までの児童の保護者]</p>	<p>支援会員に対し、預かり中の子どもの安全対策に係る研修を実施するとともに、支援会員の声を聞きながら研修の充実を図っていきます。また、積極的なPR活動を行い、支援会員を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員257人、依頼会員671人、両方会員29人 活動件数：3,475件	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員講習会のPR方法やカリキュラムについて見直し、ネットからの申し込みやオンライン受講を導入した。 ・HPの掲載内容を見直し、活動内容等を分かりやすく表記した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 依頼会員のニーズに対応できるように、PR活動の強化や支援会員講習会の開催回数を増やすなど、支援会員増加に向けた取組を行う。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を1回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を2回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 会員数：支援会員276人、依頼会員933人、内両方会員31人 活動件数：2,280件 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施 ※依頼会員の中に資格を喪失している会員 (子どもが中学生以上の保護者) が含まれていたため整理して正しい会員数に修正	前年度の課題等に対する取組状況 支援会員講習会について、広報ひらつかや市公式LINEでの周知に加え、市民課及び障がい福祉課前に設置している広告放映ディスプレイへの掲載やスーパー等へのポスターの掲示を行った。
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 依頼会員のニーズに対応できるように、PRや支援会員講習会のカリキュラム見直しなど、支援会員増加に向けた取組を行う。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 支援会員入会説明会を2回開催。 支援会員の講習会を2回開催。 支援会員のフォローアップ研修会を1回開催。 支援会員と依頼会員間の交流会を1回開催。 支援会員サポートを1回開催。 会員数：支援会員300人、依頼会員1,544人、内両方会員29人 活動件数：1,734件 ※新型コロナウイルス感染症の影響により活動件数減少	前年度の課題等に対する取組状況 ・支援会員の入会説明会及び講習会について、市公式LINEを使うなど、PRを強化した。 ・支援会員講習会のカリキュラムを見直し、講習内容の充実を図った。(救命講習：救命入門コース(90分)から普通救命講習(3時間)に変更等)
		検証結果 B：おおむね成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても依頼会員のニーズに対応できるように、PRなどを行い、支援会員増加の取組を行う。

備考 (その他)

6 (2) 12	延長保育・休日保育事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (1) 3事業の再掲 > 保育所や認定こども園において、延長保育や休日保育を行います。〔対象：就学前子ども〕	引き続き、保護者の就労形態などに対応した延長保育や休日保育を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育（全園で実施） 休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		延長保育は保育園の在園児が規定の利用時間を超えて保育園を利用するもの。休日保育についても同様であり、ニーズに応じて実施する必要があるため、現状の規模で継続して取組む。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育（全園で実施） 休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況 すべての園で実施をすることができた。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		延長保育は保育園の在園児が規定の利用時間を超えて保育園を利用するもの。休日保育についても同様であり、ニーズに応じて実施する必要があるため、現状の規模で継続して取組む。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育（全園で実施） 休日保育（1園で実施） 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

6 (2) 13	私立幼稚園の預かり保育の推進	担当課	保育課
----------	----------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (1) 4事業の再掲 > 県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。 [対象：3歳から就学前子ども]</p>	<p>引き続き、県と連携を取りながら、地域の保育需要に対応した、私立幼稚園における預かり保育の充実を図ります。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 	前年度の課題等に対する取組状況 令和6年4月からつくし幼稚園が認定こども園へ移行。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が継続してニーズが高い傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度は健康課が実施。 	前年度の課題等に対する取組状況 令和5年4月から神田幼稚園が認定こども園へ移行。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が継続してニーズが高い傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の私立幼稚園（新制度移行・未移行）すべてで実施。 保護者が、新型コロナワクチン予防接種のために預かり保育を利用した際にかかる利用料（自己負担額）に対し、一部助成する制度を創設した（健康課と連携）。 	前年度の課題等に対する取組状況 各幼稚園に対して、利用者のニーズにあった事業展開を推進した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 幼児教育・保育の無償化が実施されて以降、幼稚園利用者の中で、保育の必要性がある世帯（新2号、新3号認定者）が増加傾向にあることから、幼稚園に対し、預かり保育の更なる拡充とともに、認定こども園（特に幼保連携型認定こども園）への移行を推進していきたい。

備考 (その他)
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

6 (2) 14	病児・病後児保育	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 5事業の再掲 > 子どもが病中、又は病気の回復期にあるときに、保護者が仕事や病気等により、自宅で看病できない場合に対応するため、病児・病後児保育を行います。</p>	<p>< 見直し > 市内2か所の施設について、医療機関と利用対象者に更なる周知を図ります。また、利用者数の動向に注視しながら、事業の拡充に向けて検討します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 133人 ・麦・もんもん病児保育室 延べ利用児童数 947人	前年度の課題等に対する取組状況 令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備の支援を行った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備やICT導入の支援を行う。
令和4年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 101人 ・麦・もんもん病児保育室(令和3年4月開設) 延べ利用児童数 750人	前年度の課題等に対する取組状況 令和4年2月から予約システムを導入し、職員の業務負担が軽減し、利用者の利便性も向上した。 令和4年度から健康だよりによる情報発信を開始し、また、各施設の紹介動画をYouTubeにアップするなどして、病児・病後児保育の周知を図った。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 令和6年度中の病児・病後児保育施設の新規開設に向けて、施設整備の支援を行う。
令和3年度	市内2か所で実施 （病後児保育施設1か所、病児・病後児保育施設1か所） ・平塚保育園病後児保育室「なでしこ」 延べ利用児童数 95人 ・麦・もんもん病児保育室(令和3年4月開設) 延べ利用児童数 536人	前年度の課題等に対する取組状況 ・令和3年4月から本市初の病児保育を開始し、広報や市HPなどの媒体で広報を行った。 ・令和4年2月から職員の業務負担の軽減、利用者の利便性向上のため、インターネットで事前登録、空き情報の確認、利用の予約・キャンセルが可能なシステムの導入を支援した。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、実施施設と連携し、子育てと仕事の両立支援の充実を図る。

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）6「病後児保育」から事業名称を変更した。

6 (2) 15	放課後児童クラブの充実・推進	担当課	青少年課
----------	----------------	-----	------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (1) 6事業の再掲 > 放課後児童支援員等としての資質の向上を図るため、放課後児童支援員等を対象とした市主催の研修を推進します。また、近年、県等主催の研修が充実してきたため、より多くの研修機会が持てるように、情報提供し、参加を促進します。</p>	<p>県等主催の研修について情報提供するとともに、市主催の研修については、県等主催の研修内容を踏まえ、放課後児童支援員等として、必要な知識及び技術の習得のための研修を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月 普通救命講習 3回 参加者56人</p> <p>12月 発達障がい理解 ASDタイプの子どもたち 2回 参加者105人</p> <p>1月 学童保育中における安全教育について 1回 参加者96人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		市主催研修では、分散開催で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じるなど、予定通り開催した。また、県等の他研修ではオンライン研修を実施し、多くの方が参加した。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、よりよい研修内容について検討していく。</p>
令和4年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月 普通救命講習 4回 参加者56人</p> <p>12月、1月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者110人</p> <p>1月 保護者との連携 1回 参加者71人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		市主催研修では、昨年度末のオンライン研修後のアンケートを踏まえ、分散開催で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、予定通り開催した。また、県等の他研修ではオンライン研修を実施し、多くの方が参加した。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、よりよい研修内容について検討していく。</p>
令和3年度	<p>放課後児童支援員等を対象に放課後児童健全育成事業研修会を実施した。</p> <p>6月～7月 普通救命講習 4回 参加者45人</p> <p>7月 災害時対応講習 1回 参加者35人</p> <p>12月 発達障がい児の理解等について 2回 参加者109人</p> <p>1月～2月 コンプライアンス研修 2回 参加者81人</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		新型コロナウイルスの影響はあったが、分散開催やオンラインを活用することで、概ね例年規模での研修を開催することができた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>新型コロナウイルスの影響により会場開催ができない場合でも、持続的に放課後児童支援員等の資質の向上に努めることができるよう、オンライン研修の効果的な開催方法について検討していく。</p>

備考（その他）
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2（1）7「学童保育の充実・推進」から事業名称を変更した。

6 (2) 16	子育て支援センター事業	担当課	保育課
----------	-------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 1 事業の再掲 > 子育て家庭に対する育児不安等についての相談支援、各種子育てに係る情報提供、親子の気軽な交流の場としての子育てサロンの運営、子育てサークル等への支援を行います。 [対象：就学前子ども及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続き子育て支援センター事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 4,884人、子ども 5,964人、合計 10,848人 相談件数：面接 1,835件、電話 42件、その他 270件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・施設の利用状況から利用定員を緩和した。また、1日の利用回数制限を撤廃した。(令和6年3月～)</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。</p>
令和4年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,487人、子ども 4,389人、合計 7,876人 相談件数：面接 2,182件、電話 45件、その他 202件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながらイベントや育児講座を開催した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>
令和3年度	<p>・1か所で実施。 利用者数：大人 3,379人、子ども 4,021人、合計 7,400人 相談件数：面接 2,246件、電話 15件、その他 188件</p> <p>1日2回開催をしているジョイフルタイムでは、感染防止対策を講じながら手遊び・紙芝居・リトミック・歌などを行い、親子で楽しい時間を共有している。その他、アドバイザーの派遣による地域育児サークル支援、子育て関連情報の提供等を実施している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止のため、利用は予約制で利用人数、利用回数を制限して開所。 ・感染症対策を講じながら人形劇やコンサートなど一部のイベントを開催した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>

備考 (その他)

6 (2) 17	つどいの広場事業	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 2事業の再掲 > 主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会(場)を提供します。 [対象：おおむね0～3歳児及び保護者]</p>	<p>事業の周知を図るとともに、親子が気軽に集い、安心して子育てができるように、引き続きつどいの広場事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>・5か所を実施。読み聞かせなどのイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,829人、子ども 1,947人、合計 3,776人、相談件数： 387件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 ・施設の利用状況から利用定員を緩和した。また、1日の利用回数制限を撤廃した。(令和5年12月～)</p>
	<p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 5,061人、子ども 5,363人、合計 10,424人、相談件数： 375件</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
	<p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,910人、子ども 2,474人、合計 4,384人、相談件数： 199件</p>	<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
	<p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,595人、子ども 1,801人、合計 3,396人、相談件数： 32件</p>	<p>翌年度に向けた課題と取組 相談、親子の交流の場として引き続き支援を行う。</p>
	<p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 1,069人、子ども 1,185人、合計 2,254人、相談件数： 30件</p>	
令和4年度	<p>・5か所を実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,494人、子ども1,643人、合計 3,137人、相談件数： 242件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。</p>
	<p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 4,743人、子ども 5,123人、合計 9,866人、相談件数： 406件</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
	<p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,808人、子ども 2,248人、合計 4,056人、相談件数： 178件</p>	<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
	<p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,518人、子ども 1,702人、合計 3,220人、相談件数： 31件</p>	<p>翌年度に向けた課題と取組 利用状況を見ながら、利用人数及び利用回数の制限緩和を検討する。</p>
	<p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 810人、子ども 873人、合計 1,683人、相談件数： 21件</p>	
令和3年度	<p>・5か所を実施。感染症対策を講じながら読み聞かせなどの一部のイベントを開催した。 「つどいの広場 もこもこ」 利用者数：大人 1,671人、子ども1,756人、合計 3,427人、相談件数： 292件</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況 新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用回数を制限して開所。</p>
	<p>「つどいの広場 きりんのおうち」 利用者数：大人 3,899人、子ども 4,169人、合計 8,068人、相談件数： 426件</p>	<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p>
	<p>「つどいの広場 どれみ」 利用者数：大人 1,391人、子ども 1,654人、合計 3,045人、相談件数： 183件</p>	<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
	<p>「つどいの広場 ぼけっと」 利用者数：大人 1,321人、子ども 1,457人、合計 2,778人、相談件数： 40件</p>	<p>翌年度に向けた課題と取組 コロナ禍においても、施設を継続して開所ができるように感染症対策を講じながら運営する。</p>
	<p>「つどいの広場 ここにくらす」 利用者数：大人 802人、子ども 933人、合計 1,735人、相談件数： 38件</p>	

備考 (その他)

6 (2) 18	赤ちゃん広場事業	担当課	保育課
----------	----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (2) 4事業の再掲> 公立保育所及び認定こども園において、1歳未満の乳児を育てる親を対象に、育児不安等についての相談、子育てに係る情報の提供、親子の気軽な交流の場の提供を行います。</p>	<p>事業の周知を図るとともに、育児不安等についての相談を受けたり、子育てに係る情報を提供したりできるように、引き続き事業を実施します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価								
令和5年度	<p>毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。 各回の参加上限を設けて開催した。 4月から10月までは15組、11月から3月までは20組を上限。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>年間を通じて参加上限を15組としたことで、多くの方に参加していただいた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。	
検証結果	A: 成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
参加者の意見を参考にし、開催数等の検討する。										
令和4年度	<p>毎月1回保健センターで赤ちゃん広場を実施。 各回の参加上限を設けて開催した。 4月から12月までは10組、1月から3月は15組を上限。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>赤ちゃん広場の申し込み状況を考慮し、後半の参加上限を変更した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A: 成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> <tr> <td colspan="2">今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。</td> </tr> </table>	検証結果	A: 成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組		今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。	
検証結果	A: 成果があがった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										
今後の申込状況によっては、参加人数の増加を検討する。										
令和3年度	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業を中止とした。</p>	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>C: 十分に成果をあげることができなかった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</td> </tr> </table>	検証結果	C: 十分に成果をあげることができなかった	今後の事業展開	①現状の規模で継続	翌年度に向けた課題と取組			
検証結果	C: 十分に成果をあげることができなかった									
今後の事業展開	①現状の規模で継続									
翌年度に向けた課題と取組										

備考 (その他)

6 (2) 19	子ども及び子育て家庭に係る総合支援	担当課	こども家庭課
----------	-------------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 2事業の再掲 > 既存の社会資源を有効に活用するため、児童相談所や関係機関等と連携し、地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握して、ネットワーク化を図ります。</p>	<p>< 見直し > 利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用援助等の支援を行うとともに、子育て家庭や保育所からの相談に対応します。また、ヤングケアラー等の支援ニーズが高い子どもに対し、関係機関と連携して支援に取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,268件 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等を対象とした「支援対象児童等見守り強化事業(訪問型)」を実施(延べ100世帯396食)。 「支援対象児童等見守り強化事業(居場所型)」を実施(利用人数146名) 「子育て世帯訪問支援事業」を実施(利用2世帯) 	前年度の課題等に対する取組状況 3つの事業について支援の必要な方の理解を得ながら利用を増やした。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		3つの事業について利用促進に努める。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 1,704件 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等を対象とした「支援対象児童等見守り強化事業(訪問型)」を実施(延べ61世帯293食)。 「支援対象児童等見守り強化事業(居場所型)」を実施(利用人数22名) 「子育て世帯訪問支援事業」を実施(利用者なし) 	前年度の課題等に対する取組状況 ヤングケアラー等の支援ニーズが高い児童等に対する支援の充実を図りました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組
		3つの事業の利用者拡大に向け、支援が必要な世帯への理解を促していきます。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 子ども総合相談窓口において、子育て支援サービス情報を一元的に収集・提供。 家庭児童相談員を配置し、児童相談所等の関係機関と連携して児童相談等に対応。 相談・虐待通告件数 2,045件 ヤングケアラーの早期発見に向けたネットワークづくりに取り組み、発見後の円滑な支援を推進するため、ヤングケアラー支援推進会議を設置。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続 翌年度に向けた課題と取組

備考(その他)	

6 (2) 20	保育所・認定こども園・幼稚園の育児相談	担当課	保育課 教育指導課
----------	---------------------	-----	--------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 3事業の再掲 > 保育所や認定こども園、幼稚園を利用している保護者や地域の子育て家庭を対象に、電話や面接により、子育てについての不安や悩みの相談に対応します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園で実施し、相談の内容によっては関係機関と連携を図ります。 ・ 幼稚園の在園児の保護者や入園を希望する保護者に対し、電話や面接による子育てについての相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課：保育所や保育課窓口で随時相談を受け付け関係機関との連携を図った。 教育指導課：各園で未就園児の体験保育に参加されていた保護者から相談を受け入園につながることや就学相談を継続的に行い、進学する小学校へ円滑につながる事ができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 保育課：保育所や保育課窓口では随時相談を受け付ける。現状の規模で要望に応じていく。 教育指導課：在園児の保護者に対し、継続的に支援していくとともに、入園希望者の保護者に対し、育児相談についての周知に努める。
令和4年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		保育課：保育所や保育課窓口で随時相談を受け付け関係機関との連携を図った。 教育指導課：各園で未就園児の体験保育に参加されていた保護者から相談を受け入園につながることや就学相談を継続的に行い、進学する小学校へ円滑につながる事ができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 保育課：保育所や保育課窓口では随時相談を受け付ける。現状の規模で要望に応じていく。 教育指導課：各園で在園児の保護者に対し、継続的に支援していくとともに、入園希望者の保護者に対し、育児相談についての周知に努める。
令和3年度	保育課 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大・予防を講じながら、全保育所、認定こども園で実施し、相談の内容に沿い、関係機関と連携を図った。 教育指導課 ・幼稚園の在園児の保護者や入園希望者の保護者に対し、電話や面接による育児相談、就学相談を行った。実施園：2園	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)
第1期平塚市子ども・子育て支援事業計画2 (3) 3「保育所・幼稚園の育児相談」から事業名称を変更した。

6 (2) 21	女性のための相談事業	担当課	人権・男女共同参画課
----------	------------	-----	------------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (3) 4事業の再掲> 女性が日常生活の中で直面する様々な悩みの解消や配偶者等の暴力から女性とその子どもを守るため、女性のための相談窓口を設けます。	女性やその子どものための支援等について、相談体制や関係機関との連携を強化します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数813件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整49件 	前年度の課題等に対する取組状況 連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数664件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整32件 	前年度の課題等に対する取組状況 連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。						
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数780件 相談件数のうち、こども家庭課・保育課へ連絡調整38件 	前年度の課題等に対する取組状況 連携強化のために、情報共有を徹底することを心掛けている。				
		<table border="1"> <tr> <td>検証結果</td> <td>B：おおむね成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	B：おおむね成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	B：おおむね成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
		翌年度に向けた課題と取組				
事業の特性上、関係機関との連携は不可欠であり、今後もさらに連携を深めていく必要がある。						

備考 (その他)

6 (2) 22	生活困窮者自立支援事業	担当課	福祉総務課
----------	-------------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 5事業の再掲> 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給その他包括的な支援を実施します。</p>	<p>自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を継続します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より家計に課題があり生活困窮している方に対して改善指導することで課題解決の支援をする「家計改善支援事業」及び一般就労に向けた準備が整っていない方に対して基礎能力形成の支援をする「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>自立相談支援事業を行う「くらしサポート相談」とその他の事業を行う委託先等の関係機関が連携して生活困窮者の支援を行うことができました。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」について制度を活用できるようにする。</p>
令和4年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、関係機関との連携に苦慮することが多かったが、連携機関連絡会を3年ぶりに対面で開催するなど、比較的影響前に近いかたちで連携し、生活困窮者の支援を行うことができました。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」について制度を活用できるようにする。</p>
令和3年度	<p>くらしサポート相談において、自立支援計画の作成等により就労等の意欲や他者との関係性などの面で改善を図り、継続的な支援により自立に向けたステップアップを目指すための支援を行っています。また、離職や休業等により住居を喪失するおそれのある方に対して、当面の住まいを確保するため「住居確保給付金」を支給しています。この他に、一定の居宅を持たない生活困窮者に対して、原則3カ月の間、宿泊場所、食事等を提供する「一時生活支援事業」を実施するとともに、令和3年3月より「家計改善支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施しています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>継続的な周知と他機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮した方への支援を実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>今後も関係機関との連携を深めできるだけ早く「くらしサポート相談」について制度を活用できるようにする。</p>

備考 (その他)

6 (2) 23	民生委員運営事業	担当課	福祉総務課
----------	----------	-----	-------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (3) 7事業の再掲 > 地域福祉の推進のため、地域と行政とのパイプ役としての役割を果たす民生委員児童委員を積極的に支援します。</p>	<p>定例の地区会長会議や全体研修、分野別研修などを通じ、民生委員児童委員の情報共有や資質向上を支援します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>令和5年度は、引き続き対面やオンラインによる県民児協等による研修の受講を促進したほか、4年ぶりに全委員を対象とした集合研修を実施しました。また、湘南西ブロックの大規模研修会を開催し、委員の約半数が参加するなど、民生委員児童委員の識見向上に努めました。</p> <p>広報・啓発活動についても、広報紙の発行や街頭PR活動に加え、ららぽーと湘南平塚でのパネル展を実施するなど、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。</p> <p>毎月の定例会における行政からの情報提供も継続して行っています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>オンラインでの研修については、環境が整っていない委員へ個別にフォローするなどの配慮を引き続き行いました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、集合形式での研修も取り入れました。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>オンライン研修については、自宅に視聴環境がない委員も受講できるよう継続して機会確保に努めます。</p> <p>また、コロナ禍以前の研修の規模や形態に徐々に戻していくことで、民生委員児童委員の更なる資質向上に努めます。</p>
令和4年度	<p>令和4年度は、昨年度に引き続きオンライン研修も取り入れつつ、3年振りに集合での全体研修を開催し、民生委員児童委員の識見向上に努めました。また、12月の一斉改選で委嘱された約100名の新任委員の新任委員に対し、集合及びオンラインで研修を行うことで、新任委員が抱える不安の緩和に努めました。</p> <p>広報・啓発活動についても、広報誌の発行や街頭PR活動を実施し、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。</p> <p>毎月の定例会における行政からの情報提供も継続して行っています。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新任委員のオンライン研修は、環境が整っていない委員に対して上映会を開催する等配慮し、対象者全員が受講できるよう努めました。また、新任委員向けの集合研修も企画し、不安の緩和と識見の向上に努めました。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>オンライン研修は自宅に視聴環境がない委員も受講できるよう継続して機会確保に努めると共に、感染症に配慮しながら、集合研修も取り入れ、民生委員児童委員の資質向上に努めます。</p>
令和3年度	<p>昨年度と同様に、コロナ禍においても行政からの情報提供は継続して行うと共に、オンライン研修を取り入れることで民生委員の識見向上に努めました。また、パネル展の開催及び地域住民向けの広報誌を発行することで、民生委員児童委員活動の理解促進を図りました。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>人材育成の課題に対して予定していた集合研修は全て中止となりましたが、オンラインで受講できる講座を活用することで、研修機会を確保しました。また、オンライン環境の整っていない委員に対し、動画の上映会を開催しました。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>令和4年度は一斉改選期のため、新任委員を中心として、民生委員児童委員としてふさわしい見識を持つ人材の育成が必要です。</p>

備考 (その他)

6 (2) 24	民間団体との連携	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<2 (3) 8事業の再掲> 子どもの学習支援団体や子どもの居場所づくりに取り組む団体と意見交換や情報提供など連携を図っていきます。	<見直し> 子ども食堂や学習支援団体等との情報共有を進め、連携を図ります。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページにより、子ども食堂及び学習支援活動団体を周知。 子ども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク協議会に参画 	前年度の課題等に対する取組状況 ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子ども食堂や学習支援団体との情報共有をすすめる、地域資源としての活用を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページにより、子ども食堂及び学習支援活動団体を周知。 子ども食堂及び学習支援活動団体に国や県、市からの通知を一斉送信し、情報提供に努めました。 ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク推進委員会及び同部会に参画し、ネットワークの構築に携わりました。 	前年度の課題等に対する取組状況 市民の方に子ども食堂等をより知ってもらうため有効な周知方法を模索しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ひらつかわくわくマップに子ども食堂の一覧を掲載予定。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページにより、子ども食堂及び学習支援活動団体を周知。 子ども食堂及び学習支援活動団体に国や県からの通知を一斉送信し、情報提供に努めた。また、子ども食堂との打合せに参加し、情報共有を図った。 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）

6 (2) 25	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
----------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (5) 1事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。</p>	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：724件 (新規ケース) 相談回数：1,199件 	前年度の課題等に対する取組状況 母子父子相談を実施していることはもちろん、令和4年度に開始した養育費の確保事業についても、市公式LINEや児童扶養手当の現況届の案内に含むチラシ等で広報を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 離婚前相談においては、調定や裁判になると心身的負担が大きくなるため、相談窓口では裁判等に関する相談だけでなく、本人のそれ以外の悩みごとを聞き取るなどし、心のケアができるような窓口も案内するように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件 (新規ケース) 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況 子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件 (新規ケース) 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 26	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
----------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 1 事業の再掲 > 小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで</p>	<p>中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>小児医療費の助成を行いました。</p> <p>通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 令和5年12月以降18歳年度末まで</p> <p>医療証の受給者数 33,287人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。 令和5年12月から対象年齢を18歳(高校生相当)まで引き上げました。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、18歳年度末までの児童の通院、入院時の医療費について医療費助成を行います。</p>
令和4年度	<p>小児医療費の助成を行いました。</p> <p>通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで</p> <p>医療証の受給者数 28,295人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳(高校生相当)まで引き上げることに取り組みます。</p>
令和3年度	<p>小児医療費の助成を行った。</p> <p>通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで</p> <p>医療証の受給者数(令和4年3月31日時点) 28,815人</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p>

備考(その他)

6 (2) 27	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
----------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 2事業の再掲 > ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,628世帯 4,077人 助成費及び件数 医療費+手数料 166,532,422円 件数 57,507件 (令和6年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様にひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行います。 また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。
令和4年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,687世帯 4,195人 助成費及び件数 医療費+手数料 151,260,451円 件数 52,559件	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 対象者に対し、医療証の発行を実施します。
令和3年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,760世帯 4,382人 助成費及び件数 医療費+手数料 155,503,462円 件数 53,371件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 28	保育所保育料の軽減	担当課	保育課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 3事業の再掲 > 子どもの数や世帯の所得に応じた保育所保育料の軽減を維持します。</p>	<p>「幼児教育・保育の無償化」を踏まえながら、低所得世帯や多子世帯に対する保育所保育料の軽減に取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>①「幼児教育・保育の無償化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども(保育の必要性があるもの)に対し保育料が無償。 <p>②現行の軽減措置の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯の所得に応じて2 1階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	<p>①「幼児教育・保育の無償化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども(保育の必要性があるもの)に対し保育料が無償。 <p>②現行の軽減措置の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯の所得に応じて2 1階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	<p>①「幼児教育・保育の無償化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の制度である「幼児教育・保育の無償化」により、3歳から5歳児までの子ども及び0歳から2歳児までで住民税非課税世帯の子ども(保育の必要性があるもの)に対し保育料が無償。 <p>②現行の軽減措置の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯の所得に応じて2 1階層に分けて設定。 ・同一世帯から2人以上が同時に保育所、幼稚園等を利用している場合、2人目を半額、3人目以降は無料。 ・市民税額が一定額以下の世帯に対しては、子の年齢や保育所等の利用に関わらず、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料。 ・寡婦控除のみなし適用制度を適用し、未婚の保護者については本来の市民税額よりも低い金額で保育料を算定。 ・市民税額が一定以下かつひとり親等の世帯に対しては、第1子の保育料を最低基準の保育料額として、第2子以降を無料。 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>物価や経済の動向などを考慮し、前年度と同じ規模で軽減を実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 29	幼稚園の実費徴収に係る補足給付事業	担当課	保育課
----------	-------------------	-----	-----

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (6) 4 事業の再掲 > 低所得者の負担軽減を図るため、施設等利用給付認定保護者（子どもが従来制度の幼稚園を利用）に対する副食材料費に要する費用の一部を補助します。</p>	<p>対象者へ副食材料費に要する費用の一部を補助します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します。</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> <p>月4,500円</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						
令和4年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> <p>月4,500円</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						
令和3年度	<p>幼児教育・保育の無償化制度の実施に伴い、子どもの保護者の経済的負担を軽減することを目的として、副食材料費に要する費用の一部を助成します</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生までの兄弟のうち、第3子以降の子 ・市民税所得割額が一定以下の世帯の子 <p>【支給上限額】</p> <p>月4,500円</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同じ規模で補助を実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
低所得世帯については経済的な負担を軽減していく必要があることから、現状の規模で継続して補助を行う。						

備考（その他）
令和3年度より学務課から保育課へ事務移管

6 (2) 30	妊産婦の相談の充実	担当課	健康課
----------	-----------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (1) ①2事業の再掲 > 妊娠早期から産後までの心身の変化や不安等の相談に対応します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳の交付時は、保健指導体制をとって相談に臨みます。 妊娠時期に合わせた健康管理に必要な情報を提供します。 ハイリスク者に対する関係機関との連携強化を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率94% 妊娠中のフォロー件数183件 (妊娠届数の14%) 令和5年1月から産後ケア事業開始。令和6年1月からアウトリーチを追加 申請者数 138人 利用延回数 340回 令和5年2月から伴走型相談支援開始。 妊娠8か月時の全妊婦にアンケートを実施し、必要な方に電話や面接等で相談対応している。 アンケート送付数1353 回収数1235件 (回収率91.3%) フォロー件数:372件 <産婦健康診査> 産婦健診受診者数1251人、フォロー者数119人 その他、産婦に関する相談関連事業 ((1)①6、5(1)②2、5(1)②3) 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。令和6年1月より産後ケア事業のアウトリーチを開始し、サービス内容を増やした。産婦健診フォロー者は、医療機関からの連絡を受けた後、早期支援を行うことができています。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつながるよう実施していく。</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率95% 妊娠中のフォロー件数216件 (妊娠届数の17%) R5.1月から産後ケア事業開始。 申請者数 23人 利用延回数 34回 R5.2月から伴走型相談支援開始。妊娠8か月時の全妊婦にアンケートを実施し、必要な方に電話や面接等で相談対応している。 アンケート送付数212 回収数196件 (回収率92.5%) フォロー件数:52件 <産婦健康診査> 令和4年7月1日以降に出産した産婦に対し、産婦健診費用の費用助成を実施。 産婦健診受診者数725人、フォロー者数124人 その他産婦に関する相談関連事業:5(1)①6、5(1)②2、5(1)②3 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。伴走型相談支援事業を開始し関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。産婦健診を医療機関と連携し、開始することができた。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実現するため、保健センター3階に「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」にて母子健康手帳交付。全妊婦に対して面接を行い、早期にリスクを把握、妊娠・出産・子育てに関する悩みの相談や情報提供、支援プランの作成、関係機関との連携により、必要な支援に繋げている。 妊娠11週以下での届出率 94% 妊娠中のフォロー件数95件 (妊娠届数の6%) 	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>全妊婦に保健指導を実施し、情報提供を行った。関係機関と連携をし、支援が必要な方につなげることができた。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p>
		<p>次年度以降も関係機関と連携をとり、必要な方に支援がつけられるようにしていきます。</p>

備考 (その他)			

6 (2) 31	乳幼児期の相談の充実	担当課	健康課
----------	------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (1) ②2事業の再掲 > 未就学児を対象として、保護者の育児不安等の対応と、子どもにとって望ましい生活習慣の確立ができるように育児相談を充実させます。</p>	<p><見直し> 乳幼児期の相談 (電話・訪問・来所等) を継続します。保護者の育児不安等の軽減と、望ましい生活習慣を確立した児を増やします。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施。来所者数454人 ・育児相談は月2回実施、来所者数 505人 令和6年1月より、予約不要で実施している。 ・令和4年4月からオンラインで専門職が個別相談に応じるオンライン育児相談を開始している。相談件数3件 ・離乳食教室 (5,6か月児) は年12回実施、参加組数165組。離乳食教室 (7,8か月児) は年8回実施、参加組数114組。離乳食・幼児食教室 (9か月～1歳6か月児) は年6回実施、参加組数87組。 ・歯みがき教室 (8か月～1歳0か月児) は6回実施。1歳3か月児以降の教室は、6回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は22園実施。 ・低出生体重児の集い (おひさまくらぶ) 6回 参加人数86人 (児37人、保護者等49人) ・小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>育児相談について、より多くの方に利用していただくため、令和6年1月より感染対策を徹底の上、予約不要で実施した。</p>
		<p>検証結果 B：おおむね成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施。来所者数484人 ・育児相談は月2回実施、来所者数 436人 ・令和4年4月からオンラインで専門職が個別相談に応じるオンライン育児相談を開始している。相談件数7件 ・離乳食教室「5,6か月児」と「7,8か月児」を年8回ずつ実施 (定員制)。「9か月～1歳6か月児」と「幼児食教室」を統合した「9か月～2歳0か月児」を年4回実施。 ・歯みがき教室 (8か月～1歳0か月児) は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、13回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は25園実施。 ・低出生体重児の集い (おひさまくらぶ) 6回 参加人数54人 (児26人、保護者等28人) ・小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>7か月児相談及び育児相談は定員・予約制にし、その他教室も感染対策を徹底のうえ、実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児相談を毎月2回実施 (4月～12月まで18回中止)、来所者数131人 ・育児相談は1月から6回実施 (4月～12月まで18回中止)、来所者数82人 ・離乳食教室「5,6か月児」と「7,8か月児」を毎月1回ずつ実施 (時間短縮、一部で試食提供中止)。「9か月～1歳6か月児」の教室は10月以降4回実施 (内2回試食無)「5か月～1歳6か月児 (ダイジェスト版)」については今年度は中止。 ・歯みがき教室 (8か月～1歳0か月児) は8回実施。1歳3か月児以降の教室は、10月以降5回実施。 永久歯萌出期歯科保健事業巡回教室は今年度は中止。 ・低出生体重児の集い (おひさまくらぶ) 2回 参加人数18人 (児9人、保護者等9人) (4回中止) ・小さく生まれたお子さんとその保護者を対象に親子遊び、保護者への情報提供、親同士の交流を主に実施している。 	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>新型コロナワクチン接種の実施及び新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
感染対策を取りながら実施します。		

備考 (その他)

6 (2) 32	訪問事業	担当課	健康課
----------	------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (1) ②3事業の再掲> 乳幼児を持つ家庭に対する訪問を通し、育児不安への対応や、精神的な不安定さを抱える母親への支援を実施します。また、新生児聴覚スクリーニング検査の受診勧奨と検査後の不安軽減のために相談先を紹介します。</p>	<p>こんにちは赤ちゃん訪問の実施率の向上を目指します。 (参考値：平成30年度実績96.1%)</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率 98.1%(令和4年12月～令和5年11月生) ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。</p> <p>未熟児出生率9.4%(令和4年12月～令和5年11月生) 未熟児訪問 訪問率 96.8%(" ") ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>出産子育て応援ギフトの支給が始まったこともあり、未熟児訪問の訪問率が向上した。(訪問時に子育て応援ギフトの申請用紙を配布している)</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、子育ての不安を少しでも解消できるように保護者に寄り添った支援をする。</p>
令和4年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率97.8%(令和3年12月～令和4年11月生) ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。</p> <p>未熟児出生率 9.5% 未熟児訪問 訪問率 92.5% ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施し、訪問率が向上した。今年度より、乳児家庭全戸訪問の集計に未熟児も含めた。また例年通り未熟児の訪問数も計上した。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>引き続き、子育ての不安を少しでも解消できるよう母に寄り添い支援します。</p>
令和3年度	<p>乳児家庭全戸訪問 (原則として生後4か月を迎えるまでの乳児が対象) 訪問率88.8%(令和2年12月～令和3年11月生) ・乳児家庭全戸訪問にて児の発育状況や母の育児不安等へ対応し、必要な方にはその後の健診や継続訪問等でも継続支援をしている。</p> <p>未熟児訪問 訪問率 89.4%、(令和2年12月～令和3年11月生) ・2500g以上で生まれた児に比べて、低出生体重児の育児は、育てにくく、また親の育児不安も大きいため今後も丁寧な関わりを継続し育児を支援していく。 ・小さく生まれた児の育児のしおりを育児の特徴を伝えるツールとして配布している。</p>	<p>前年度の課題等に対する取組状況</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、乳児の把握方法を電話等にも広げて実施したが、昨年と比べ訪問率が低下した。しかし生後4か月未満に把握できなかった乳児については、4か月以降の訪問による把握ができた。</p>
		<p>検証結果 A：成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		<p>翌年度に向けた課題と取組</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、訪問又は電話での聞き取りで状況を把握するなど把握方法を広げ、訪問率の向上を目指す。</p>

備考 (その他)

6 (2) 33	学校保健の充実	担当課	学務課
----------	---------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 5 (2) ①3事業の再掲 > ・ 心電図検査、心臓疾患第2次検査、腎臓疾患 (尿) 検査、同2次検査、同3次精密検査、結核健康診断、胸部レントゲン直接撮影、結核健康診断精密検査、学校歯科巡回指導を実施します。 ・ 各学校 (園) 健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施します。	引き続き、各種健康診断等を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	前年度の課題等に対する取組状況
		各種検査について、計画通り実施した。
		検証結果 A: 成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		必要に応じて事業実施方法の検討
令和4年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、5学年に統一して実技指導は行わず講義形式で実施した。上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止	前年度の課題等に対する取組状況
		各種検査について、計画通り実施した。
		検証結果 A: 成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		必要に応じて事業実施方法の検討
令和3年度	心電図検査 (5月実施、小学校1年生及び中学校1年生対象) 心臓疾患2次検査 (6月実施、心電図検査及び各学校の内科健診の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 腎臓疾患 (尿) 検査 (9月実施)、同2次検査 (9月実施)、同3次精密検査 (10月実施) 結核健康診断・・・胸部レントゲン直接撮影 (7月実施、問診票調査の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 結核健康診断・・・精密検査 (8～9月実施、胸部レントゲン直接撮影の結果、必要性が認められた児童生徒のみ) 小学校歯科巡回指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業を中止とした。代替措置として、歯科衛生に係る資料を小学校に配布した。 上記検査のほか、各学校 (園) で健康診断 (内科、眼科、耳鼻科、歯科) を実施した。 ※寄生虫卵 (ぎょう虫卵) 検査については、平成28年度から廃止 心臓疾患2次検査及び結核健康診断について、昨年度に実施を見送った者の検査等を実施した。	前年度の課題等に対する取組状況
		前年度新型コロナウイルス感染症の影響から実施が延期となった心臓疾患2次検査及び結核検診について、平塚市民病院の協力のもと実施した。各種検査について、計画通り実施した。
		検証結果 A: 成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (2) 34	こども発達支援室の療育相談	担当課	こども家庭課
----------	---------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (4) ②1事業の再掲 > 子どもの発達に関する相談を電話や面接により対応します。また、心理士、言語聴覚士、作業療法士、小児精神科医による相談、一般相談等、子育てについての不安や悩みの相談を受け付けます。</p>	<p>相談事業を継続します。また、はぐくみサポートファイルなどのツールを活用し、就学に向けての切れ目のない支援に取り組みます。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>健診や幼稚園・保育園などを通じて、保護者の困り感等がこども発達支援室の相談に繋がり、相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討しました。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1160件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ129件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ350件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ19件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ725件 ・一般相談 随時 延べ92件、電話による相談401件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 実施回数計 129回、実施実人数 114人 ・たんぼぼグループ 18回 8人 ・個別療育 (ことり) 70回 14人 ・子育て交流ひろば 開催回数 35回、参加人数 延べ122人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげました。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いています。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、平塚市にこにこ園を休止し、こども発達支援室「くれよん」の相談体制を拡充することで、保護者等からの相談に迅速に応じていきます。
令和4年度	<p>健診や幼稚園・保育園などを通じて、保護者の困り感等がこども発達支援室の相談に繋がり、相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討しました。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1746件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ126件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ470件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ30件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ1029件 ・一般相談 随時 延べ123件、電話による相談536件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 実施回数計 188回、実施実人数 130人 ・たんぼぼグループ 23回 13人 ・個別療育 (ことり) 88回 14人 ・子育て交流ひろば 開催回数 45回、参加人数 延べ169人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげました。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いています。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しを進めていきます。
令和3年度	<p>健診や幼稚園・保育園などでは保護者の困り感を見つけると、こども発達支援室を紹介する。相談を通じ個々の子どもに適した支援方法を保護者とともに検討した。</p> <p>〈個別の来所相談〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理相談 週5回実施 延べ1,268件 ・言語聴覚士による相談 月6回実施 延べ88件 ・作業療法士による相談 週4回実施 延べ429件 ・児童精神科医による相談 月1回実施 延べ29件 ・ことばの相談員による相談 週5回実施 延べ844件 ・一般相談 随時 延べ135件、電話による相談477件 <p>〈グループや事業における相談〉</p> <p>子育て交流ひろばは、人数や対象を制限して開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察グループ 実施回数計 153回、実施実人数 94人 ・たんぼぼグループ 22回 8人 ・個別療育 (ことり) 145回 21人 ・子育て交流ひろば 開催回数 46回、参加人数 延べ198人 	前年度の課題等に対する取組状況
		保護者の悩みに寄り添い、各専門職の相談を通して適切な支援につなげた。
		<p>検証結果 A：成果があがった</p> <p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		相談者の増加により希望の時期に予約が取りにくい状況が続いている。所属園への機関支援の継続により個別相談の減少を図るとともに、相談体制の見直しをしていく。

備考 (その他)

6 (2) 35	ハイリスク者への支援の充実	担当課	健康課
----------	---------------	-----	-----

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 5 (5) ①1事業の再掲 > 児童虐待防止のため、早期から必要な支援を提供できるように関係機関と連携します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ひらつかネウボラールームはぐくみ」において、妊娠期からハイリスク者への対応を行います。 家庭訪問、健診等において機会を捉えた対応を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、第1子には管理栄養士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数41件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：155件 通告：13件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も他機関と連携を図りながら継続していく。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、第1子には管理栄養士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数38件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：165件 通告：23件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て世代包括支援センター ひらつかネウボラールーム はぐくみ」では、母子健康手帳交付時に全妊婦と保健師、助産師、保育士が面接を実施し、生活状況などを聞き取り妊娠、出産への不安や悩みの相談に応じ、産後に向けて切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。 生活状況、育児状況、金銭状況で気になる方については、関係機関とも連携し早期から支援につなぐ取り組みを始めている。 妊娠期リスクアセスメントシートを活用し、関係機関（医療機関、行政機関等）と連携を取り早期からの支援を実施している。 支援実数 68件 支援会議3回 虐待通告に対して健診状況等の情報提供を行ったり、家庭訪問、健診等において気になる児についてはこども家庭課に通告している。 情報提供：240件 通告：20件 	前年度の課題等に対する取組状況 妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施した。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		妊娠中から産後まで切れ目のない支援を実施するため、今後も継続していく

備考 (その他)

6 (3) 1	就労支援事業	担当課	産業振興課
---------	--------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
就職希望者に対する企業合同面接開催や就労に向けたセミナー等の開催により、市民の就職へ向けた活動を支援します。	幅広い年齢層を対象とした就労相談会を開催するとともに、若者サポートステーションと連携を図り、若者向けの就労相談会を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業合同就職面接会 令和5年9月13日・14日にラスカ平塚6階ラスカホールにて実施。 参加事業所数（延べ）55社、参加求職者数（延べ）124人、採用者数18人 ・合同会社説明会 令和5年12月13日に勤労会館にて実施。 参加事業所数9社、参加求職者数64人 <p>なお、西部地域若者サポートステーションとの共催事業として、パソコン講座、就活応援相談を通年で実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		令和4年度に実施した企業合同就職面接会の求職者アンケートの結果を受け、新規事業として合同会社説明会を実施し、より多くの求職者に地元企業との出会いの場を提供することができた。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		対象者のニーズ及び社会情勢に合った施策及び効果的な事業周知方法を検討する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業合同就職面接会 令和4年9月14日・15日にラスカ平塚6階ラスカホールにて実施。 参加事業所数（延べ）53社、参加求職者数（延べ）86人、採用者数15人 ・女性のための個別就労相談 毎月第2水曜日に勤労会館にて実施。 相談者数10人 ・女性のための就職支援セミナー 令和4年7月12日にオンラインにて実施。 参加者数3人 ・ビジネスマナー講座 令和5年3月8日に勤労会館にて実施。 参加者数10人 <p>なお、西部地域若者サポートステーションとの共催事業として、パソコン講座、就活応援相談を通年で実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		子育て中の女性などの参加を促進するため、セミナーをオンライン（見逃し配信あり）とし、受講環境を柔軟に設定した。また、個別就労相談については、女性に特化した事業内容とし、女性が就労に関して相談しやすい環境を整備した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		対象者のニーズ及び社会情勢に合った施策及び効果的な事業周知方法を検討する。
令和3年度	<p>令和3年9月15日から16日にかけて、ラスカ平塚6階ラスカホールにおいて、令和3年度企業合同就職面接会を実施した。 参加事業所数（延べ）51社、参加求職者数（延べ）83人、採用者数8人</p> <p>令和3年9月2日に面接会直前セミナーを実施した。 受講者数1人</p> <p>令和4年3月9日にビジネスマナー講座を実施した。 受講者数15人</p> <p>令和4年3月14日に中高年のための再就職支援セミナーを実施した。 （2部制）受講者数9人</p> <p>なお、西部地域若者サポートステーションとの共催事業としては、パソコン講座、就活応援相談を通年で実施している。</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		感染症対策を行いながら、求職者と企業が直接対面でやり取りできる場としての面接会を実施することができた。また、セミナーについては、中止のリスクを避けるため、オンラインで実施した。
		検証結果 B：おおむね成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		対象者が参加しやすいよう日程・実施方法を検討するとともに、事業周知についても工夫していく。

備考（その他）

6 (3) 2	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
<p>< 2 (5) 1事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。</p>	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：724件（新規ケース） 相談回数：1,199件 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> 母子父子相談を実施していることはもちろん、令和4年度に開始した養育費の確保事業についても、市公式LINEや児童扶養手当の現況届の案内に含むチラシ等で広報を行いました。 <p style="text-align: center;">検証結果</p> A：成果があがった <p style="text-align: center;">今後の事業展開</p> ①現状の規模で継続 <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> 離婚前相談においては、調定や裁判になると心身的負担が大きくなるため、相談窓口では裁判等に関する相談だけでなく、本人のそれ以外の悩みごとを聞き取るなどし、心のケアができるような窓口も案内するように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件（新規ケース） 相談回数：1,249件 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> 子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。 <p style="text-align: center;">検証結果</p> A：成果があがった <p style="text-align: center;">今後の事業展開</p> ①現状の規模で継続 <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p> 母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件（新規ケース） 相談回数：1,006件 	<p style="text-align: center;">前年度の課題等に対する取組状況</p> <p style="text-align: center;">検証結果</p> A：成果があがった <p style="text-align: center;">今後の事業展開</p> ①現状の規模で継続 <p style="text-align: center;">翌年度に向けた課題と取組</p>

備考（その他）

6 (3) 3	母子・父子自立支援事業	担当課	こども家庭課
---------	-------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (5) 2事業の再掲 > 母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために、教育訓練講座や高等職業訓練促進への助成など自立支援給付事業を実施します。</p>	母子・父子家庭への支援対策として、引き続き自立支援給付事業を実施します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 7件 (272,822円) 高等職業訓練促進給付金等 11件 (11,074,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ひとり親家庭就学支度資金貸付 6件 (2,460,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		ひとり親家庭就学支度資金貸付事業においては、私立併願予定者に夏ごろから「学校に係るお金や制度の申請準備」を促したことによって、申請予定者が増加しました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 自立支援給付金制度の利用者が増加しているため、制度の案内に加えて、利用者の声を制度利用を検討している人に届けられる仕組みを整え、より有効的に補助制度を活用してもらえるように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 6件 (225,048円) 高等職業訓練促進給付金等 6件 (5,759,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 申請0件 母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ひとり親家庭就学支度資金貸付 4件 (1,640,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		補助対象期間や資格が拡大したことの周知を広めるため、FMナパサに出演し事業内容の説明を行うなど周知活動を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 ひとり親家庭就学支度資金貸付事業については、申請可能枠を増やして対応出来る環境を整えたため、より多くの高校進学者の入学準備を円滑に進むようにサポートします。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子自立支援給付金制度の実施 自立支援教育訓練給付金 8件 (337,801円) 高等職業訓練促進給付金等 4件 (3,002,500円) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格給付金 1件 (80,446円) 母子家庭日常生活支援員の派遣 0件 ひとり親家庭就学支度資金貸付 9件 (3,690,000円) 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (4) 1	母子・父子相談の充実	担当課	こども家庭課
---------	------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (5) 1事業の再掲 > 母子・父子家庭の自立促進のため、就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け、母子・父子保護等を含むあらゆる相談に対応します。	母子・父子家庭の自立促進のため、母子・父子自立支援員等による就労支援、母子・父子福祉資金の貸付け等、あらゆる相談に対応します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：724件 (新規ケース) 相談回数：1,199件 	前年度の課題等に対する取組状況 母子父子相談を実施していることはもちろん、令和4年度に開始した養育費の確保事業についても、市公式LINEや児童扶養手当の現況届の案内に含むチラシ等で広報を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 離婚前相談においては、調定や裁判になると心身的負担が大きくなるため、相談窓口では裁判等に関する相談だけでなく、本人のそれ以外の悩みごとを聞き取るなどし、心のケアができるような窓口も案内するように努めます。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応しました。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：675件 (新規ケース) 相談回数：1,249件 	前年度の課題等に対する取組状況 子どもの進学に係る貸付の申請については、申込みが遅れ、子が進学できない事態を防ぐため、貸付の相談を行っている旨の周知を行いました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 母子・父子相談を行っている旨を市のLINE等で周知を行うことで、相談しやすい環境をつくります。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 母子相談等の多様な相談に対応した。 母子・父子自立支援員1人配置 相談件数：572件 (新規ケース) 相談回数：1,006件 	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (4) 2	小児医療費の助成	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 1 事業の再掲 > 小児医療費の助成を行います。 令和2年1月から所得制限撤廃 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで	中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 令和5年12月以降18歳年度末まで 医療証の受給者数 33,287人	前年度の課題等に対する取組状況
		中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。 令和5年12月から対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、18歳年度末までの児童の通院、入院時の医療費について医療費助成を行います。
令和4年度	小児医療費の助成を行いました。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数 28,295人	前年度の課題等に対する取組状況
		中学校卒業までの通院、入院時の医療費について適正に医療費助成を行いました。
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを安心して産み育てることのできる環境の実現のため、小児医療費助成制度の対象年齢を18歳（高校生相当）まで引き上げることに取り組みます。
令和3年度	小児医療費の助成を行った。 通院・入院対象年齢…0歳児から中学校卒業まで 医療証の受給者数（令和4年3月31日時点） 28,815人	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
		検証結果 A：成果があがった 今後の事業展開 ①現状の規模で継続

備考 (その他)

6 (4) 3	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	こども家庭課
---------	----------------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 2事業の再掲 > ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するために医療費の一部を助成します。	ひとり親家庭等の生活と自立を図るため、母子家庭、父子家庭に対し、適正な医療費助成を行います。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,628世帯 4,077人 助成費及び件数 医療費+手数料 166,532,422円 件数 57,507件 (令和6年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様にひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 引き続き、ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行います。 また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。
令和4年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行いました。 医療証の発行数 1,687世帯 4,195人 助成費及び件数 医療費+手数料 151,260,451円 件数 52,559件	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 対象者に対し、医療証の発行を実施します。
令和3年度	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行った。 医療証の発行数 1,760世帯 4,382人 助成費及び件数 医療費+手数料 155,503,462円 件数 53,371件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)	

6 (4) 4	生業扶助・教育扶助	担当課	生活福祉課
---------	-----------	-----	-------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 8事業の再掲 > 対象となる児童・生徒がいる生活保護世帯に対し、高等学校等 就学費や教育扶助費として学習支援費や教材代を援助します。	引き続き法令に基づいて事業を継続します。

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	教育扶助 小学生 101人 中学生 69人 扶助額 15,121,462円 生業扶助 高校生 71人 扶助額 9,421,198円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和4年度	教育扶助 小学生 104人 中学生 65人 扶助額 15,255,060円 生業扶助 高校生 79人 扶助額 11,521,891円	前年度の課題等に対する取組状況				
		前年度と同規模で実施した。				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						
今年度と同規模で実施する。						
令和3年度	教育扶助 小学生 111人 中学生 69人 扶助額 15,725,806円 生業扶助 高校生 68人 扶助額 8,798,107円	前年度の課題等に対する取組状況				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
		今後の事業展開	①現状の規模で継続			
翌年度に向けた課題と取組						

備考（その他）

6 (4) 5	児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	--------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
< 2 (6) 9 事業の再掲 > ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、父母の離婚、父又は母の死亡などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない児童について、手当を支給します。	ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	児童扶養手当の支給を行いました。 受給者数 1,519人 (令和6年3月31日時点 支給停止者除く) 支給金額795,142,390円 (令和6年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況 ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給しました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ②拡大して継続
		翌年度に向けた課題と取組 ひとり親家庭等の経済的安定を図るため、児童扶養手当法に基づき適正に児童扶養手当を支給します。また、令和6年に予定されている制度拡大に対応します。
令和4年度	児童扶養手当の支給を行いました。 受給者数 1,586人 (令和5年3月31日時点) 支給金額 810,063,080円 (令和5年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況 昨年度と同様の取組を行いました。
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組 対象者に対し、手当の支給を実施します。
令和3年度	児童扶養手当の支給をおこなった。 受給者数 1,635人 (令和4年3月31日時点) 支給金額 843,451,680円 (令和4年3月31日時点)	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A:成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (4) 6	特別児童扶養手当	担当課	こども家庭課
---------	----------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 10事業の再掲 > 児童の福祉の増進を図るため、精神、知的又は身体障がい等 (内部障がいを含む) で、政令に定める程度以上の障がいにある20歳未満の児童について、手当を支給します。</p>	<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい等を有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務を行いました。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 505人 (令和6年4月30日現在)</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい等を有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>昨年に引き続き、特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい等を有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>
令和4年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務を行いました。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 462人 (令和5年4月30日現在)</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい等を有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行いました。</p>
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組
		<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神又は身体に障がい等を有する児童について特別児童扶養手当の認定、喪失届等の受付事務を行います。</p>
令和3年度	<p>特別児童扶養手当を支給するための事務をおこなった。(認定事務は神奈川県、支給事務は厚生労働省) 受給権者数 446人 (令和4年4月30日現在)</p>	前年度の課題等に対する取組状況
		<p>検証結果 A:成果があがった</p>
		<p>今後の事業展開 ①現状の規模で継続</p>
		翌年度に向けた課題と取組

備考 (その他)

6 (4) 7	児童手当	担当課	こども家庭課
---------	------	-----	--------

事業の概要 (計画掲載内容)	今後の取組 (計画掲載内容)
<p>< 2 (6) 1 1 事業の再掲 > 次代の社会を担う児童の健やかな成長のため、0歳から15歳到達後最初の3月31日までの児童について、手当を支給します。</p>	<p>児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給します。</p>

年度	各年度における主な取組等	評価				
令和5年度	<p>児童手当の支給をおこなった。(R6年3月31日時点)</p> <p>支給児童数 児童手当 延べ人数 281,757人 特例給付 延べ人数 20,249人 施設入所 延べ人数 1,208人 支給金額 3,262,560,000円</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>②拡大して継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	②拡大して継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	②拡大して継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和4年度	<p>児童手当の支給を行いました。(R5年3月31日時点)</p> <p>支給児童数 児童手当 延べ人数 291,886人 特例給付 延べ人数 22,398人 施設入所 延べ人数 1,179人 支給金額 3,389,840,000円</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						
令和3年度	<p>児童手当の支給をおこなった(R4.3.31時点)。</p> <p>支給児童数 児童手当 延べ人数 301,312人 特例給付 延べ人数 29,823人 施設入所 延べ人数 1,167人 支給金額 3,536,425,000円</p>	前年度の課題等に対する取組状況				
		<p>児童のいる家庭の経済的安定を図るため、児童手当法に基づき適正に児童手当を支給しました。</p>				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">検証結果</td> <td>A：成果があがった</td> </tr> <tr> <td>今後の事業展開</td> <td>①現状の規模で継続</td> </tr> </table>	検証結果	A：成果があがった	今後の事業展開	①現状の規模で継続
		検証結果	A：成果があがった			
今後の事業展開	①現状の規模で継続					
翌年度に向けた課題と取組						

備考 (その他)

6 (4) 8	養育医療費給付	担当課	こども家庭課
---------	---------	-----	--------

事業の概要（計画掲載内容）	今後の取組（計画掲載内容）
< 2 (6) 1 2 事業の再掲 > 子どもが未熟児で生まれ、指定養育医療機関の医師が入院治療の必要を認めたとときの医療費を助成します。	母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成します。

年度	各年度における主な取組等	評価
令和5年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成を行いました。 申請件数 30件	前年度の課題等に対する取組状況
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和4年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成を行いました。 申請件数 27件	前年度の課題等に対する取組状況
		母子保健法に基づき、未熟児の医療費（保険診療分の自己負担額）を適正に助成しました。
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組
令和3年度	未熟児の入院治療にかかる医療費の助成をおこなった。 申請件数 24件	前年度の課題等に対する取組状況
		検証結果 A：成果があがった
		今後の事業展開 ①現状の規模で継続
		翌年度に向けた課題と取組

備考（その他）